

経済産業省令和4年度 フェムテック等サポートサービス実証事業 キックオフミーティング資料



Presentation by PwC
2022/07/21

目次

- 1. 参加者 デモグラフィック** … P3
- 2. 本補助金の概要** … P5
- 3. 実証事業一覧** … P15
- 4. 実証事業の紹介資料** … P22

※本資料は 2022 年7月21日(木)に実施した経済産業省 令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業 キックオフミーティングの
発表資料を一部まとめたものである

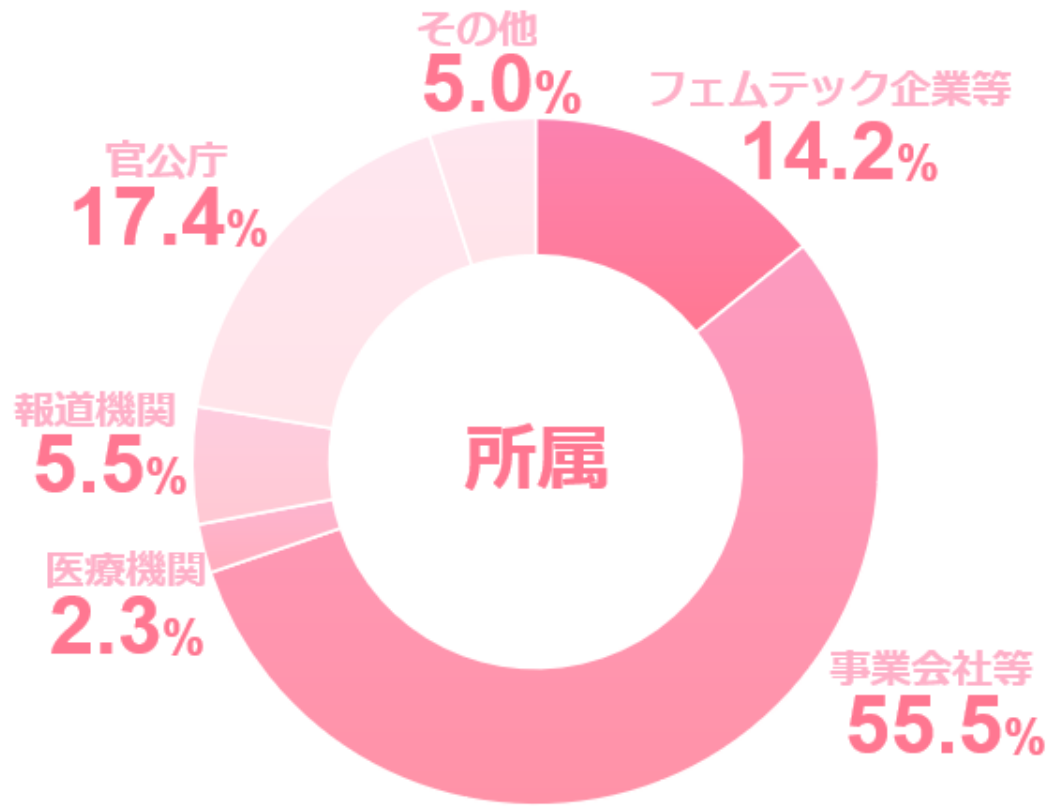
1

参加者デモグラフィック

参加者のペルソナ

※集計は7月20日12時時点

参加者の所属(n=218)



登録者の参加目的 ※複数回答可

フェムテックが企業や自治体内等でどのように利用されているか事例を知りたい

140人

実証事業者の事業内容を知りたい

122人

フェムテックの利用(従業員や住民、患者等に提供する)に興味がある

52人

実証事業者との協業を検討している

50人

フェムテック事業の立ち上げを検討している

45人

フェムテックがどのようなものか知りたい

43人

フェムテックの利用(自身が利用すること)に興味がある

26人

2

本補助金の概要

令和3年度フェムテック等サポートサービス実証事業実績

令和3年度は20の実証事業を実施。55の企業、10の自治体、25の医療機関が関与し、さまざまなフェムテック等サポートサービスを提供。

サービス提供者数※



※20の実証事業者およびコンソーシアム参画団体の総数

令和3年度フェムテック等サポートサービス実証事業実績

令和3年度のフェムテック等サポートサービスの利用者(個人)は5,240、企業は229、自治体は86、医療機関は23にのぼった。

サービス利用者、導入団体数

利用者

5,240名

企業

229社

自治体

86団体

医療機関

23機関

令和3年度フェムテック等サポートサービス実証事業実績

限られた事業期間の中、実際にフェムテック等サポートサービスのユーザのプレゼンティーズムや不調の改善、意識・行動変容が確認された事業もあった。

事業成果の例

【月経PG】オンラインピル外来実証調査結果 ③プレゼンティーズム

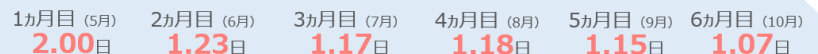
プレゼンティーズム（業務パフォーマンス）

直近の生理において不調を感じていた状況での自身の仕事のパフォーマンス



※ 生理に伴う体の不調がないときのパフォーマンス=100%

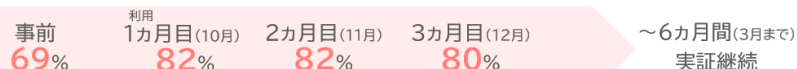
生理に伴う体の不調が仕事や日常生活に影響を及ぼす日数



【更年期PG】オンライン漢方外来実証調査結果 ③プレゼンティーズム

プレゼンティーズム（業務パフォーマンス）

更年期に伴う不調を感じている状況での自信の仕事のパフォーマンス



※ 更年期に伴う体の不調がないときのパフォーマンス=100%

更年期に伴う体の不調が仕事や日常生活に影響を及ぼす日数



「この1か月間における、あなたの健康上の問題や不調について当てはまるもの（複数選択）」

- 介入群
 - 「月経随伴症状による不調」 45%(-15%)
 - 「月経前症候群に関する不調」 52%(-8%)
 - 「更年期症状に関する不調」 14%(-6%)
- 対照群
 - 「月経随伴症状による不調」 43%(+3%)
 - 「月経前症候群に関する不調」 50%(-3%)
 - 「更年期症状に関する不調」 17%(+4%)

- 知識が増えたため、日常生活でも関心を持つようになった（5名）
- 日々健康を意識し、自分の身体と向き合うようになった（3名）
- 娘のこと（ワクチンや生理痛など）について伺った事が非常に良かった（2名）
- プロに質問できたため安心感や納得感が高い（1名）
- 疑問や不安に思っていたことが解消された（1名）
- 得られた情報をさらに調べたり、同僚との会話の話題にしたりした（1名）
- 未婚・妊娠予定なしだったが定期面談でのレクチャーを受けて意識に変化があった。いずれこどもができたらいいなというぼんやりとしたイメージだったが、計画的に体調を整えたりライフプランを考える必要性を感じた。（1名）
- 特になし（3名）

令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業方針

令和4年度は「広げる」「深める」の両面からさらに取組を加速させていく。本年度は82の応募より、19事業を採択。

令和4年度事業の実施方針

① 広げる

- ✓ 事業のバリエーション拡充を目指し、提案内容の「独自性」「新規性」を重視

② 深める

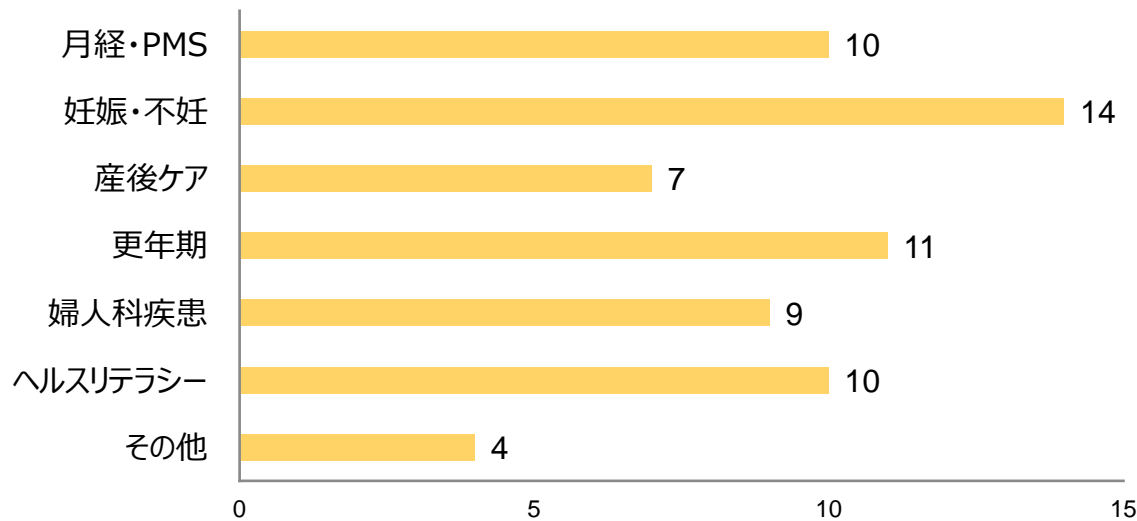
- ✓ より中長期の事業成果を測定するため、令和3年度実証事業への参加者へ 追跡調査を実施(※今後実施)
- ✓ 「フェムテック等サポートサービスの活用により、働く女性のウェルビーイングを 高める」という事業目的の達成状況を 横串しで測るため、本年度より新たに 全事業共通の成果指標を設置

令和3年度事業実績と令和4年度事業計画(1/3)

事業テーマ別にみると、令和3年度の実証事業における取組テーマは「妊娠・不妊」に係るものが最も多く、次いで「更年期」に係るものが多かった。令和4年度においては「月経・PMS」、「妊娠・不妊」、「ヘルスリテラシー」が並んで最も多い。

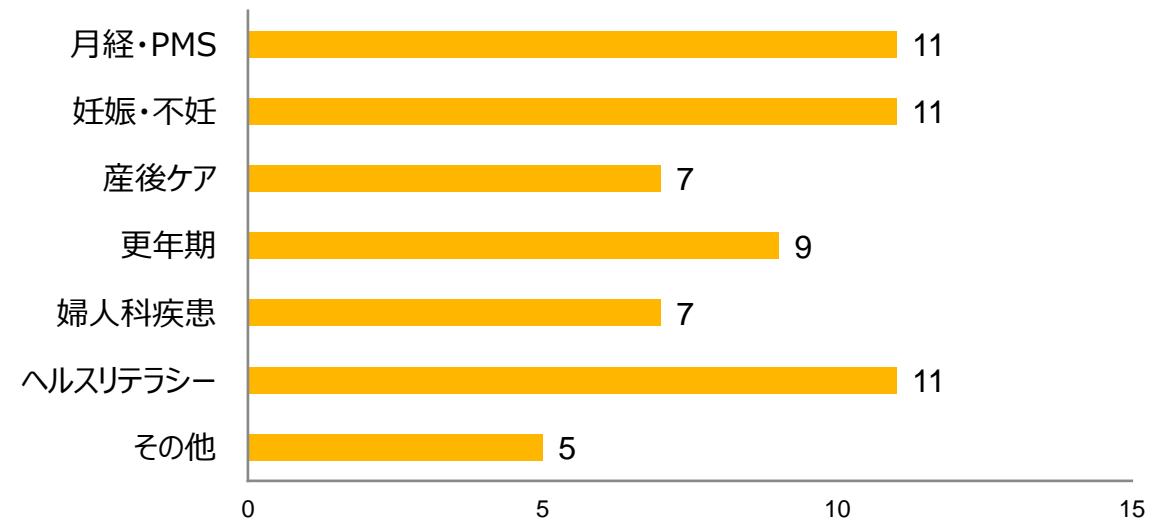
事業テーマ別集計

R3)事業テーマ(事業単位)



※20事業がそれぞれ選択した事業テーマ(複数選択可)を集計
選択数の総数は65

R4)事業テーマ(事業単位)



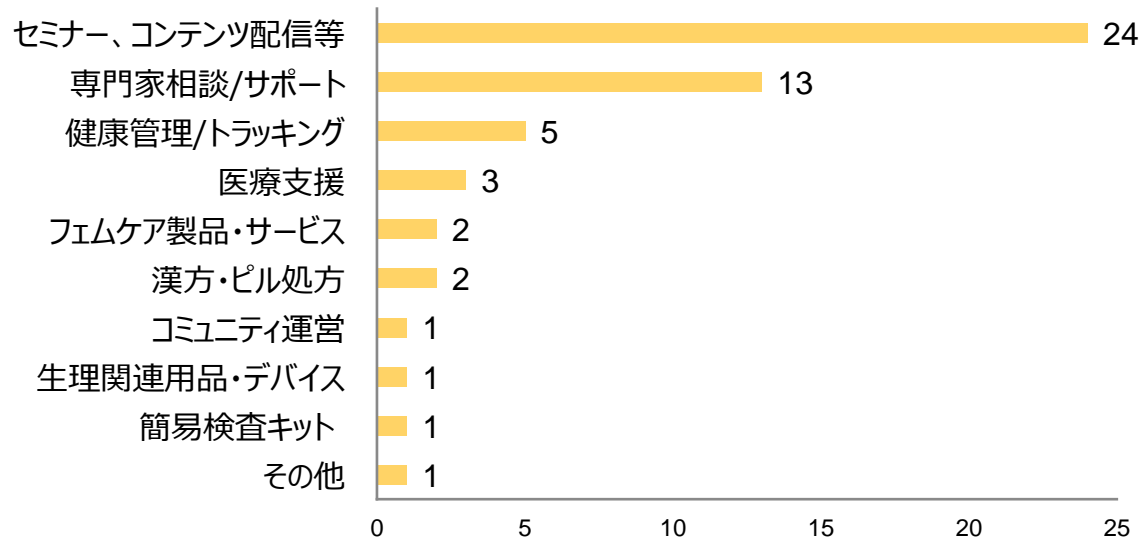
※19事業がそれぞれ選択した事業テーマ(複数選択可)を集計
選択数の総数は61

令和3年度事業実績と令和4年度事業計画(2/3)

サービスカテゴリ別にみると、令和3年度・4年度とも、実証事業を通じて提供されているサービスは「セミナー、コンテンツ配信等」、「専門家相談/サポート」に係るものが多い。

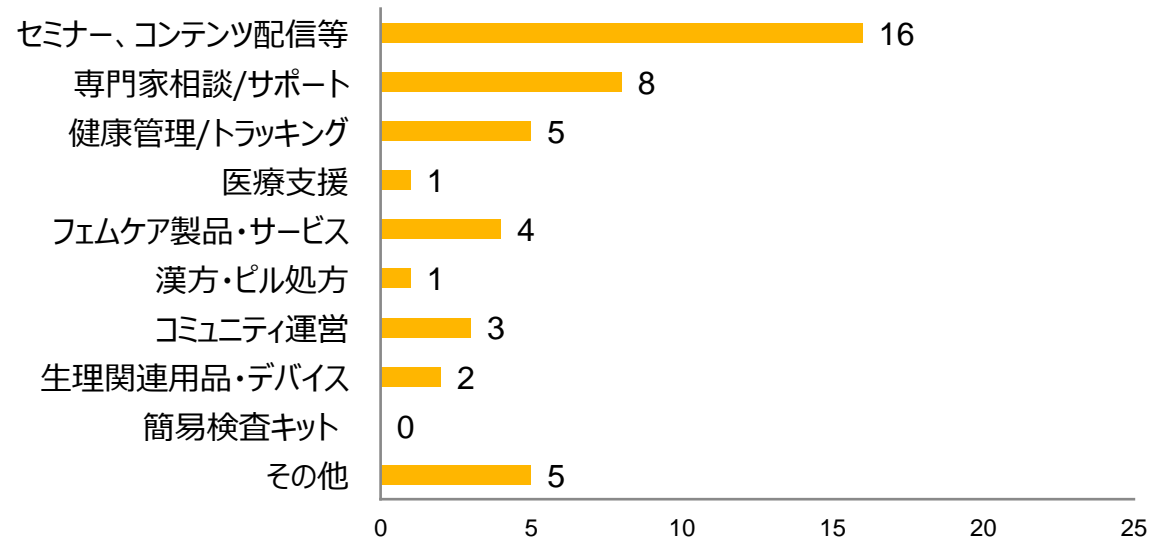
サービスカテゴリ別集計

R3)サービスカテゴリ(実施項目単位)



※20事業の実施事項ごとに事務局にて分類の上集計
実施項目の総数は53
※その他：乳がん患者向けシリコンパッド

R4)サービスカテゴリ(実施項目単位)

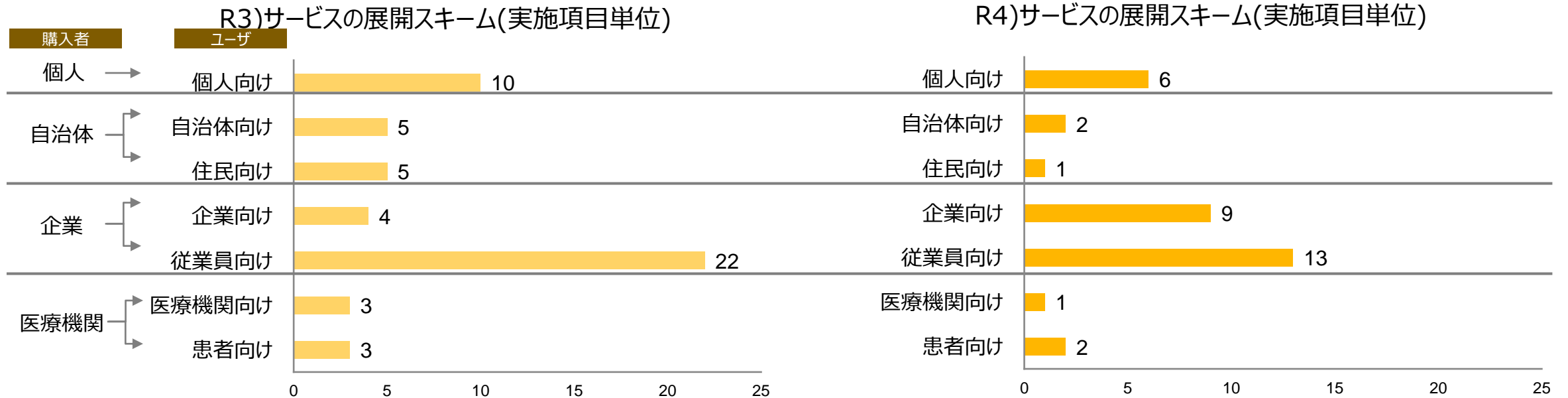


※19事業の実施事項ごとに事務局にて分類の上集計
実施項目の総数は45
※その他：コーチング、次世代EMS等

令和3年度事業実績と令和4年度事業計画(3/3)

サービスの展開スキームは主に7つに分類できる。令和3年度は「従業員向け」が最も多く、次いで「個人向け」が多かった。令和4年度も「従業員向け」が最も多く、次いで「企業向け」が多い。

サービスの展開スキーム別集計



※20事業の実施事項ごとに事務局にて分類の上集計
実施項目の総数は52

※19事業の実施事項ごとに事務局にて分類の上集計
実施項目の総数は34

令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業方針

「フェムテック等サポートサービスの活用により、働く女性のウェルビーイングを高める」という補助事業の目的の達成状況を横串しで測るため、令和4年度より新たに全事業共通の成果指標を設置。サービス利用前後のユーザの変化を測定。

共通の成果指標

共通指標①：プレゼンティーズム

ユーザの主観的ウェルビーイングの状態を確認するため、WHO Health and Work Performance Questionnaire※の設問B9-11を活用

仕事上のパフォーマンスについて、

- ✓ 職場の平均的なパフォーマンス
- ✓ 自身の平均的なパフォーマンス
- ✓ 過去4週間の自身のパフォーマンス

共通指標②：キャリア形成

ユーザの自身のキャリア形成に係る意識・行動の状態を確認するため、本事業独自の指標を設計

女性特有の健康課題について、

- ✓ キャリアへの影響の意識有無
- ✓ 具体的なキャリアへの影響
- ✓ 具体的にイメージできる解決/軽減策
- ✓ 行動に移した解決/軽減策
- ✓ 行動の結果
- ✓ 協力が必要と考える人
- ✓ 協力を得たことがある人
- ✓ 協力を得た結果

指標設定の
考え方等

設問概要

※世界保健機関 健康と労働パフォーマンスに関する質問紙(短縮版)日本語版
WHO riomh.umin.jp/lib/WHO-HPQ(Japanese).pdf

令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業方針

令和4年度も、公開型のイベントを残り中間報告会・成果報告会の2回を実施予定です。
昨年度同様、聴講者の皆様と実証事業者の交流機会を準備する想定ですので、ぜひご予約おきください！

イベントスケジュール

中間報告会

2022年11月18日(金)午後

オンライン開催(予定)

成果報告会

2023年02月17日(金)午後

オンライン開催(予定)

※詳細の時間や開催方法等は、確定次第ご連絡差し上げます。



3

実証事業一覧

経済産業省 令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金 実証事業一覧

実証事業			事業テーマ							事業紹介 ページ
#	事業名	代表団体名	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
1	最短期間で最大の効果を上げる不妊治療プロトコルを提案するA I (人工知能)サービス	株式会社iCaret		●				●		P23~P33
2	セルフトレーニングをサポートするサービス「ペリノス™」とトレーナー指導の組み合わせによる骨盤底筋トレーニング	アルプスアルパイン株式会社			●	●	●	●		P34~P44
3	妊活・不妊治療におけるパートナーシップ構築を目的としたコミュニケーション促進ソリューションの効果検証	vivola株式会社		●						P45~P54
4	ヘルスリテラシー向上(知識の獲得から行動改善まで)を通じた働く女性と組織の活性化をサポートする『トータルウェルネスプログラム』	株式会社SRACreative	●			●	●	●	●	P55~P81
5	働く更年期女性の睡眠を可視化したリトリートプログラム実証事業	沖縄セルラー電話株式会社				●				P82~P95
6	あらゆるトイレの個室にて生理用品を取得可能にするなど「生理ライフ」を快適にし、生理になる人のモビリティを向上	オモテテ株式会社	●	●			●	●	●	P96~P102
7	新入社員向け「女性特有の健康課題に関するeラーニングプログラム」の開発と検証	株式会社Kids Public	●	●			●	●		P103~P116
8	オンラインコミュニティを使った「女性特有の健康課題や働き方について語り合う」プラットフォームの構築・運用と情報発信事業	株式会社産業経済新聞社	●	●	●	●	●	●		P117~P123
9	就労妊婦等メンタルヘルス向上と離職防止のための、専門家「助産師」とAI(声解析)による継続的なサポート実証事業	株式会社じょさんしGLOBAL Inc.		●	●					P124~P133
10	助産師・保育士が24時間体制で産後の親子をサポートする産後ケアリゾート「HOTEL CAFUNE」及び継続的なサポートのニーズ検証と産後ケアの社会認知度向上の実証実験	株式会社水星		●	●					P134~P141
11	女性特有の出産育児のライフイベントや健康課題を乗り越え能力を最大限発揮できる新しい時代を実現する『TOTONOERU@ (トノエル)』を活用したレジリエントな企業基盤構築支援事業ver.1』	株式会社天煌堂	●		●				●	P142~P177
12	未病状態のからだケア 素材～製品・サービス異業種連携でのワークショップを通じた行動変容プログラムの提供	東レ株式会社	●					●		P178~P186
13	データ収集プラットフォームを通じた企業のフェムテック導入促進事業	株式会社nanoni	●	●		●	●	●		P187~P198
14	不妊治療当事者のウェルビーイング向上のための心理ケア事業	株式会社ninpath		●						P199~P210
15	フェムテックを活用した企業・自治体の行動変容を促す「伴走型アクティブラーニング・プログラム」実証事業～gender learning innovation～	株式会社陽と人	●			●		●	●	P211~P221
16	アバターを活用した専門家による働く女性のウェルビーイング向上のためのサポート実証事業	株式会社BRING	●	●	●	●		●		P222~P235
17	身体症状と音声の分析を用いたヘルスケアとキャリア支援を繋ぐ仕組みづくり	一般社団法人ヘルスサポーターズイノベーション	●	●	●	●	●	●	●	P236~P249
18	運動後の爽快感が味わえる「次世代EMS」を活用した、働く女性のメンタルヘルス・パフォーマンス向上事業	株式会社ポーラ・オルビスホールディングス	●			●			●	P250~P260
19	女性活躍を推進するための生理用品設備設置とコミュニケーションをデザインする教育事業	わたしの暮らし研究所株式会社	●					●	●	P261~P270

経済産業省 令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金
実証事業一覧 01~04

※ 実施体制は7/1時点で確定している団体を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本事業を支援する団体を指す

01 最短期間で最大の効果を上げる不妊治療プロトコルを提案するA I (人工知能)サービス							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
		●				●	
実施体制	代表団体	株式会社iCaret					
	参加団体	—					
	協力団体	・システムロード株式会社		・木場公園クリニック			
実証先	・当社内 ・ご協力医療機関 ・不妊治療に取り組んでいるカップル						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 生殖医療関連医師と医療機関 電子カルテ事業者 不妊治療に取り組むカップル 妊娠出産を検討している女性 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 大規模不妊治療データのデータ解析とA Iモデルの設計と構築 患者データを用いた不妊治療AIモデルの実証と評価 女性のライフステージにおける不妊治療AIモデル活用のインパクトの試算 			

02 セルフトレーニングをサポートするサービス「ペリノス™」とトレーナー指導の組み合わせによる骨盤底筋トレーニング							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
			●	●	●	●	
実施体制	代表団体	アルプスアルパイン株式会社					
	参加団体	<ul style="list-style-type: none"> 学校法人 甲南女子大学 学校法人 行岡保健衛生学園 		<ul style="list-style-type: none"> In MuSE.合同会社 江川産婦人科 			
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社アルプス物流 地方自治体 		<ul style="list-style-type: none"> 株式会社アルプスビジネスクリエーション(介護事業) 			
実証先	<ul style="list-style-type: none"> アルプスアルパイン株式会社(東京都) 株式会社アルプスビジネスクリエーション(東京都) 		<ul style="list-style-type: none"> 株式会社アルプス物流(神奈川県) 全国の企業・自治体 				
対象者	産後、更年期による尿失禁症状に悩む女性従業員		実施概要	セルフトレーニングをサポートするサービス「ペリノス™」とトレーナー指導の組み合わせによる骨盤底筋トレーニングにおける運動の継続性を支援する効果的な施策等の実証			

03 妊活・不妊治療におけるパートナーシップ構築を目的としたコミュニケーション促進ソリューションの効果検証							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
		●					
実施体制	代表団体	vivola株式会社					
	参加団体	帝人株式会社					
	協力団体	-					
実証先	全国の妊活に取り組んでいる、不妊治療をしている個人						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 妊活に取り組んでいる、不妊治療をしている夫婦およびカップル 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 妊活、不妊治療における情報提供、およびカップル間の価値観の相違を可視化し、行動変容を促進するアプリの作成 上記のインプットとして、行動の阻害要因に関する調査を実施 			

04 ヘルスリテラシー向上(知識の獲得から行動改善まで)を通じた働く女性と組織の活性化をサポートする『トータルウェルネスプログラム』							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●			●	●	●	●
実施体制	代表団体	株式会社SRACreative					
	参加団体	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社MYPLATE 株式会社SEVENRICH Accounting 		<ul style="list-style-type: none"> 株式会社nemuli CLINIC TEN SHIBUYA 			
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社TesTee 株式会社THE COACH 		<ul style="list-style-type: none"> 株式会社BonBon 株式会社Assatte 			
実証先	全国の企業・組織						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 女性社員・男性社員・管理職 PMS・PMDD/生理トラブル/更年期障害に課題を抱える就業女性 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 医師共同制作のヘルスリテラシーテストの実施 個人(女性社員、男性社員・管理職)/組織のヘルスリテラシー向上に向けた課題の抽出 上記課題の改善に向けたアクションの提案(対個人/対組織)、サービス導入のサポート実施 			

経済産業省 令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金
実証事業一覧 05～08

※ 実施体制は7/1時点で確定している団体を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本事業を支援する団体を指す

05 働く更年期女性の睡眠を可視化したリトリートプログラム実証事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
				●			
実施体制	代表団体	沖縄セルラー電話株式会社					
	参加団体	●株式会社ACCELStars		●HerLifeLab株式会社			
	協力団体	Naoko女性クリニック					
実証先	●株式会社沖縄銀行(沖縄県)		●株式会社琉球銀行(沖縄県)		●沖縄セルラー電話株式会社(沖縄県)		
対象者	不眠に悩む更年期の女性従業員		実施概要 <ul style="list-style-type: none"> ・不眠症状者を睡眠データが計測できるウェアラブルデバイスを活用して特定し、オンラインとオフラインの併用によるハイブリッド型リトリートプログラムにて解決 ・症状に応じて婦人科によるオンライン相談が可能 				

06 あらゆるトイレの個室にて生理用品を取得可能にするなど「生理ライフ」を快適にし、生理になる人のモビリティを向上							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●			●	●	●
実施体制	代表団体	オモテテ株式会社					
	参加団体	-					
	協力団体	-					
実証先	全国						
対象者	オフィス利用者		実施概要 <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ内に設置するハードウェアと在庫等を管理するアプリケーションを連動した「unfre. (アプリ)」サービスの開発 ・導入先企業へ、設置前後でアンケート・インタビュー調査を実施 				

07 新入社員向け「女性特有の健康課題に関するeラーニングプログラム」の開発と検証							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●			●	●	
実施体制	代表団体	株式会社Kids Public					
	参加団体	-					
	協力団体	-					
実証先	全国の新入・若手社員を抱える企業						
対象者	新卒入社1～3年目(もしくは社会人歴3年目まで)の男女社員		実施概要 <ul style="list-style-type: none"> ・女性の健康課題に関するeラーニングツールの開発 ・対象者により上記のeラーニングを期間内に計2回実施 ・オンライン相談(産婦人科オンライン、小児科オンライン)を希望する参加者へ提供 				

08 オンラインコミュニティを使った「女性特有の健康課題や働き方について語り合う」プラットフォームの構築・運用と情報発信事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●	●	●	●	●	
実施体制	代表団体	株式会社産業経済新聞社					
	参加団体	さんぎょうい株式会社					
	協力団体	—					
実証先	全国の個人						
対象者	女性特有の健康課題や働き方の問題に関して興味関心のある女性・男性		実施概要 <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインコミュニティ「フェムトーク」の構築と運用 ・「フェムトーク」運用により得られた知見等についてメトロポリターナで情報発信、読者アンケート企画の実施 ・同上の知見等について、産経新聞紙面で情報発信 ・同上の知見等についてのセミナー開催 			メトロポリターナ読者20万人 産経新聞読者102万世帯	

経済産業省 令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金
実証事業一覧 09～12

※ 実施体制は7/1時点で確定している団体を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本事業を支援する団体を指す

09 就労妊婦等メンタルヘルス向上と離職防止のための、 専門家「助産師」とAI(声解析)による継続的なサポート実証事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
		●	●				
実施体制	代表団体	株式会社じよさんしGLOBAL Inc.					
	参加団体						
実施体制	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> リスク計測テクノロジーズ株式会社 豊島株式会社 株式会社メンタルサポート研究所 倉成 央博士(臨床心理士) 		<ul style="list-style-type: none"> 江村 和世 医師(精神科医) やまがたてるえ (助産師・チャイルドファミリーコンサルタント) 			
	実証先	全国の就労妊婦等を抱える企業、他民間企業/自治体					
対象者	従業員(就労妊婦含む)およびそのパートナー、直属の上司		実施概要 企業向けに4つの事業(①就労妊婦等向けオンライン相談、②就労妊婦等とパートナーに向けたセミナー、③就労妊婦等の直属上司の支援、④結果のフィードバックセミナー)を提供				

10 助産師・保育士が24時間体制で産後の親子をサポートする産後ケアリゾート「HOTEL CAFUNE」及び継続的なサポートのニーズ検証と産後ケアの社会認知度向上の実証実験							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
		●	●				
実施体制	代表団体	株式会社水星					
	参加団体	—					
	協力団体	—					
実証先	HOTEL CAFUNE(神奈川県川崎市)						
対象者	産後直後～12カ月程度の首都圏近郊在住の女性とそのパートナー 女性とその家族		実施概要 ・宿泊型産後ケアサービスの提供とその後の継続的なサポートの構築 ・上記による女性のQOL向上への有用性検証 ・産後ケアの社会認知度向上に向けた調査と情報発信				

11 女性特有の出産育児のライフイベントや健康課題を乗り越え能力を最大限発揮できる新しい時代を実現する「『TOTONOERU@』(トノエル)』を活用したレジリエントな企業基盤構築支援事業ver.1」								
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
	●		●				●	
実施体制	代表団体	株式会社天煌堂						
	参加団体	株式会社actor						
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> CICJapan合同会社 VentureCafeTokyo 		<ul style="list-style-type: none"> 日本生命保険相互会社 				
実証先	<ul style="list-style-type: none"> CICJapan合同会社(東京都) VentureCafeTokyo(東京都) 		<ul style="list-style-type: none"> 日本生命保険相互会社(成田支社) 					
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 女性従業員 男女管理職 		実施概要 ・月経における課題、出産・育児におけるパフォーマンスの課題の解決に資する起電する衣類「3e-EARTHING衣類」の提供 ・職場のコミュニケーション課題の解決に資する脳医科学診断とコーチングプログラム「ノウセツ」の提供					

12 未病状態のからだケア 素材～製品・サービス異業種連携でのワークショップを通じた行動変容プログラムの提供								
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
	●					●		
実施体制	代表団体	東レ株式会社						
	参加団体	<ul style="list-style-type: none"> あすか製薬株式会社 株式会社ネクイノ 		<ul style="list-style-type: none"> プレミア・ウェルネスサイエンス株式会社 株式会社 東レシステムセンター 				
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人メディカル・フェムテック・コンソーシアム 滋賀医科大学 北原照代特任准教授 昭和大学薬学部 佐藤均教授 						
実証先	<ul style="list-style-type: none"> 東レ株式会社(東京地) あすか製薬株式会社(東京都) 		<ul style="list-style-type: none"> 株式会社ネクイノ(大阪府) プレミア・ウェルネスサイエンス株式会社(東京都) 					
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 従業員(男女問わず) 月経関連の不調を有する20～30代の女性従業員 		実施概要 ・東レ株式会社と参加企業へ被験者抽出のためのアンケート実施 ・被験者へワークショップ(①ヘルスリテラシー向上セミナーと専門家との座談会、②製品・サービスの体験)を提供 ・デジタル・ウェルネスプラットフォーム(DWP)の社会実装					

経済産業省 令和4年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金
実証事業一覧 13～16

※ 実施体制は7/1時点で確定している団体を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本事業を支援する団体を指す

13 データ収集プラットフォームを通じた企業のフェムテック導入促進事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●		●	●	●	
実施体制	代表団体	株式会社nanoni					
	参加団体	-					
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社カラダメディカ 株式会社グッドアンドカンパニー 株式会社グレイスグループ 株式会社ジネティックラボ 		<ul style="list-style-type: none"> 株式会社ジョコネ。 株式会社TENGAヘルスケア 株式会社TRULY 株式会社Vitalogue Health 		<ul style="list-style-type: none"> vivola株式会社 株式会社ファミメディコ Mederi株式会社 株式会社uni'que 	
実証先	全国の企業						
対象者	国内の企業1000社		実施概要	企業のフェムテック検討状況についてヒアリングを実施し、経営アジェンダとの関連性を可視化			

14 不妊治療当事者のウェルビーイング向上のための心理ケア事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
		●					
実施体制	代表団体	株式会社ninpath					
	参加団体	-					
	協力団体	-					
実証先	全国の自治体						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 不妊治療中～治療前後の住民を抱える自治体 仕事と治療の両立に悩む女性とそのパートナー 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 自治体を通じて、不妊治療中～治療前後の住民に対して、下記のスマートフォンアプリを用いて心理ケア支援サービスを提供 スマートフォンアプリ「ninpathケア」の機能(メンタル状態のモニタリング・セルフケア、医師等へのうつリスク通知、オンラインカウンセリング)を追加 			

15 フェムテックを活用した企業・自治体の行動変容を促す「伴走型アクティブラーニング・プログラム」実証事業～gender learning innovation～							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●			●		●	●
実施体制	代表団体	株式会社陽と人					
	参加団体	株式会社ライフサカス					
	協力団体	-					
実証先	全国の自治体、大企業、中小企業 等						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 経営マネジメント層 人事部門 新規事業開発部門 女性従業員 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> アンケートとヒアリングを行い、プログラム構築の前提となるフェムテックに関する各社のニーズを整理 上記結果を踏まえ、アクティブラーニングの手法を取り入れた新しい学び方のプログラムを設計・構築、実証 			

16 アバターを活用した専門家による働く女性のウェルビーイング向上のためのサポート実証事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●	●	●		●	
実施体制	代表団体	株式会社BRING					
	参加団体	一般社団法人 女性の健康推進協会					
	協力団体	-					
実証先	全国の働く女性および男性						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 20代～50代の働く女性 妊娠・出産・子育ての中の働く女性とパートナー デリケートな課題を抱える働く女性とパートナー 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 健康に関する情報発信を通じたオンラインコミュニティ形成 助産師によるアバター相談カウンセリングを提供し、相談時等のアバター活用の優位性を検証 			

経済産業省 令和4年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金
実証事業一覧 17~19

※ 実施体制は7/1時点で確定している団体を記載
※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本事業全体の推進に当たる団体を指す
※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本事業を支援する団体を指す

17 身体症状と音声の分析を用いたヘルスケアとキャリア支援を繋ぐ仕組みづくり							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●	●	●	●	●	●
実施体制	代表団体	一般社団法人ヘルスサポーターズイノベーション					
	参加団体	-					
	協力団体	日本生命 佐賀支社 明治安田生命 佐賀支社 佐賀市役所					
実証先	<ul style="list-style-type: none"> 日本生命(佐賀県) 明治安田生命(佐賀県) 佐賀市役所(佐賀県) 						
対象者	女性従業員	実施概要 <ul style="list-style-type: none"> 音声計測によるその日の心の状態見える化するツール実装 健康・妊娠や働き方に関するランチtimeウェビナー開催 ヨガやマインドフルネス、心身の不調をケアするオンラインレッスン開催 健康・子育てやキャリアに関する専門家へのチャット・オンライン相談提供 					

18 運動後の爽快感が味わえる「次世代EMS」を活用した、働く女性のメンタルヘルス・パフォーマンス向上事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●			●			●
実施体制	代表団体	株式会社ポーラ・オルビスホールディングス					
	参加団体	株式会社おせっかい倶楽部、ポーラ化成工業株式会社					
	協力団体	上馬整形外科クリニック					
実証先	都心のメンタルヘルスに課題を有する働く女性						
対象者	メンタルヘルス(PMSや更年期の課題・症状含む)に課題感を抱いている働く女性	実施概要 <ul style="list-style-type: none"> 大きな筋肉を効率的に刺激する次世代EMSが働く女性のメンタルヘルス課題を解消し、パフォーマンス・well-beingに貢献することを臨床試験により科学的に実証 次世代EMSを一定期間使用した試験参加者へのデプスインタビュー 					

19 女性活躍を推進するための生理用品設備設置とコミュニケーションをデザインする教育事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●					●	●
実施体制	代表団体	わたしの暮らし研究所株式会社					
	参加団体	-					
	協力団体	ふしぎデザイン株式会社		株式会社丸和		株式会社山崎製作所	
実証先	全国の企業、地方自治体、教育機関						
対象者	従業員(男女問わず) 管理職 生理用品設備導入企業 小学生、中学生、高校生、大学生	実施概要 <ul style="list-style-type: none"> 共創するための女性活躍推進セミナー実施 トイレへの生理用品設備設置支援 導入企業間のコミュニティ運営、情報発信 青少年教育で活用できる教育ツール作成 					

4

実証事業の紹介資料

01.

最短期間で最大の効果を上げる不妊治療プロトコルを
提案するA I (人工知能)サービス
(代表団体：株式会社iCaret)

株式会社 iCaret

医療 × 人工知能

イノベーションを指数関数的に加速する



川原 泰
(産婦人科医師 研究者)



鈴木 豊太郎
(コンピューターサイエンティスト)

企業背景

最高技術責任者(CTO)の鈴木氏は、Graph500と呼ばれるビッグデータ処理の世界大会で10期世界一位を達成した、コンピューターサイエンスの世界的なトップランナーであり、当社代表の川原はNew York留学中の2018年に当時、米国IBMワトソン研究所にいた鈴木氏と出会い、その圧倒的な情報処理手法を、ぜひ医療の分野に応用し、日本発のイノベーションを実現したいと思い議論を重ねて来ました。医療分野には、ビッグデータ処理が必要な分野が多く存在しますが、第一弾の目標として、現在日本においてその重要性が高まっている生殖医療をテーマとして、過去の治療データから、最も効果的な治療法を割り出すAIの開発研究に着手しました。



事業テーマ

最短期間で最大の効果を上げる
不妊治療プロトコルを提案するAI
(人工知能)サービスの開発と実証

事業概要

生殖医療を行っている医療機関および電子カルテ事業者のご協力のもと、過去の膨大な治療データを匿名化・暗号化した後に各種機械学習手法を適用し、個別化・最適化された治療プロトコルを提案するAIの開発を行っています。今後のより本格的なAI開発および実証とその後の事業展開のため、この春に株式会社として新たにスタート致しました。



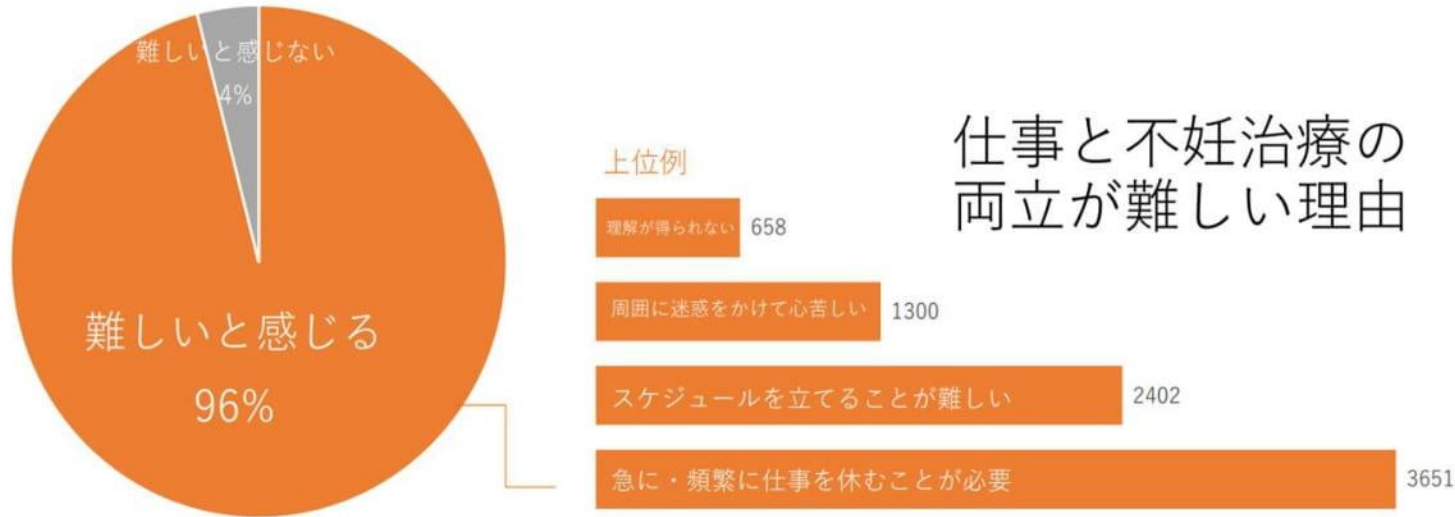
事業設計の背景： 日本の不妊治療の現状

- ・新生児の**14.3人に1人**は体外受精児 (2019年 厚生労働省)*
- ・体外受精児は**年6万598人**誕生 (2019年 日本産婦人科学会)*
- ・体外受精の総治療周期数は**年45万8101件** (2019年 日本産婦人科学会)*

*厚生労働省 不妊治療と仕事の両立サポートハンドブック <https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/dl/30l.pdf>

‡日本産婦人科学会 ARTデータブック2019年度版 https://www.jsog.or.jp/modules/committee/index.php?content_id=12#houkoku

事業設計の背景：不妊治療は仕事との両立が難しい！！



Fine「仕事と不妊治療の両立に関するアンケートPart2」(2018年)



不妊治療に伴う離職がもたらす社会的経済損失（年間）は・・・

1,345億3,363万円

①不妊治療件数：448,210件

②不妊治療患者：149,403人

③女性の就業率：69.7%

④不妊治療と仕事を両立できずに辞めた人の割合：23%

⑤不妊治療による離職者数（②×③×④）：23,951人

⑥女性の平均賃金（年収換算）：3,718,478円

⑦所得の減少（⑤×⑥）：89,061,266,578円

⑧労働分配率：66.2%

⑨企業活動の付加価値の減少（経済損失）（⑦÷⑧）：134,533,635,314円

* NPO法人FineFineにて算出 参考プレスリリース：https://j-fine.jp/prs/prs/fineprs_kokkaibenkyokai200130.pdf

事業目標:人工知能(AI)により最適な治療法を割り出す

不妊治療クリニック



不妊治療の全体像を見えるようにすることで患者カップルのストレスを低減し仕事との両立をサポートする。

最短時間で最大の治療効果
を上げる治療プロトコルの提
案により治療期間を短縮する。

コンピューターサイエンスを医療データに応用し 最適な治療により働く女性をサポートする



今後の方針

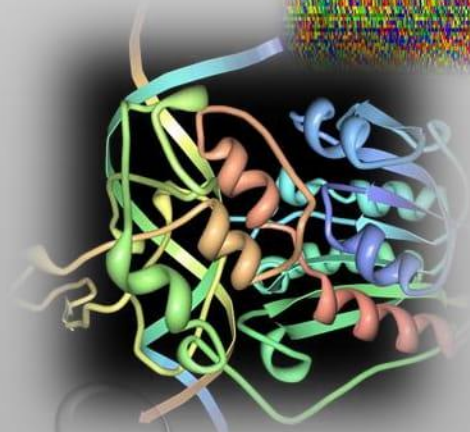
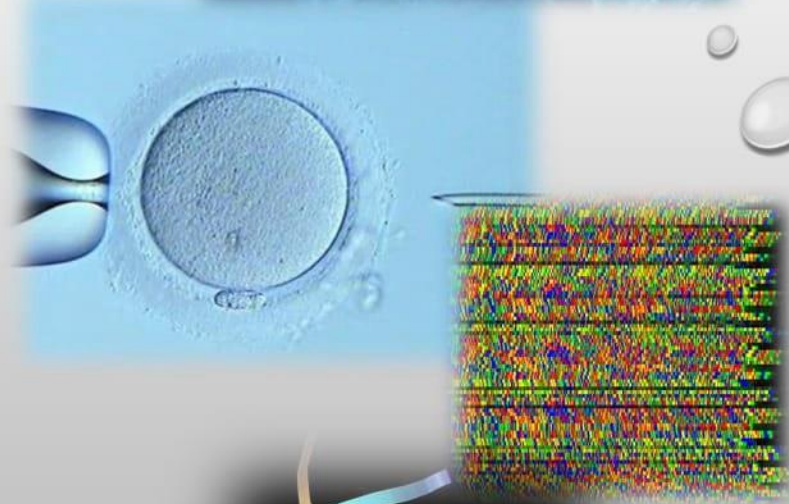
本事業の対象



短期: 診断サポートツール(AI)の開発・実証

中期: 最適な不妊治療プロトコルを
提案するAIと電子カルテの連動

長期: ビックデータ処理を必要とする
各種医療テーマへの挑戦



02.

セルフトレーニングをサポートするサービス「ペリノス™」と
トレーナー指導の組み合わせによる骨盤底筋トレーニング
(代表団体：アルプスアルパイン株式会社)

セルフトレーニングをサポートするサービス
「ペリノス™」とトレーナー指導の組み合わせによる骨盤底筋トレーニング

“ずっと健やかなカラダ”を応援する

アルプスアルパイン（株）
営業企画室
松野、玉澤

ALPSALPINE
Perfecting the Art of Electronics

センシングデバイスとスマホアプリを使い 骨盤底筋トレーニングを最適頻度で継続させ、効果を最大化するサービス

該当テーマ

- ✓ 産後ケア
- ✓ 更年期
- ✓ 婦人科疾患
- ✓ ヘルスリテラシー



骨盤底筋トレーニングが
有効な解決手段の1つ

ペリノス™とは

a. センシングデバイス

➡筋活動量を解析するアルゴリズム搭載

b. センシングデータを可視化するスマートフォンアプリ

➡甲南女子大学監修のトレーニングメニューと組合せ、
セルフトレーニング時の運動継続性、筋肉の動かし方の
理解度向上を支援

c. トレーナーによるレッスンやセンシングデバイスの活用アドバイス

(a)



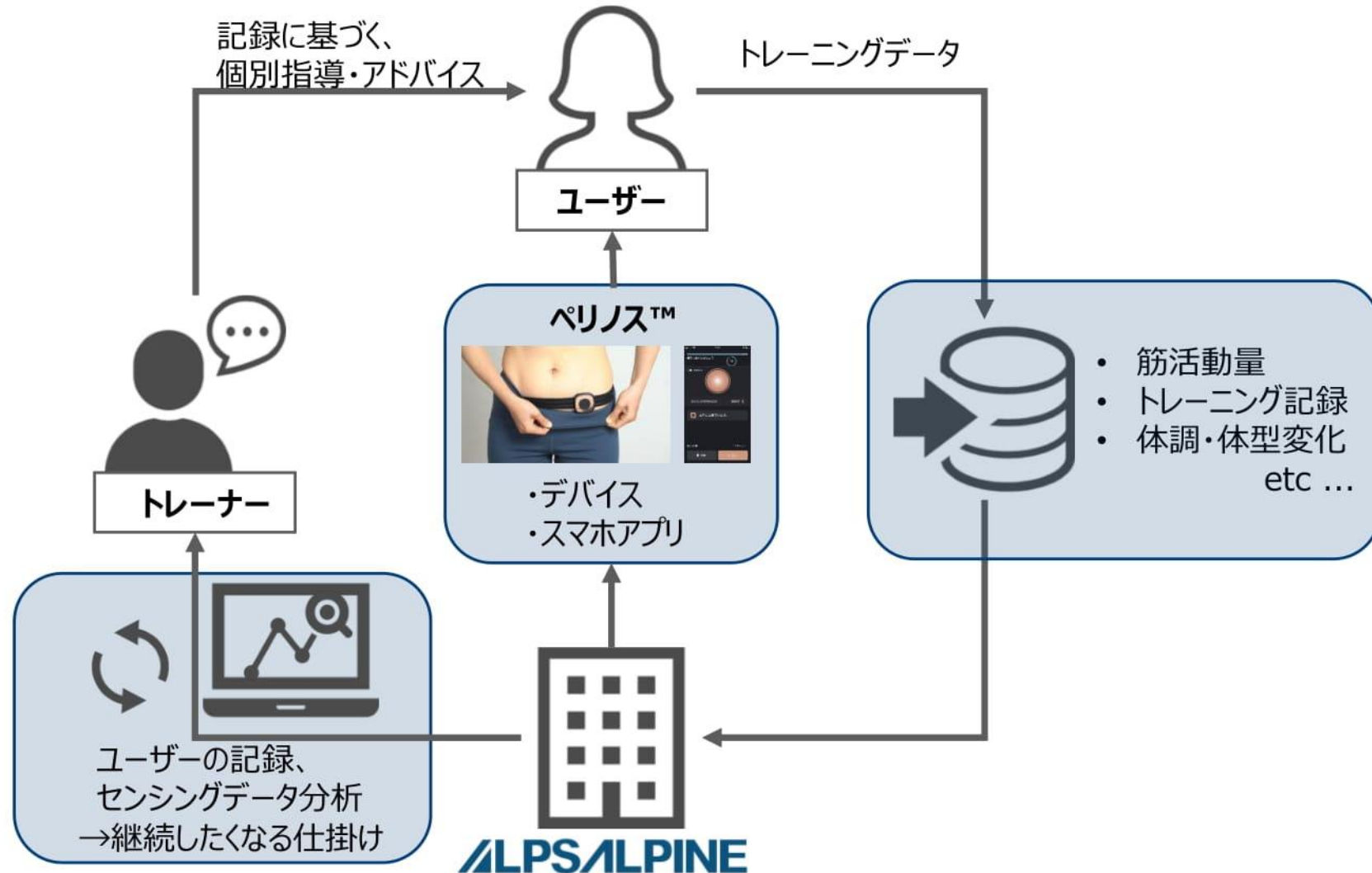
(b)



* スマホ画像はイメージです

ペリノス™のサービスの新規性・独自性のポイント

- ① セルフトレーニング期間のモチベーション維持・向上をサポート
- ② 非侵襲型で装着の抵抗感が少なく、衛生的（既存製品は侵襲型）

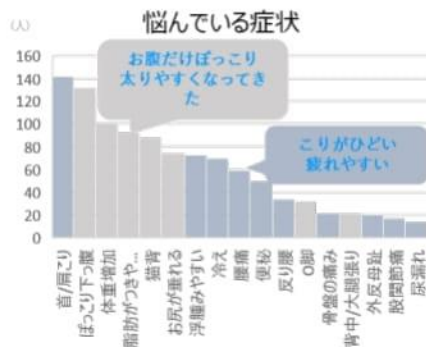


<プロジェクト発足>

女性社員の
体型・姿勢の悩みを知り
骨盤底筋トレーニングに
着目

女性の95%が身体の悩み有り

※アルプスアルパイン女性社員203名が回答



<価値検証①>

産後女性へ
「体型戻し」の価値訴求

「Makuake」にて
クラウドファンディング



<コンセプト変更>

産後より更年期以降の
世代に大きな
ニーズを発見



真の困り事は尿失禁



<価値検証②>

続けられれば効果有り
最大の課題は
継続が難しいこと！

いわき市とアルプスアルパインによるフェムテック推進事業

ペリノス™を使った骨盤底筋トレーニングの体
験募集

こちらに掲載されている内容は報道発表日時点の情報です。
ご覧になった時点で内容が変更になっている可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

2022年01月25日

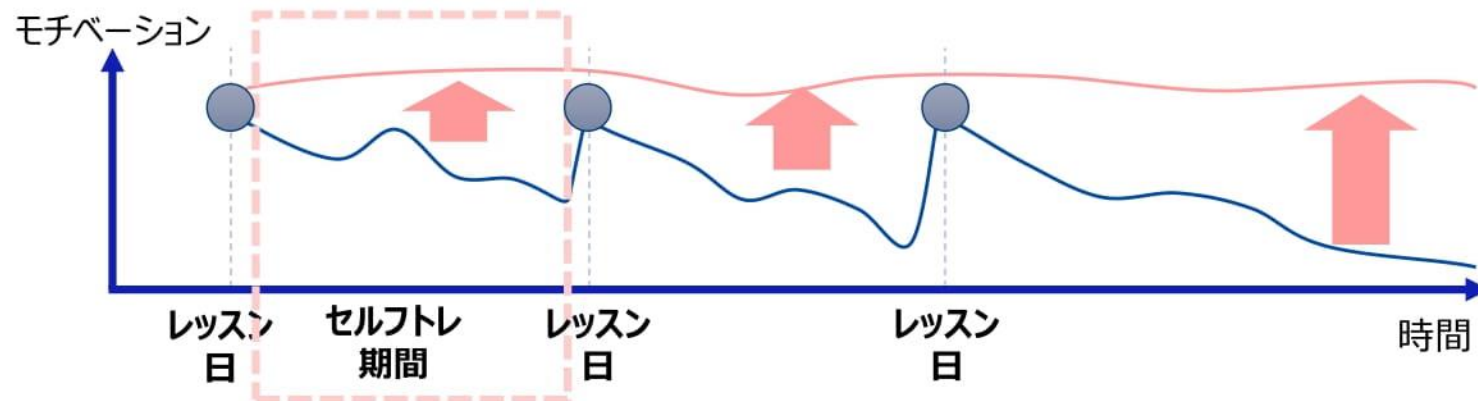


参加費
無料

当社HP
ニュースリリースより

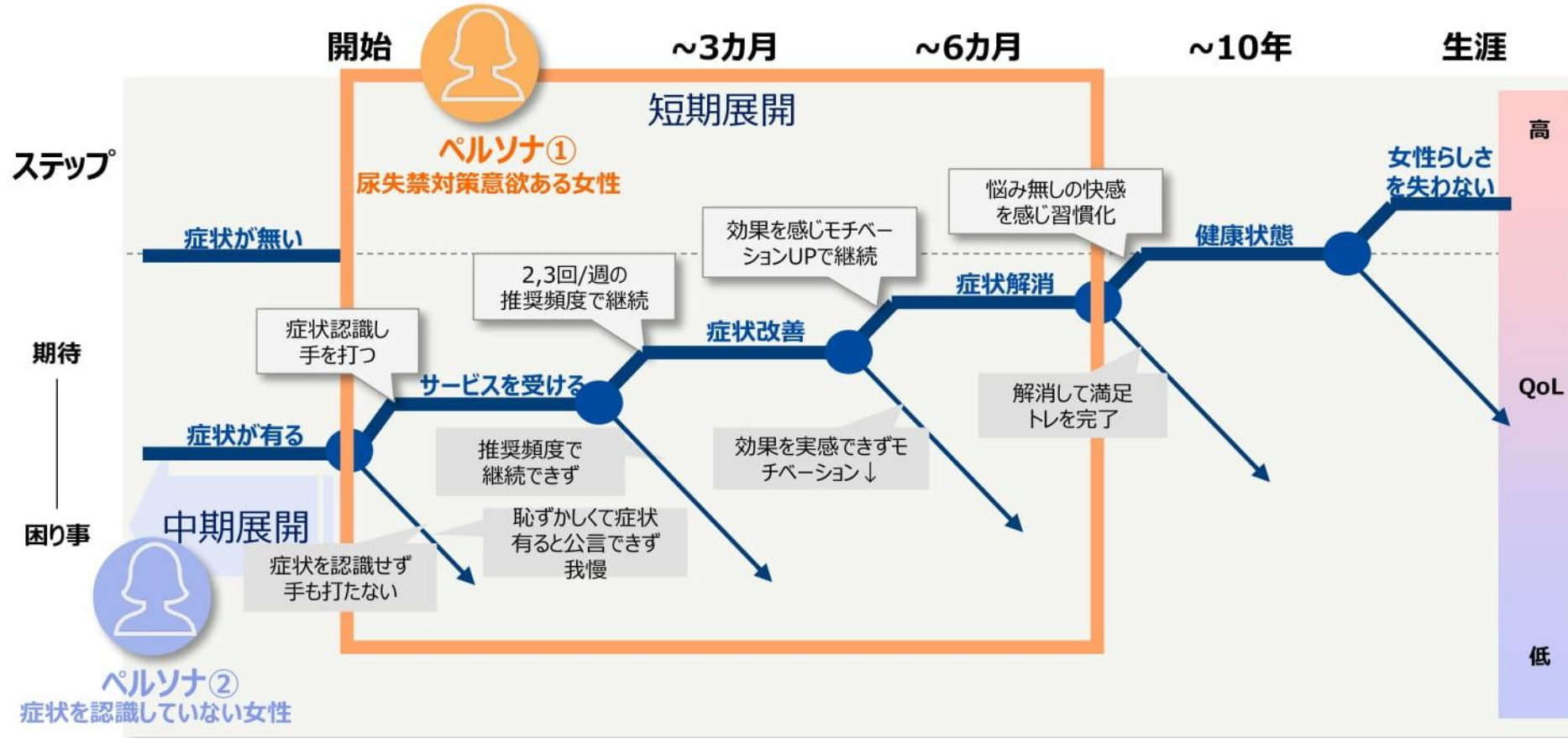
【骨盤底筋トレーニングの課題】

- セルフトレーニング期間のモチベーション維持、習慣化/継続
- 専門家による指導回数



モチベーションの維持、セルフトレーニングの最適頻度・継続を促す

短期展開：尿失禁対策意欲のある女性に、モチベーション維持向上の仕組みを提供
セルフトレーニングの最適頻度・継続を実現



中期展開：症状を認識していない女性へ、気付きを与えトレーニングの習慣化

目的

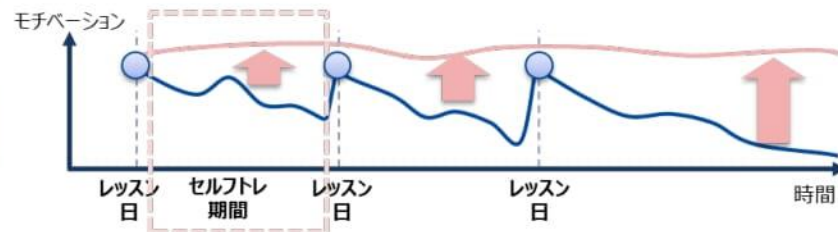
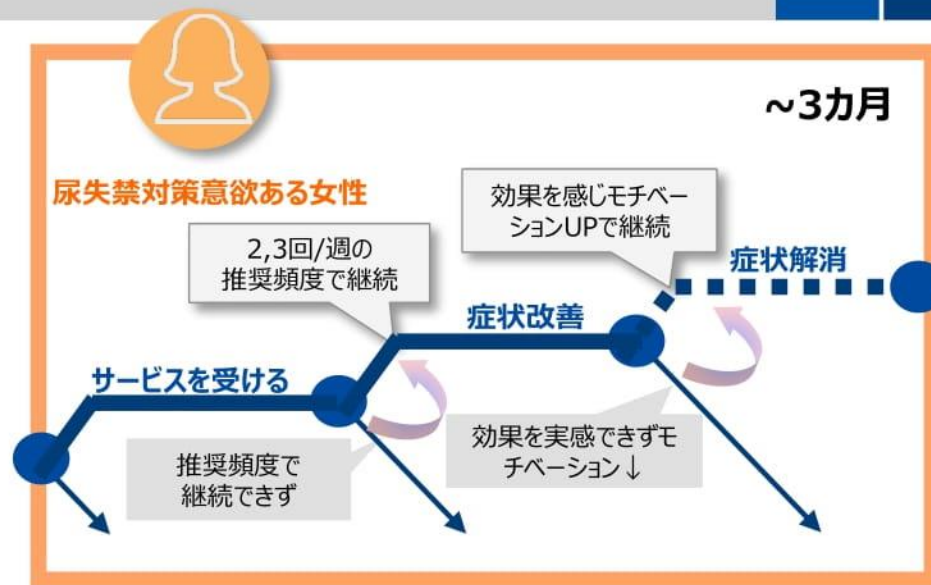
トレーニングを最適頻度かつ一定期間継続した利用者(A)が、非利用者(B)に対し、症状が改善することを確認する

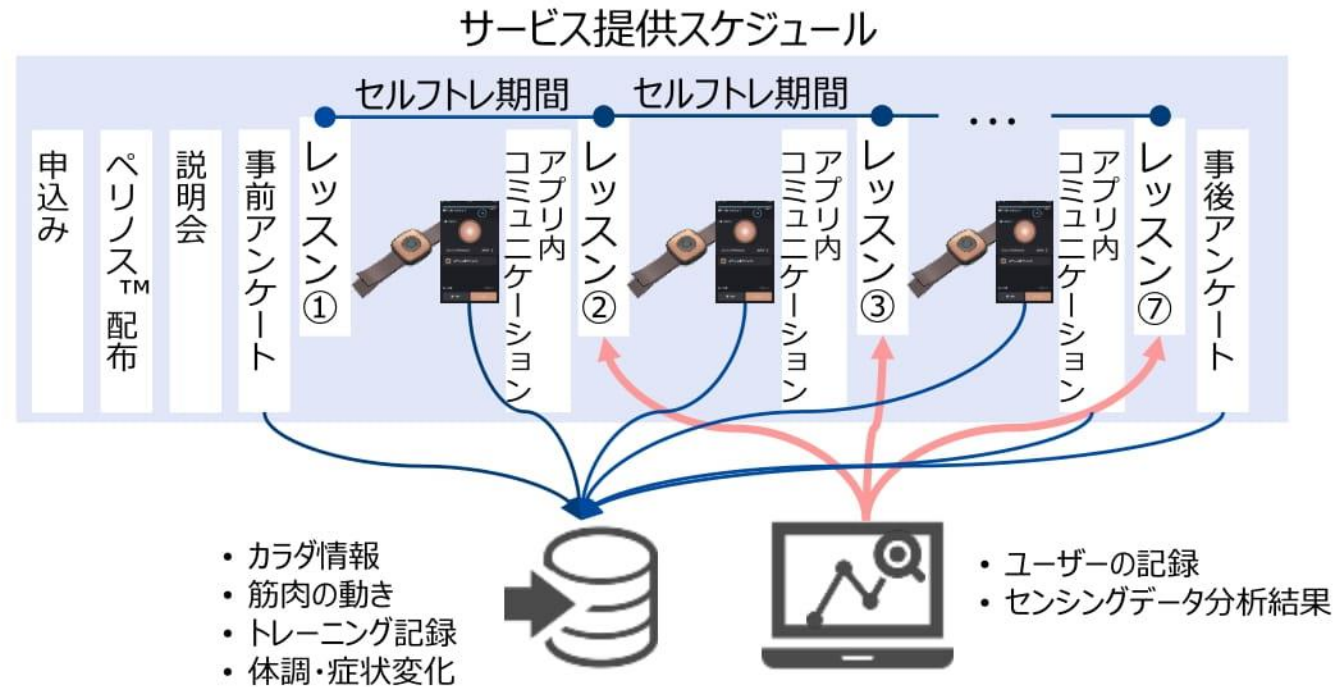
方法

	A	B
トレーナー指導(2回/月)	○	○
センシングデバイス	○	×
運動記録	○	○
トレーナー個別指導	○	×

主な効果測定

(A)(B)の3か月経過時の、症状の改善度合いの差を見る

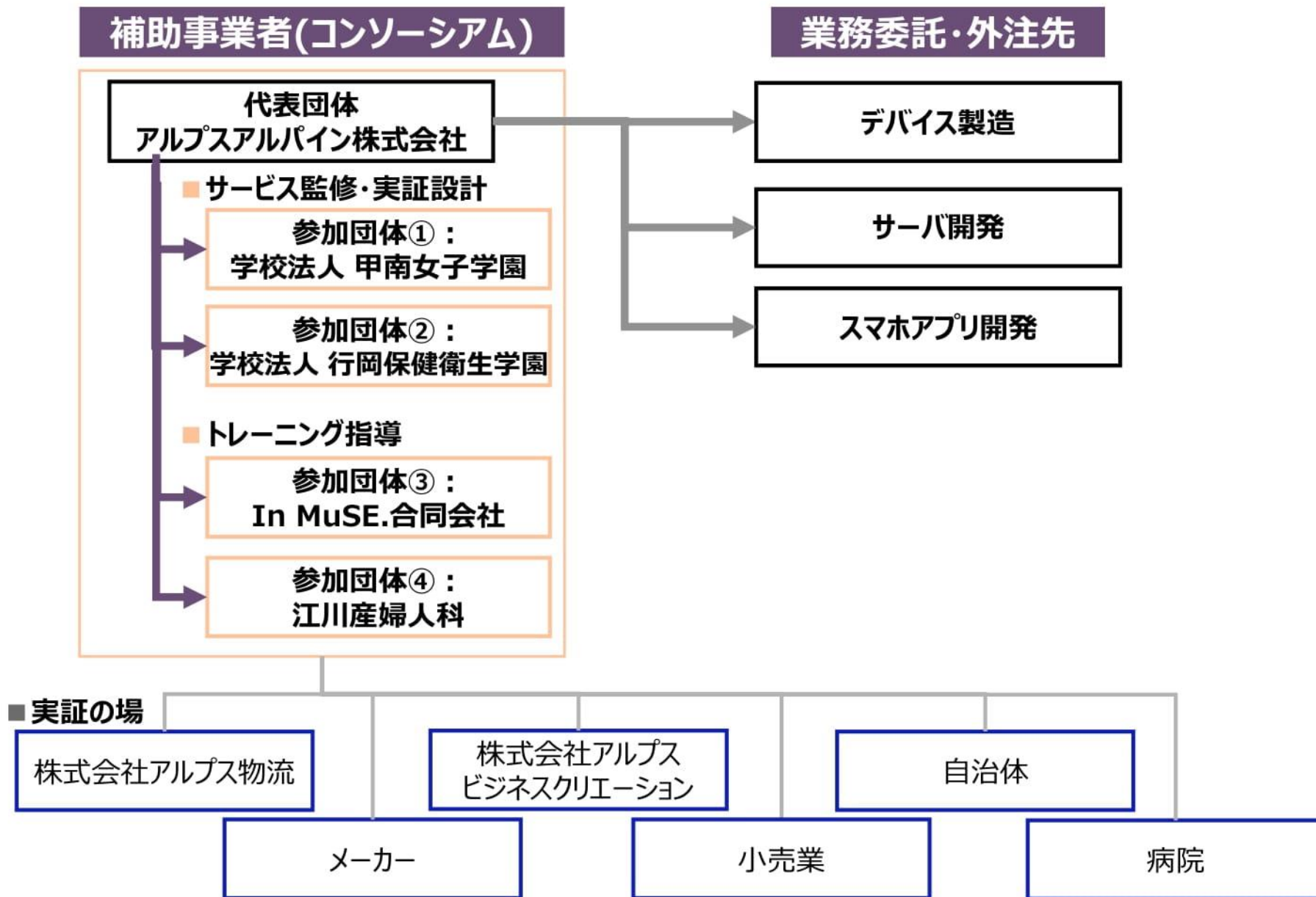


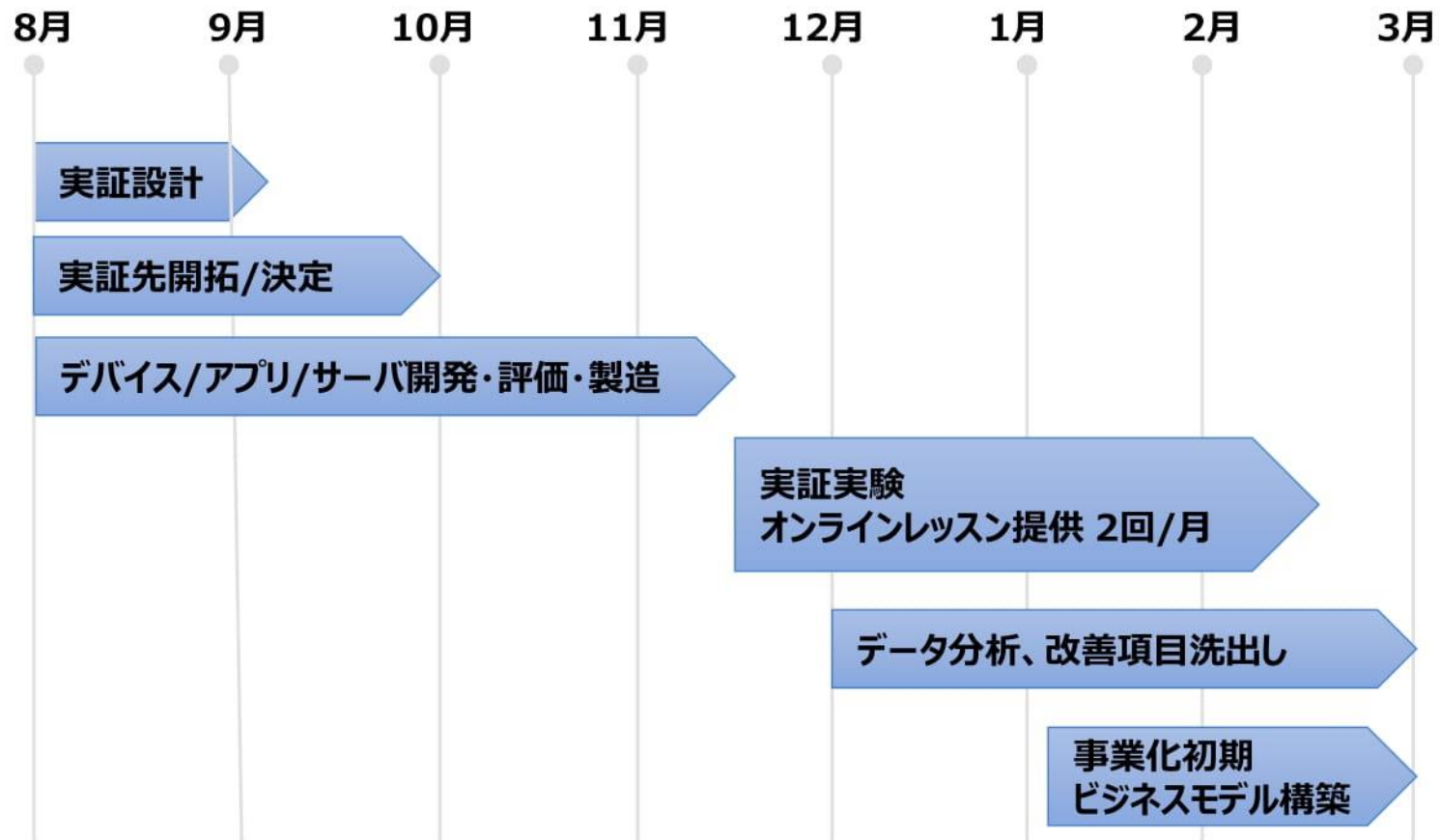


ポイント① 筋活動量の可視化によりトレーニングの実効性を体感

ポイント② データに基づく、トレーナーからの個別指導

ポイント③ ユーザー毎の最適なプログラム設定





実証実験の場として、ご参加いただける企業様、自治体様、医療機関様を募集しております。
お気軽に下記までお問合せください。

お問い合わせ先 : perinaos@alpsalpine.com

03.

妊活・不妊治療におけるパートナーシップ構築を目的とした
コミュニケーション促進ソリューションの効果検証
(代表団体：vivola株式会社)

妊活・不妊治療におけるパートナーシップ構築を目的とした コミュニケーション促進ソリューションの効果検証



vivola **TEIJIN**

2022年7月21日

昨年度 採択事業（vivola株式会社）

企業/自治体共催セミナー

企業向け

企業の人事・管理職向け治療と仕事の両立支援セミナー



昨年度フィードバックをいただき、今年度も実施する見込み

医療機関連携システム

医療機関向け

地域の産婦人科と専門医の連携による医療アクセス改善

医療機関向け
vivola KARTE
専門医不足/クリニック業務の課題解決の診療システム

シンプルな入力項目
採卵/移植同期に必要な項目に限定
• ホルモン値(FSH/LH/E2/P4)
• 卵胞径
• 内膜
• 処方

薬剤マスター登録
医師ごとの薬剤マスター登録も可能

医師間チャット機能
チャット+アラート機能で管理

PoC医療機関と学会発表
(日本受精着床学会@7/28-29)

事業の背景

当事者向け

妊活や不妊治療のカップルのパートナーシップ課題

1

妊娠前支援の必要性

少子化傾向、出産前の環境整備、不妊治療の保険適用約半数が子供を望み、4人に1人が妊活を経験

2

妊活/不妊治療カップルの課題

ストレスを抱えるカップル5割、男女の知識差や方針のズレ、治療における女性への過度の負担

3

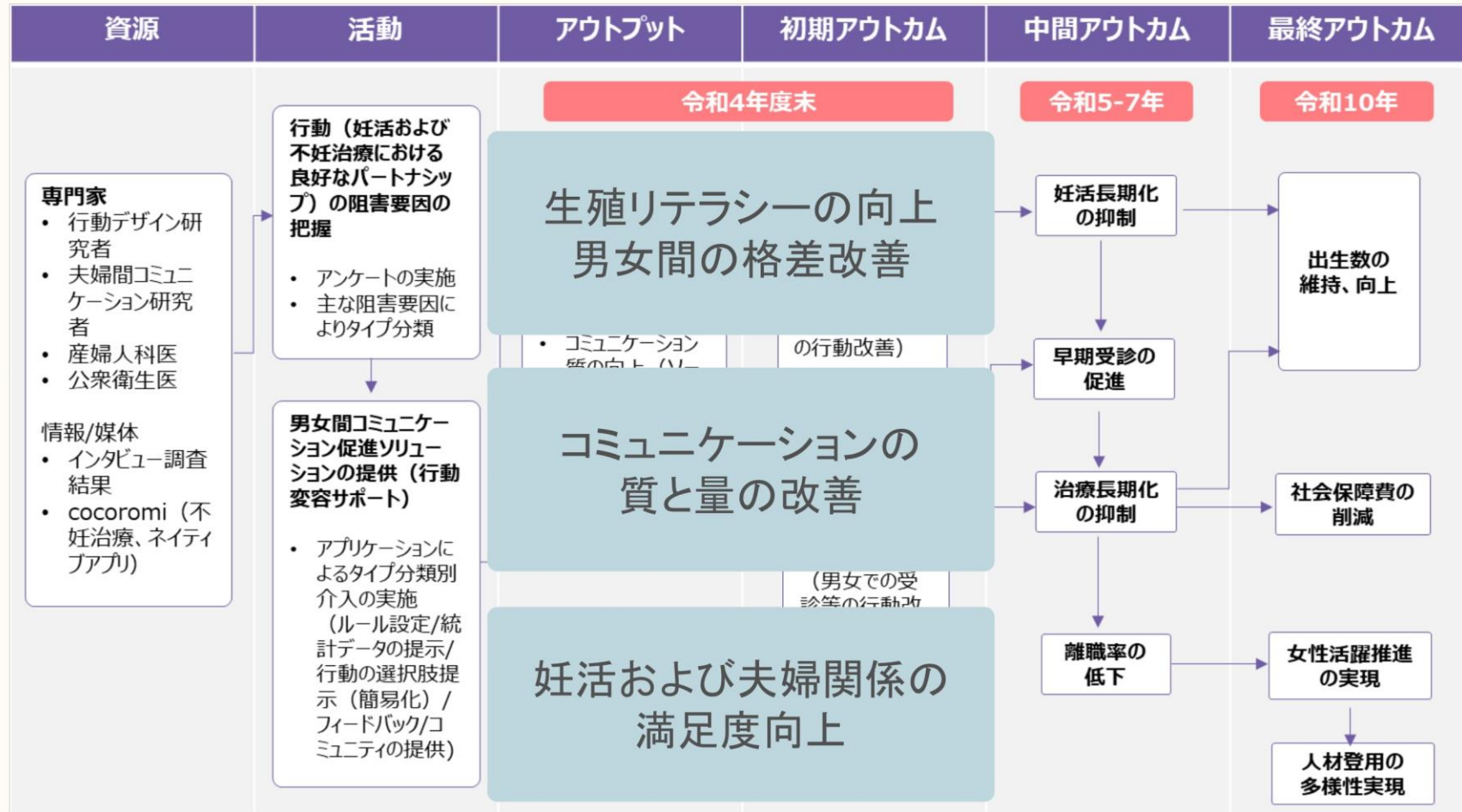
パートナーシップの重要性

パートナーシップの構築がストレス低減、長期化抑制、仕事への意欲維持、離職の防止、今後のライフステージへの影響



事業の目的/目標

事業の目的: 行動デザインのアプローチを用いた、男女間のコミュニケーションを促進するソリューションを提供、妊活、不妊治療における精神的なストレスを低減し、中長期的には長期化の抑制による離職率の低下に寄与する



実施内容

妊活・不妊治療におけるカップルのパートナーシップの阻害要因を把握し、適切な介入を行うことでコミュニケーションをサポートする

1



阻害要因の把握

問診により、

- パートナーとのGAPを可視化
- カップルのパターン分類

項目：妊活方針、ストレス度、妊活満足度、夫婦関係満足度、会話時間、自己開示等

2



パートナーシップサポート

アプリ内で、対象カップルに対し、

- 話し合いの機会創出
 - ルール整備
 - リテラシー提供
 - 治療状況の共有
- をメッセージ等で第三者介入し、行動変容を促して、パートナーシップの構築をサポート

3



評価およびフィードバック

介入による行動変容の結果、

- 方針のGAPやストレス度
- タイミング実施有無
- コミュニケーションの質と量
- 総合的な満足度

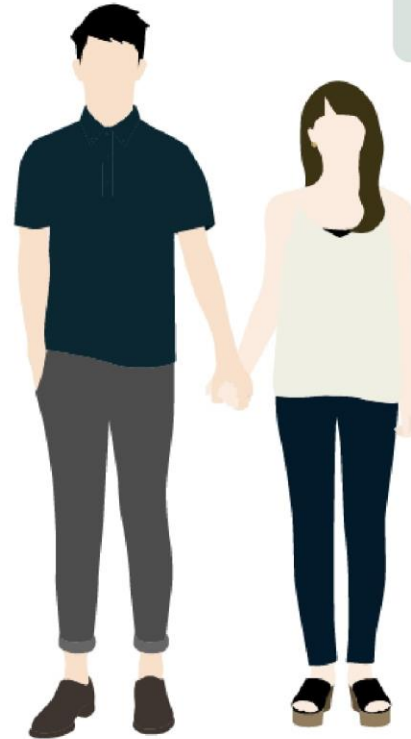
の変化を測定し、対象者へ必要な参考情報をフィードバック

妊活

TEIJIN



- 妊活の方針や価値観についての設問に回答
- 回答結果のうち、GAPの大きな部分を可視化
- カップル間でコミュニケーションを取るべきトピックスをAIがサジェスチョン(予定)



不妊治療

vivola

メッセージ (to夫)

今日は通院日です！仕事とのスケジュール調整頑張っているので、労わってあげてね。

共通メッセージ

採卵周期ですね！採卵に関するデータを見ながら今の治療について話しあってみよう

共通メッセージ

今週末は二人で料理をしてみても？妊活に必要な栄養素のレシピはこちら！



アクションログ

- ・ページへのアクセス
- ・入力/選択



- 問診により現在の夫婦関係満足度から状態を把握、分類
- アプリ内のメッセージで治療状況の共有、コンテンツ表示により、話し合いを促進

今年度の成果指標 および 成果測定の方法

アプリによるコミュニケーションの介入前後で、
対象者に以下の設問に回答いただく事で各指標を測定する



生殖 リテラシー

医師監修のもと、妊活や
治療に関する基礎知識の
設問の正答率を測定



コミュニケーショ ンの質と量

夫婦関係満足度や会話時
間や頻度の設問に回答し
てもらい測定



妊活/不妊治療 満足度

パートナーに対する満足
度の設問に回答してもら
い満足度を測定



WHO-HPQ 共通指標

仕事へのパフォーマンス
に関する設問に回答して
もらい測定

※妊活と不妊治療で必要な尺度が異なると想定しており、各々で設問項目は設計予定（一部共通化）

Team

等身大のvivolaと帝人のコラボチーム！

vivola

プロジェクト
リーダー



角田 夕香里

事務管理
責任者



泉水 亜紀子

他2名

TEIJIN

サブ
リーダー



尾藤 宏樹

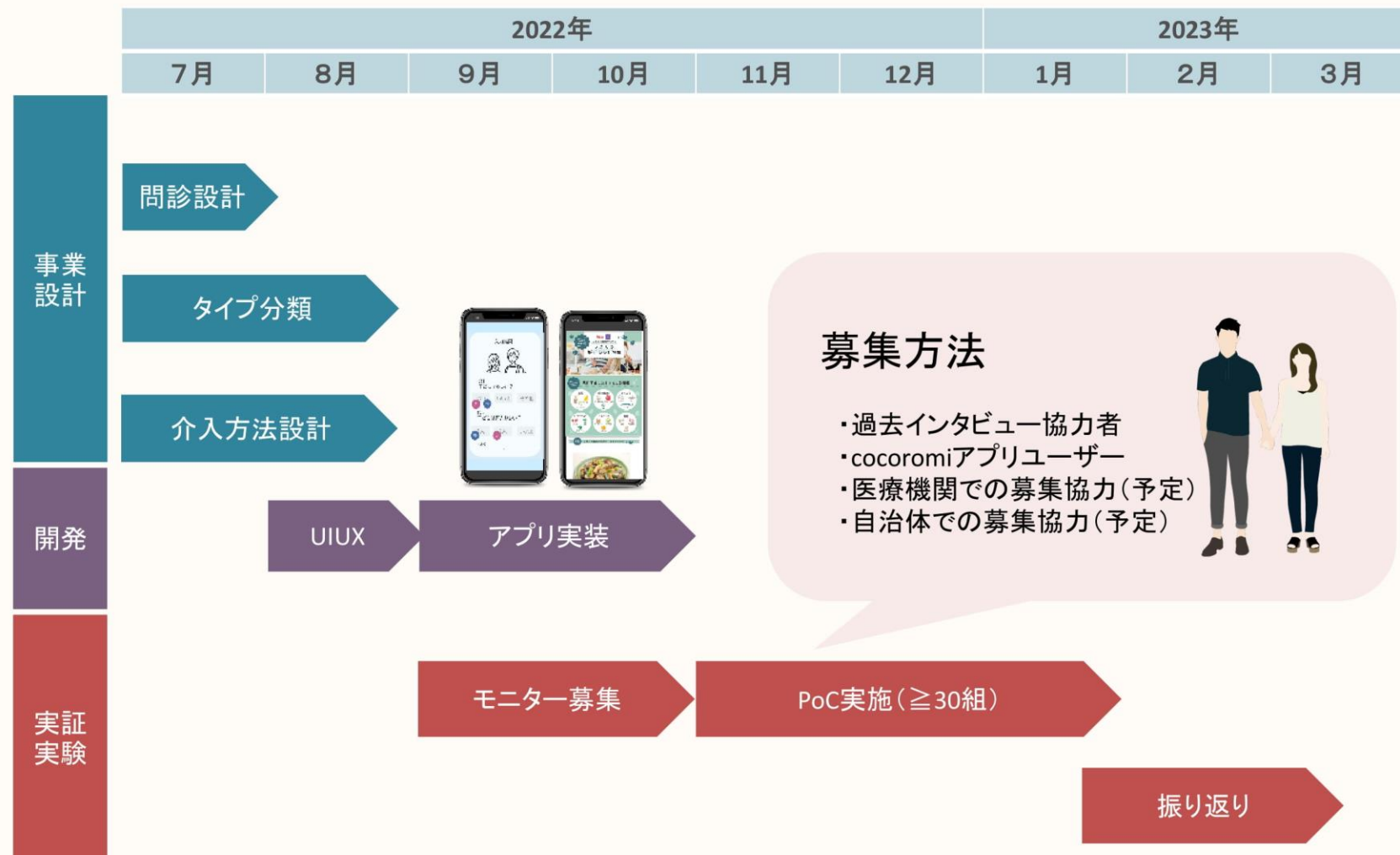


荻野 宏実

他2名

産婦人科医、公衆衛生、専門家、自治体、医療機関にご協力をいただきながら進めていきます！

実施 スケジュール



モニター募集にご協力いただける医療機関、自治体様を大募集しております！

04.

ヘルスリテラシー向上(知識の獲得から行動改善まで)を
通じた働く女性と組織の活性化をサポートする

『トータルウェルネスプログラム』

(代表団体：株式会社SRACreative)

ヘルスリテラシー向上(知識の獲得から行動改善まで)を通じた 働く女性と組織の活性化をサポートする『トータルウェルネスプログラム』

概要資料



社員からこのような声が上がっていませんか？

女性社員

生理前からイライラ。
職場のメンバーと
どう接していいかわか
らない。罪悪感で
いっぱいになる

女性活躍といわれているが、
将来のキャリアに漠然とした
不安があり、今後のキャリアを
イメージしづらい

心（ストレス/不安）、
身体の不調は改善しないと
いけないと思うものの、
具体的に何から始めたら
よいかわからない

(病院への受診が必要なのかも含めて)

男性社員/管理職（男女問わず）

部下に毎月体調を崩されてい
て困る。何か本人に対処して
ほしい。ただ、自分は生理な
どの症状はそんなに重くない
ので、なにをどう伝えたら
よいかわからない
(女性上司)

女性社員の不調に
対して、どうコミュニケー
ションを取ればよいのか
わからない。
セクハラと思われたくない
(男性社員)



企業としても、従業員のリテラシーアップの必要性は感じるものの、既存のソリューションの導入では、「企業の成果」に紐づけられていない...

フェムテック関連サービスは多く存在するものの....

不調を抱える従業員は一定数いるので、従業員のヘルスリテラシー向上は必要だと感じているが、具体的に何をすればよいかわからない

社員全員が必要性を感じ、利用できるものになっていない

(福利厚生だと利用者は限定的)

サービス導入後にも組織として取り組むべき施策の方針検討や課題解決に寄り添ってくれる事業者は少ない

組織内のコミュニケーション活性化や採用強化を目的とした企業ブランディングなど、組織の成長ドライバーとサービスの導入が上手く繋がられない(単発の施策で終わってしまい、導入効果が感じにくい)



実際の調査結果を見ても、女性社員、男性社員・管理職のヘルスリテラシーレベル、企業のサポート体制ともに課題は多い

ヘルスリテラシー

① 正しい知識を持つ



女性社員

・自身の症状が病院に行くべきレベルなのかについて理解している人は限定的



男性社員／管理職

・約8割の男性は女性特有の症状について知ることの重要性を感じている。
一方、約半数は学校教育などで学びの機会を得られていない



企業(人事)

・生理研修などに取り組んでいる企業はまだまだ少ない。
導入していても単発的な研修に留まる

② 改善に向けた行動をする

・生理に対して対応せず我慢をしてしまっている人は20-30代では約3-4割 ※1

・職場は「生理関連の不調を抱える人に理解がない」と回答する人が約半数 ※3

・福利厚生などは、症状が顕在化している社員の利用に留まる(利用自体も個人の判断)。一般的なのはオンライン診療、相談、処方など

※①と②の繋がりも薄い(サービスを提供している会社が異なるため、情報の連携が出来ていない)

現状のままでは、社員一人ひとりのリテラシーアップは
個人の判断／自助努力に委ねられたままで、改善は難しい...

参照先：1) 『ルナルナ』×「シンクパール」共同調査「年代別にみるカラダへの関心」について(2018)、2) 女性ホルモン製剤などを扱う医薬品メーカーであるあすか製薬により実施された調査(2020)、産経新聞、3) 日経B.P.総合研究所 メディカル・ヘルスラボ生理快適プロジェクト



目指す姿 女性特有の不調に関するヘルスリテラシーが普及した状態

女性社員だけでなく、男性社員・管理職のヘルスリテラシーが高い状態。そして、組織内で不調を抱える社員の改善をサポートする持続的な仕組みや、効果検証を通じた「成果の見える化」が出来ている状態。

ヘルスリテラシー

① 正しい知識を持つ



② 改善に向けた行動をする



女性社員

- ・リテラシーテストや研修など、全社施策として全員が参加し、自分の症状を客観的に知る機会を持つ（自身の現状を把握）。
- ・自身の症状に対して適切なセルフケアの知識を持ち、具体的な行動の実践が出来ている
- ・リテラシーが高い社員が増え、「仕事のパフォーマンスを上げる」ための自律的な意識、スタンスが定着し始めている



男性社員/管理職

- ・生理/PMS/更年期障害などの症状に対する正しい知識を持ち、自身の物差しで判断せず「一人ひとり症状が異なるもの」と理解する
- ・そして、社員一人ひとりとの対話を通じて、本人の望む形での「仕事との向き合い方、働き方」をサポート出来ている

(例：全員が「生理休暇」が欲しいわけではなく「通院のための一時的な離席」や「リモートワーク」などが理想の人もいる)



企業(人事)

- ・一人ひとりの知識の獲得、改善に向けた行動の実施、改善効果の検証ができるよう、施策を全体設計、運用できている。「女性社員の不調改善し、自分らしく働くことのサポート」を通じて、働き方の多様性、リテンション、チームワークの強化、生産性の向上、企業ブランドケアアップなど、会社の「成果」に繋がっているのを実感している

弊社が提供するトータルサポートの全体像

人事のパートナーとして、社員全員のリテラシーUPのためのトータルソリューションを提供。

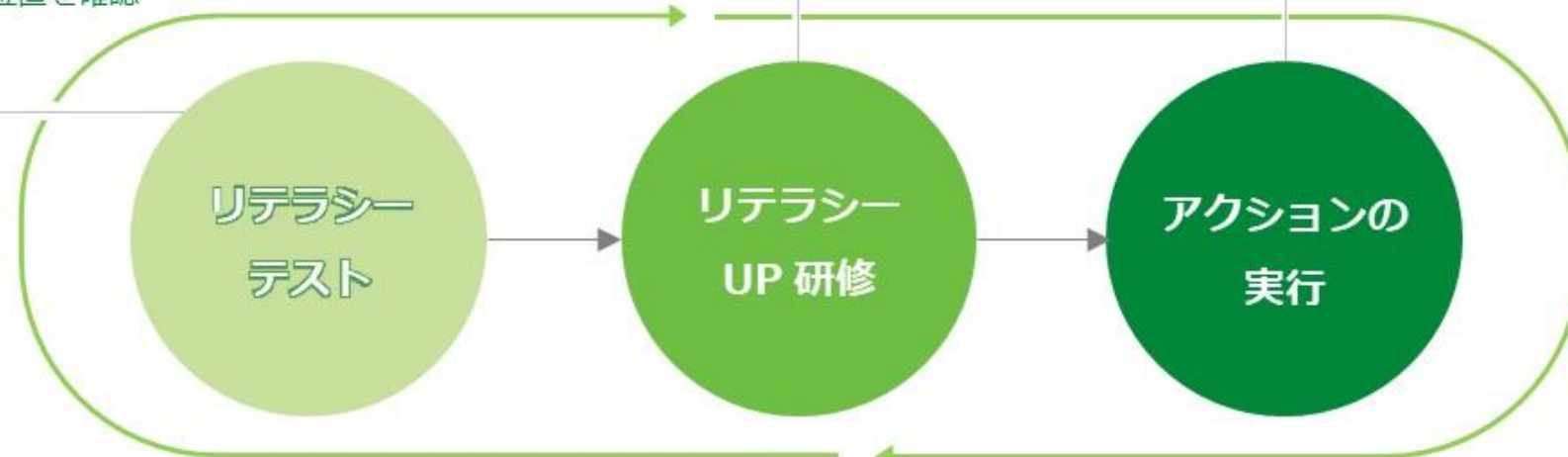
女性の不調をきっかけに、多様な健康課題を持つ社員の理解、協力し合う職場へ

女性の心と身体の健康

女性社員、男性社員、管理職別に
リテラシーテストを実施。
他社スコアと比較して自社の
立ち位置を確認

テストの結果を踏まえ、対象者別
(女性社員/ 男性社員/ 管理職)に
理解を深める研修を設計、実施

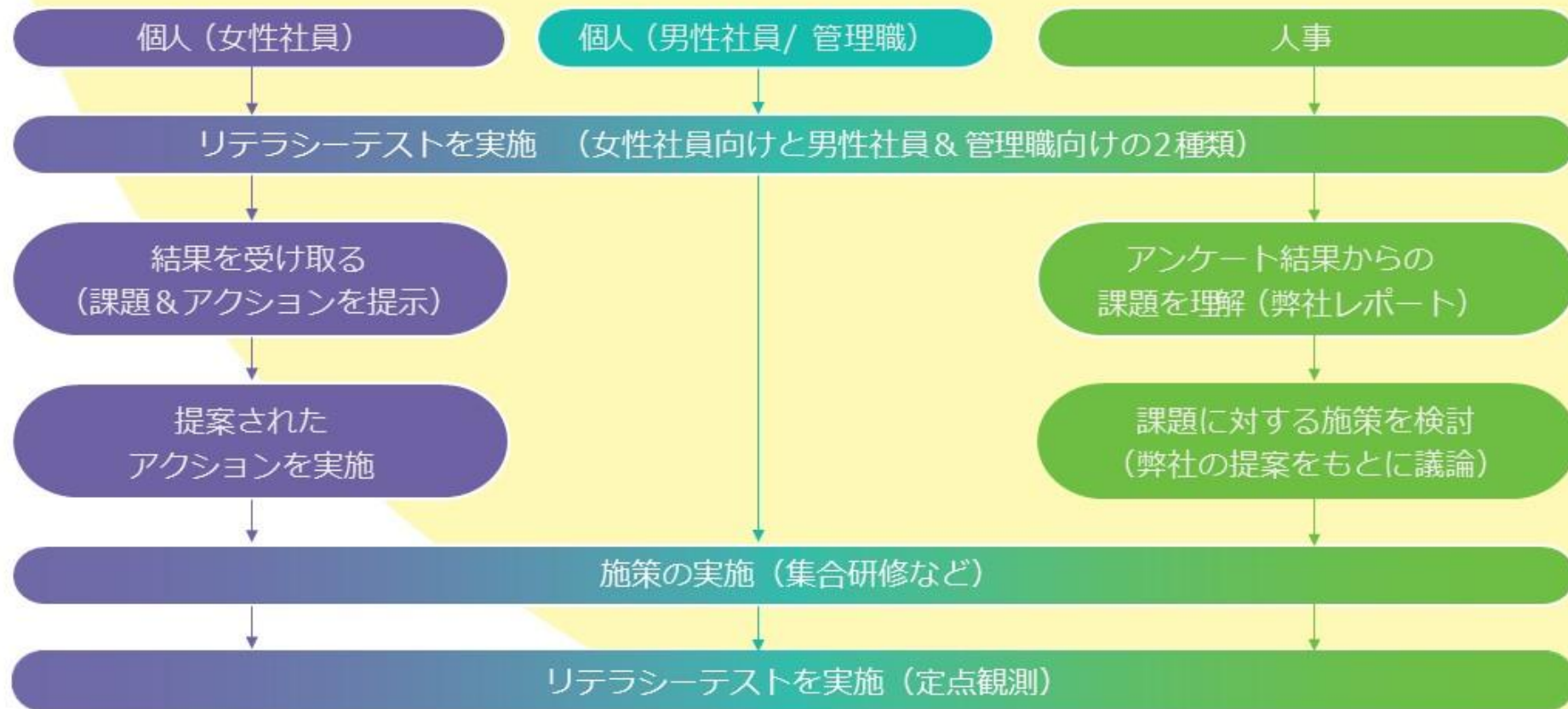
例えば、女性社員向けに心/食事/運動
/睡眠サポートや検診受診や処方
などのソリューションを提供



社員のパフォーマンスやエンゲージメント **UP**

弊社が提供するトータルサポートの全体像（進め方）

具体的な進め方として、リテラシーテストを実施し、結果をもとに研修やアクションのサポートを提案結果をもとに研修やアクションのサポートを提案（コンサルティング）



組織向けリテラシーテスト/ 研修テーマ

リテラシーテスト、スコアUPのための研修テーマは下記。今後、不妊や男性更年期障害などのテーマも増やし、男女ともに取り組める形へと進化

心・身体に関する知識

- 自身の心と身体の今の状態は？（スコアに合わせたアドバイス付）
- 不調（PMS/ 生理トラブル / 更年期障害）を放置しておくリスクとは

ビジネスパーソンとして

- 仕事への影響は？体調管理の重要性
- 正しいセルフケア / メディケーションの方法とは？

周囲の関わり、サポート

- 職場のサポート状況の満足度は？
- サポートしてくれる人の人数は何人？
- 周りとのちょうどいいコミュニケーションとは？

よりよい職場にするために

- 会社の環境 / 働きやすさの満足度は？
- 職場の仕組みとしてほしいのは？
- 体調改善とリテンションの関係は？



対象者層ごとにテスト/研修を実施



女性社員 男性社員 管理職

組織向けリテラシーテストのレポートイメージ

リテラシーテストの結果は、レポートとしてまとめ、組織課題の見える化、施策検討をサポート



個人向けソリューション（改善に向けた行動サポート）

「改善に向けた行動」では、各領域の専門家が個人の課題改善に寄り添い、「知識の提供」だけでなく、「実行、改善」までを一気通貫してサポートします

心

コーチング/ワークショップ

- コミュニケーション/内省の機会の提供
1on1コーチング

身体

運動/食事/睡眠/検診・ピル処方

- 運動/トリートメント
オンライントレーニング・オフィスへの出張鍼
- 食事
女性に必要な栄養素を詰め込んだ「宅食サービス」
※社食としても提供可
食事指導・栄養セミナー
- 睡眠
睡眠分析～製品提案～伴走支援のトータルサポート
- 診断/処方
検診、オンライン診断+ ピル処方



	短期(1年後)	中期(2年後)	長期(3年後)
女性社員 1. 研修参加率/リテラシーテスト参加率 2. 不調に対するセルフケア 理解度 3. セルフケア実施率※1) 4. 婦人科受診勧奨の社員比率 5. パフォーマンススコア※2) (WHO-HPQのスコア設問B9-11)	60% または +5%※5) 40% または +10% 40-50% または +10% 30-40% または ▲10% + 20%	70% または +10% 60% または +20% 60-70% または +10% 20-30% または ▲10% + 10%	80% または +10% 80% または +20% 80% または +10% 15%以下 または ▲% + 5% (3年間で最大+35%)
男性社員 / 管理職 1. 男性社員 / 管理職の「女性の不調に対する理解度」スコア	30% または +5%	40% または +10%	60% または +20%
組織 1. 女性社員が感じる「職場の女性特有の不調に対する理解度※3)」 2. 女性社員のエンゲージメントスコア 3. 女性社員の心身不調を理由とした休職者数・日数 4. 女性管理職比率	60% -(短期的には影響なし) -(短期的には影響なし) -(短期的には影響なし)	70% +5% ▲5% -(中期的には影響なし)	80% +5% ▲5% +5%

※1) 食事改善・運動・睡眠サポート/検診/ピル処方等の対応状況

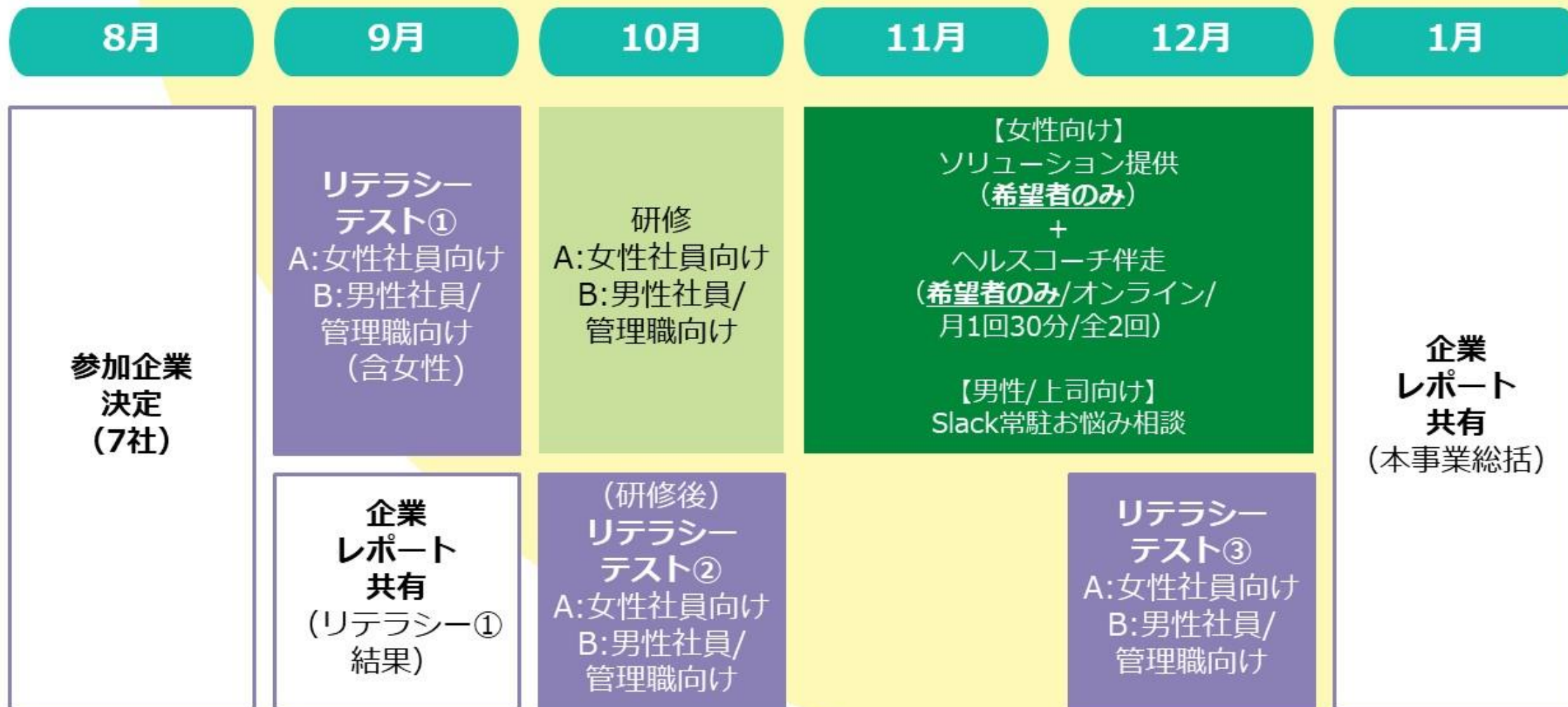
※2) 短期目標参考:丸紅 成果報告書【月経PG】オンラインピル外来実証調査 結果③プレゼンティーイズムp19

※3) 現状約50%:日経BP総合研究所メディカル・ヘルスラボ生理快適プロジェクト調査

※5) +/-▲xx%は、対現状比

実証事業スケジュール詳細

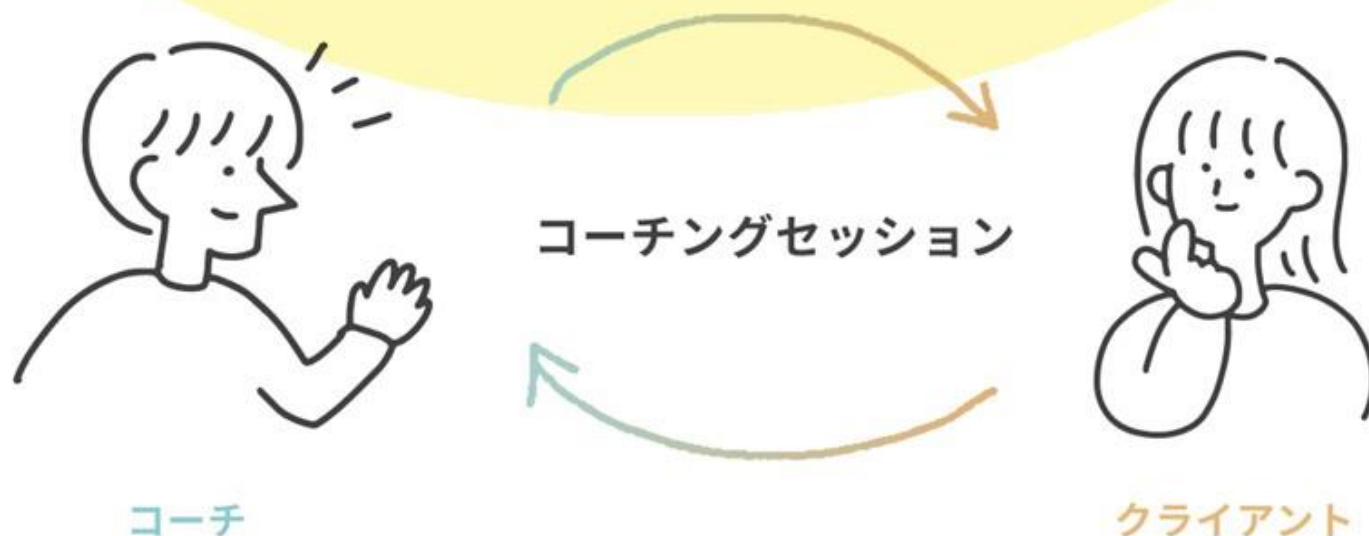
ご協力頂く期間は9月～12月末までの約4か月



コーチングとは

気づきと行動が生まれるプロセス

THE COACHが考えるコーチングとは「気づきと行動が生まれるプロセス」です。
コーチとクライアント（コーチングを受ける人）は、コーチングセッション（両者が対話する時間・場）で、クライアントに気づきが生まれることを目的として対話を重ねていきます。



1 日10 分のオンラインエクササイズで労働生産性の向上とチームの活性化



日々忙しいビジネスパーソンの労働生産性を最大化するために最新の健康情報とともに、1 日10 分の運動習慣を提供いたします



ママの休食

ママに休養と栄養を届ける宅食サービス。
ママとご家族のためのとっておきご飯です。

自社の管理栄養士がおいしさと栄養に徹底してこだわり抜いた
1食 5品の冷凍弁当をご自宅までお届けします。

栄養配分の異なる「プレママ」「育児ママ」の2つのプランから、
生活に合わせてご自由にお選びいただけます。

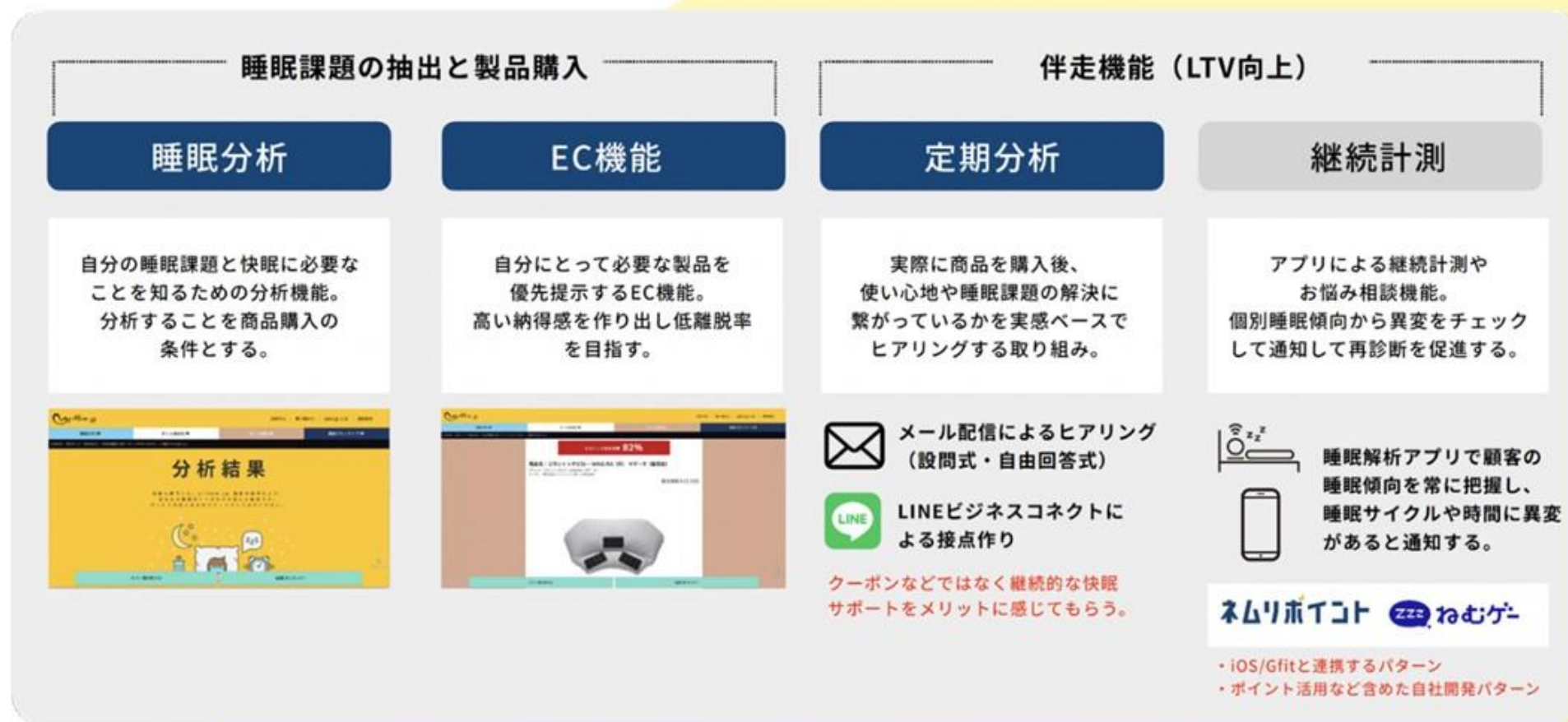
Product

弁当、惣菜、
バイクドーナツ、葉酸サプリ



顧客の睡眠パートナーとして伴走するためのデジタル活用

リアル店舗を持たない nemuli では、顧客と継続的な睡眠パートナーとなるため、オンラインを軸とした伴走スタイルを確立させる必要がある。



法人向けサービスのラインナップ ※提携医療機関

スタートアップ/ 中小企業様の痒いところに手が届く医療機関を目指します

健康診断

- 30分完結のスマート健診
(無料歯科検診付き)
- 健診業務を自動化する管理システム付帯
(無料)



産業医・保険師派遣

- スタートアップ/
中小企業ご支援実績のある産業医/保健師の派遣



ストレスチェック

- WEB完結の
ストレスチェック

〔含 個人別分析、
全社/部署分析、
労基署報告〕



集団予防接種(インフルエンザ等)

- 御社オフィス等での
ワクチンの集団接種

〔渋谷界限/50名以上
に限る〕



スマート健康診断：当院の特徴 ※提携医療機関

人事労務の負担を減らし、スマートに受診できる健康診断となります

人事労務向け

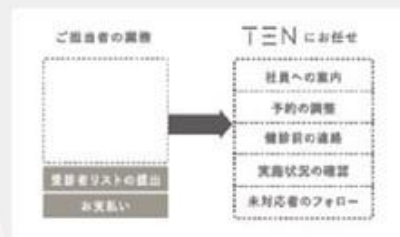
スピーディな受診案内

申込みから最短1週間以内に健診の受診が可能



健診の調整業務が不要

独自開発した健診管理システムが、担当者様が行っていた業務を代行します



従業員向け

待たされずに、ゆったり受診

受診者向け予約システムを活用し、最短30分で終わり、スキマ時間で受けられます



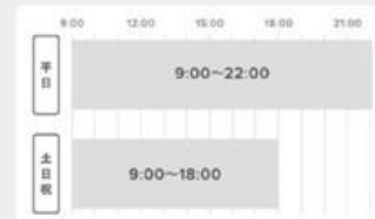
完全個室で、贅沢なひと時を

他の患者と接触せずに、感染症対策にもなります



平日夜・土日祝も受付可

平日日中忙しい方でも安心して受診可能です



1分でWEB予約完了

当院の予約システムで前日まで予約・変更が可能です



こうした企業の取り組みをストーリーにして、社内・外の発信することで、企業ブランドの向上にも貢献します

記事化 オウンドメディア・note等の媒体にインタビュー記事を作成。サービス説明や採用活動のテーマなど幅広く対応

動画化 社内へのコンセプト伝達などに活用

- 本プログラム参加者を対象にしてコンテンツ化することで、参加者の気づきにとどまらず、発信することで組織の学びにしていく
- 社内での新たな関係性構築
- 新卒・中途採用時のアピール要素化
- SDGs 関連・ブランド素材として活用



LYLのプログラム導入で起きる“チームの化学反応”～導入事例 Septeni Global様～

私たちは、「コーチング×コンサルティング」で企業課題を個人と企業の両面から解決へとサポートするLYL（リール）です。LYLは、企業が抱える課題に対して「コーチング×コンサルティング」のアプローチで解決へ導き、組織成長に向けたサポートをしています。

今回のnoteでは、LYLのプログラムを導入していただいているSepteni Global様の事例をご紹介します。



小山 侑子

SEVENRICH GROUP CHRO
LYL代表 兼 コーチ

- 新卒で外資系戦略コンサルティングファーム
ローランド・ベルガーへ入社し、5年間従事
- 大手企業のVision策定からPMI、新規事業
立ち上げ等、幅広いテーマでのCXO案件に参画
- 現在はSRの全体統括を担う傍ら、CXO、コン
サルを中心にコーチングを提供



寺田 一子

LYL
事業推進メンバー兼コーチ

- 大手生命保険会社、人材紹介企業での営業職を経て、
コーチ・エイに入社し、9年間従事
- エグゼクティブコーチング中心の組織変革サービス
営業と200人以上のリーダーにコーチング
- 主なコーチングのテーマは、リーダーシップ向上、
周囲との関係性強化



川端史紀

MYPLATE代表
管理栄養士

- 大学卒業後、国家資格「管理栄養士免許」を取得
- 健康食品企業での健康相談、専門学校栄養学非
常勤講師、心療内科栄養カウンセラーなどの経
験を経て、IT企業に就職
- 生活習慣病予防、スポーツ栄養、遺伝子等多数
コンテンツを企画

各事業の主要メンバー

b{stoic



鈴木孝佳

b{stoic CTO/パーソナルトレーナー

- 脳神経学/機能解剖学/運動生理学/栄養学に基づき、アスリートやアーティストをはじめ述べ8,000人の身体を改善。Twitterのフォロワー4.5万人突破、著書を3冊発行。

b{stoic



山本 健夫

b{stoic創業者/パーソナルトレーナー

- 機能改善プログラムを得意とする。現在は、脳を鍛えるをコンセプトにした身体機能改善スタジオ「b{stoic」の責任者を務める。

THECOACH



こばかな

THE COACH
代表

- 元DeNAでデザイナーとして活躍。企業や個人に対しコーチング実績500人以上。同業他社のコーチからも高い共感・支持を集める

THECOACH



岡田 裕介

(株) THE COACH 取締役/開発/講師/コーチ

- パーソルキャリア株式会社に入社。転職支援・採用コンサルティングに従事。その後教育系のソーシャルベンチャーを共同創業・副代表理事に就任。独立後は、認定コーチとして、スタートアップ企業の経営者・CxO・マネージャーを中心にエグゼクティブコーチングを提供。

THECOACH



松浦 瞳

(株) THE COACH 取締役／事業責任者
／コーチ

- 日本ロレアルに入社後、コンサルタントに
転身し、シンガポールオフィスを立ち上げ。
- マーケティング・ブランド戦略の立案および
自社のコンサルティング組織づくりに従事。
その後、資生堂の経営戦略部を経て独立し、
戦略コンサルタント兼コーチとして活動。
1児の母



豊泉 理絵

医師、産業医

- 産婦人科医としての活動と合わせて産業医としても
企業のサポートを行う。医師になる前は人材会社に
人事としてつとめていた経験もあり、企業担当者に
寄り添った提案に定評がある。



浦田友恭

代表取締役COO

- 事業開発代行のベンチャーにて、大手企業の新規事
業開発やブランディングプロジェクトに従事。
- 自身が無呼吸症候群であることもあり、睡眠に課題
を感じ、nemuliに参画。

98 BonBon (協業パートナー)



荘子万能

BonBon代表医師

- 医学部在学中から、病院内外や患者医療者間の情報
格差に課題を持ち、「医療のやりすぎの適正化を目的
とした」世界的キャンペーンChoosing Wiselyに
参画し、日本での展開を主導。著書に『僕たちが医
者になるまえに』『私にとってのChoosing
Wisely』などがある

参画事業のご紹介

LYL

コーチング事業

<https://lyl-coaching.com/>



LYLはDiversity3.0の実現に向けた組織改善×能動的な人を創る企業です。コーチング×コンサルを通じた組織開発プログラムを提供。リーダーシップ、女性活躍、DX人材の育成など、個人のChallengeを組織への成長へとつなげます。

MYPLATE

宅食サービス

<https://mamakyu.com/>



ママに休養と栄養を届ける宅食サービス。自社の管理栄養士がおいしさと栄養に徹底してこだわり抜いた1食5品の冷凍弁当をご自宅までお届けします。栄養配分の異なる2つのプランから、自由にお選びいただけます。

THE COACH

コーチング事業

<https://thecoach.jp/>

THECOACH

プロレベルを目指せるオンラインのコーチングスクール。プロのコーチを目指す方はもちろん、仕事にコーチングの要素を取り入れたい方や、マネジメントに活用したい方に最適なカリキュラムです。

b{stoic

b{stoic



パーソナルジム

<https://b-stoic.com/>
<https://tentore.com/#instructor>

ビジネスパーソンのコンディショニング改善に特化したパーソナルトレーニングジム。柔軟性や呼吸の状態などを全面的にチェックする身体評価を強みとしています。健康に関するあらゆるお悩みを、全面的にバックアップします。

**CLINIC TEN
SHIBUYA**

※提携医療機関

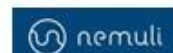


クリニック

<https://clinicten.in/>

忙しい患者様を「お待たせしない」仕組みを導入し、かかりつけ医との「より身近な関係性」づくりを図りながら、ただ診察をするだけでなく、医療・健康知識が患者さまの暮らしに蓄積され続けていくことを目指した医療系クリニック。

nemuri



nemuli は「眠りに個性」をミッションにユーザー一人ひとりの課題やライフスタイルに合わせた快眠を提供するために、睡眠診断を軸とした商品・サービスの提案を行う、ネムリパートナーです。

環境やメンタルで日々変わるそれぞれのネムリを分析して、一人ひとりマッチするネムリを提案し、ナイトタイムをデザインします。

SEVENRICH GROUP 概要

SEVENRICH GROUPは会計事務所を母体に、ベンチャー創出支援を行い、ウェルネスや飲食、コーチング、人材など20以上の事業を展開

グループ名

SEVENRICH GROUP

代表会社

株式会社SEVENRICH Accounting

所在地

〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町9-8
KN渋谷3ビル 2F

企業サイト

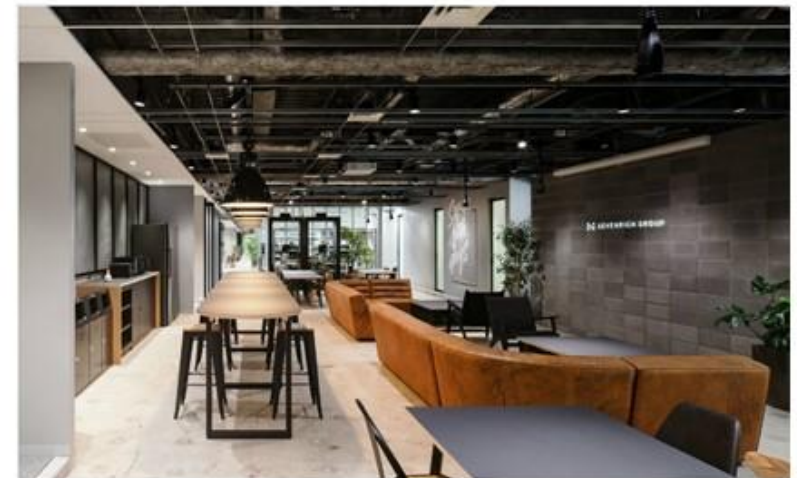
<https://sevenrich.jp/>

グループ会社

株式会社SRACreative
株式会社SEVENRICH
Development
株式会社じそく1じかん
株式会社Suage Japan
株式会社THE COACH
株式会社Connect Beyond
株式会社MYPLATE
株式会社LYL

グループ従業員数

約350名



ほか

SEVENRICH GROUPは会計事務所を母体に、ウェルネスや飲食、コーチング、人材紹介など20以上の事業を展開し、多様な領域目の前の人を幸せに出来るような事業を創造し続けています。

LYL PROGRAM

一人ひとりの個性を活かした「自走する」組織デザインプログラム

ダイバーシティ 3.0

STORY | *Coaching*

コーチング

個人の在りたい姿を明確化

- 社員のモチベーション向上、業績スピードUP
- エンゲージメントの向上
- 離職率低下

GROUP VISION | *Workshop*

ワークショップ

個性が活かされた組織の姿を言語化

- 部門間連携の強化（対話の増加）
- 業務改善や新規事業のアイデア増加
- 生産性向上、業績向上



COMPANY VALUE | *Consulting*

コンサルティング 自走する組織のデザイン



「社員から選ばれる会社になる＝企業ブランドが上がる」

LYL PROGRAM は、スタートアップから大企業まで、
企業の組織課題に沿ってプログラムをオリジナル構成します。

導入企業

Asahi



SEPTENI GLOBAL

hey

note

など

05.

働く更年期女性の睡眠を可視化した
リトリートプログラム実証事業
(代表団体：沖縄セルラー電話株式会社)

働く更年期女性の睡眠を可視化した リトリートプログラム実証事業

沖縄セルラー電話株式会社

営業本部

ビジネス開発部

- ①事業テーマ、事業設計の背景・事業目的
- ②事業目標（中長期目標を含むロジックモデル等）
- ③実施内容
- ④実施体制
- ⑤実施スケジュール

更年期女性の睡眠を可視化したリトリートプログラム実証事業

【事業設計の背景】

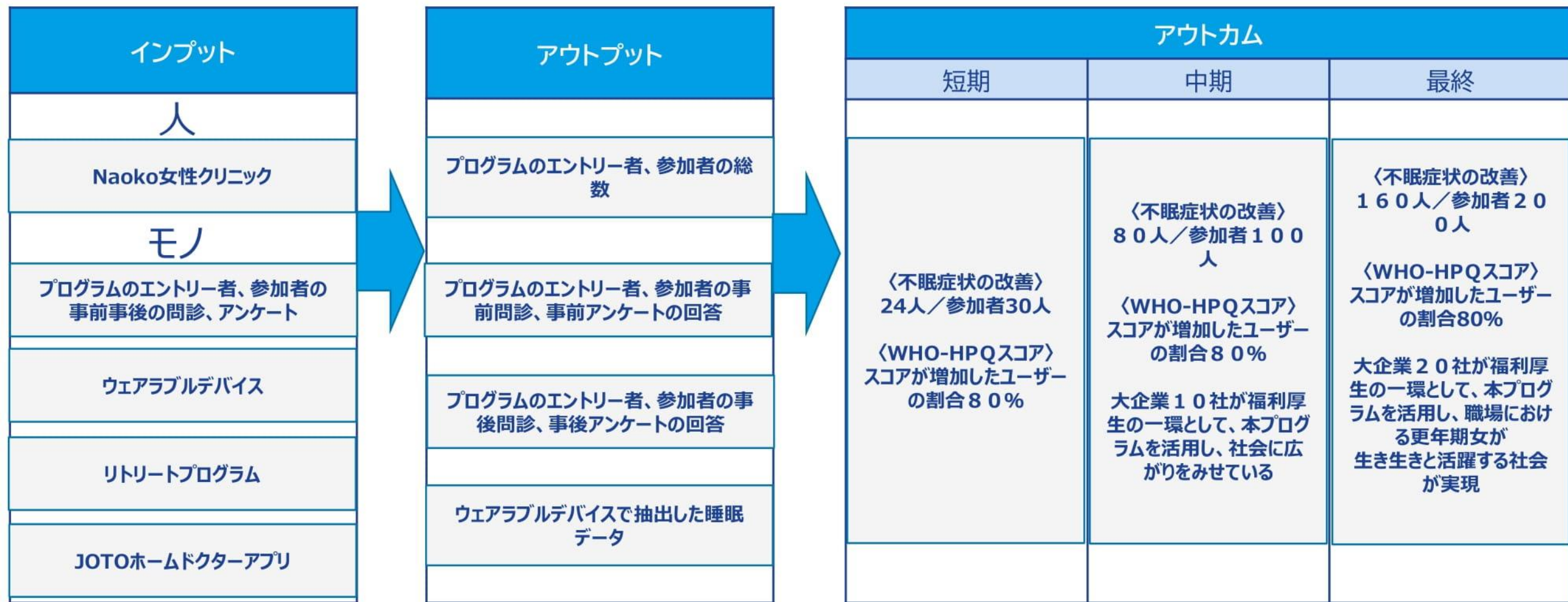
世界的に様々な論文等で更年期の女性の約半数が不眠になると言われている。
また不眠は働く更年期女性にとって生産性を低下させる要因となっており、QOLの低下に繋がっている。
更年期の不眠の原因は様々であるが、「睡眠」を可視化することで、適切な対処をすることができる。

【事業目的】

更年期の働く女性の「睡眠」の可視化およびフェムテック企業監修のリトリートプログラムの実施により「不眠症」の原因の特定と改善を図り、働く女性が職場で最大限能力を発揮できる環境構築を目指す。
本事業により、睡眠データを活用したリトリートプログラムをサービス設計し、多くの企業に福利厚生の一環としてプログラムを活用いただくことで、女性が生き生きと活躍する社会の実現を推進する。

リトリートとは・・・ 忙しい毎日を忘れて心と体を休めリフレッシュすること

プログラム参加者のうち80%以上の睡眠の改善 および共通指標①のスコア増加を目指す



専用のウェアラブルデバイスにて計測した睡眠データを基に リトリートプログラムを実施し不眠症状の改善を図る

ウェアラブルデバイスで睡眠データを計測
不眠症状を検知



検知したデータを基にプログラムを実施
不眠症状の改善を図る

心と身体の再構築をめざすリトリートプログラム



人生100年時代を
生きる健康と免疫



健康長寿、美しく輝くための
女性の統合医療



睡眠を助けるツボ、
お灸、セルフケアのコツ



自分でも楽に続けられる
ヨガと運動



交感神経を緩める
アロマ・マッサージ



不安を軽減させる
マインドフルネス



より良い睡眠習慣を
作るためのアドバイス



身体の変化と向き合い
輝きながら働くコツ



自分に気づきコーチング
(ストレス対処)に
役立つ色彩療法



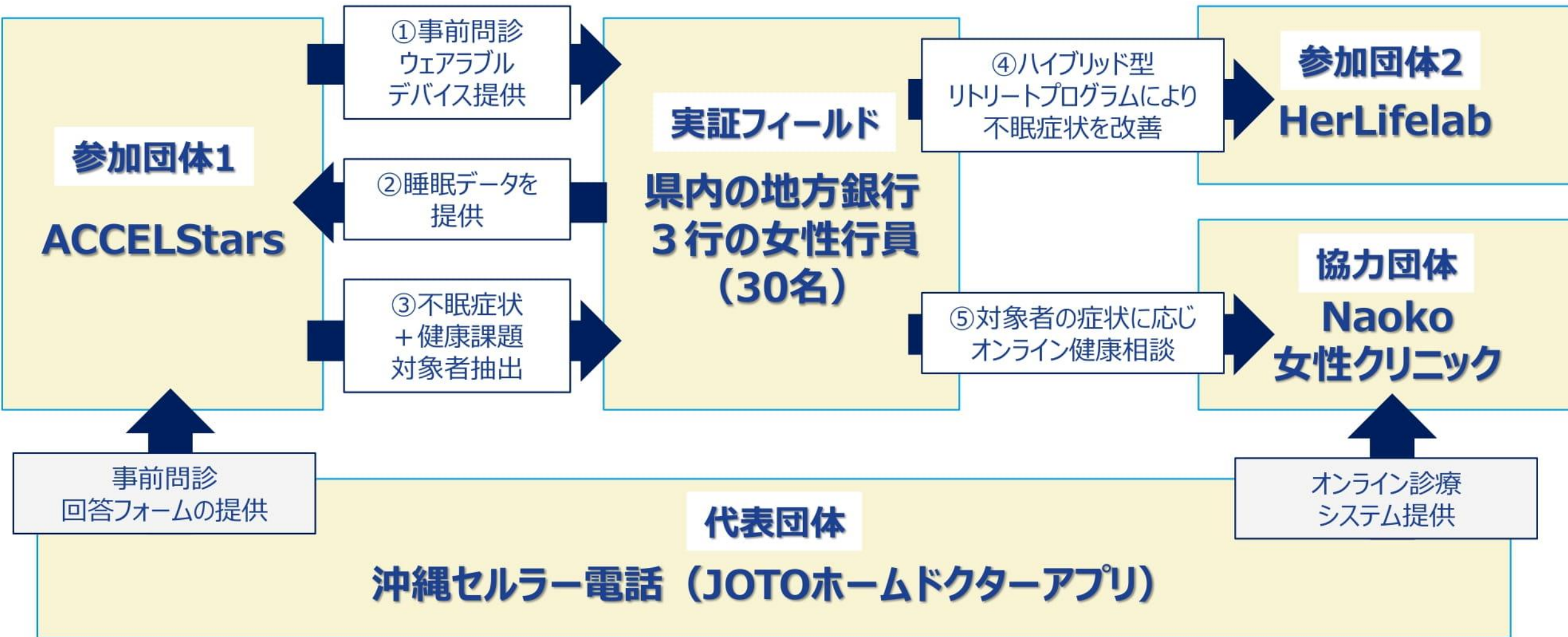
専門家に気軽に相談でき、
悩みを共有できる仲間と
過ごす素敵な時間と空間



事業提供団体（コンソーシアム）	役割
沖縄セルラー電話株式会社	JOTOホームドクターアプリの提供
株式会社ACCELStars	睡眠データ計測用ウェアラブルデバイスの提供 睡眠データの分析
HerLifelab株式会社	リトリートプログラムの提供

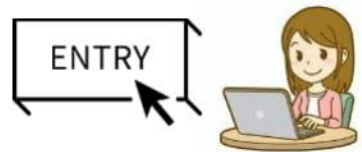


事業の全体イメージ



③実施内容（事業の流れ）

①エントリー＆同意取得



協力企業の女性社員に告知。エントリー／実証参加の同意取得

②事前問診



働く女性に対して健康課題、睡眠状況を把握するため事前問診

③ウェアラブルデバイス着用



女性の健康課題＋不眠症状保有対象者に対してウォッチ型のデバイス貸与

④睡眠データの抽出・分析



ウェアラブルデバイスにて計測した睡眠データを分析

⑤対象者に通知



対象者に通知し今後のオンライン相談およびプログラム参加を連絡

⑥リトリートプログラム



HerLifelab監修ハイブリッド型リトリートプログラムを実施

⑦オンライン相談



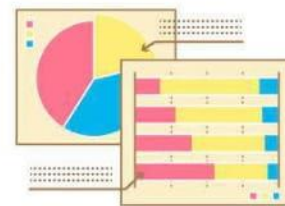
症状に応じNaoko女性クリニック高宮城先生とのオンライン相談

⑧改善効果分析



改善効果を検証するため再度ウェアラブルウォッチを着用しデータ収集

⑨データ検証



前後の睡眠データ検証によりプログラムの有用性を判定

⑩実証報告

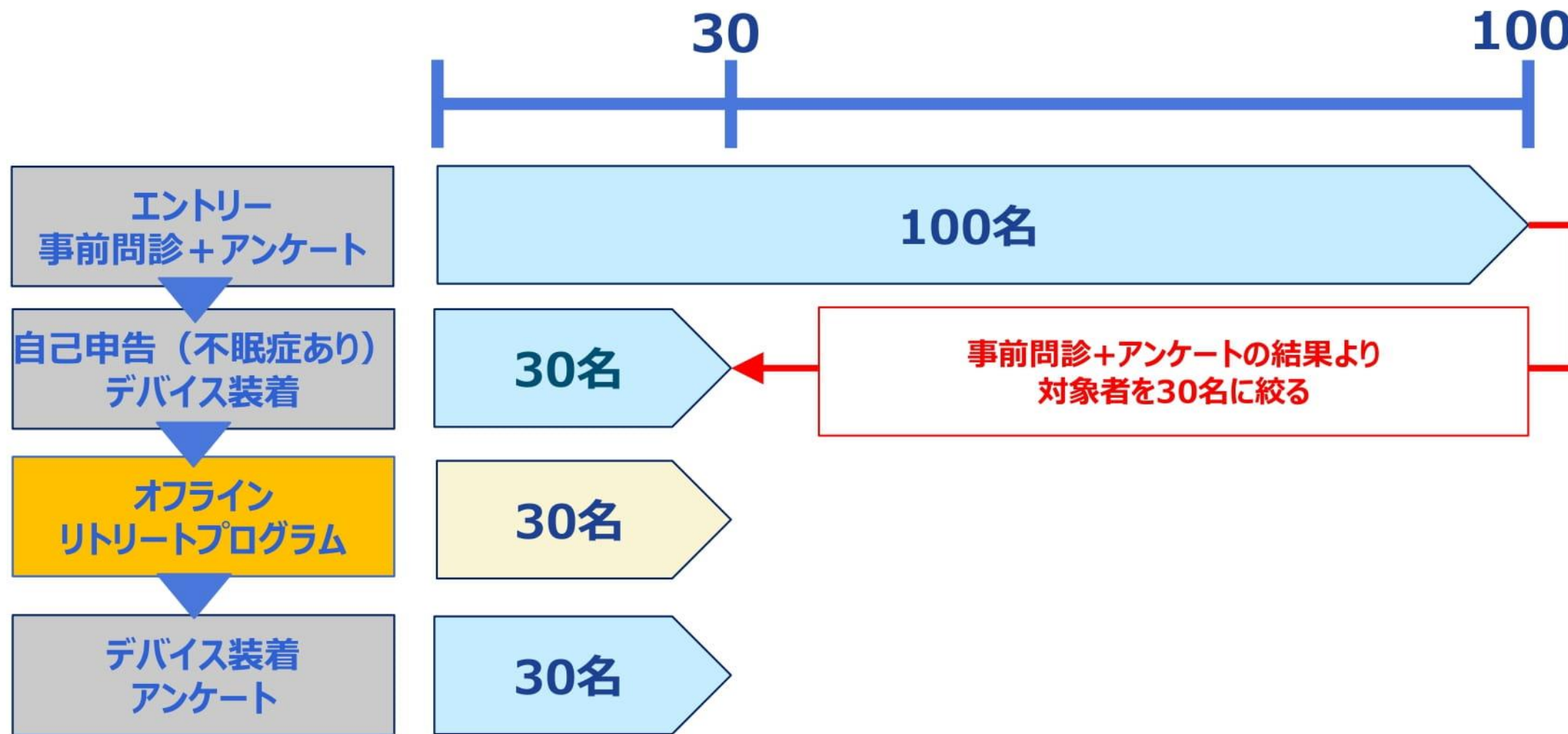


サマリ報告書の作成および実証完了報告実施

症状に応じて実施



実証企業で働く40歳～55歳の女性に対し募集を実施
最終30名の方にプログラムにご参加いただく



③実施内容（今年度の成果指標および成果測定の方法）

成果指標 (令和4年度)	導入社数	エントリー者数	参加者数	プログラムによる 改善者数	共通指標①の スコア増加
	4社 ※当社従業員も含む	100名	30名	24名 ※参加者の80%	24名 ※参加者の80%

【成果測定の方法】

・導入社数／エントリー者数／参加者数
⇒導入企業のデータを基に測定する。

・プログラムによる不眠症状の改善者数

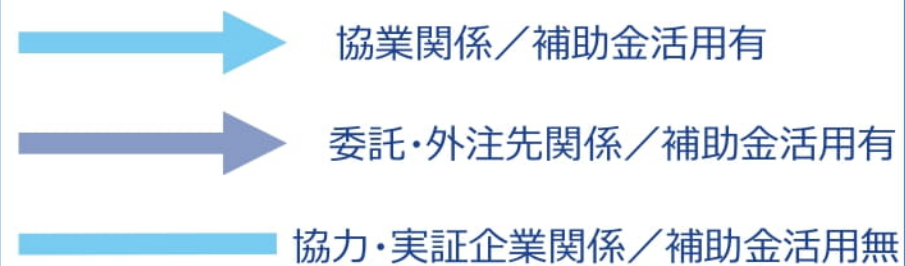
⇒対象者にウェアラブルデバイスを睡眠時8日間着用いただき、ウェアラブルデバイスから計測された睡眠データを基に改善効果の判定を行う。プログラム事前事後のデータを比較し効果を検証する。ウェアラブルデバイス着用のタイミングは、プログラムを受ける前に連続して8日間着用＋プログラムを受けた後に連続して8日間着用する。

・共通指標①のスコア増加

⇒対象者に対してプログラム実施前後にアンケートを取得することで共通指標の成果測定を実施する。

■ 補助事業者(コンソーシアム)

■ 業務委託・外注先



補助金活用者

代表団体：
沖縄セルラー
電話株式会社

参加団体①：
株式会社
ACCELStars

参加団体②：
HerLifeLab
株式会社

業務委託先：
株式会社
アドスタッフ博報堂














協力団体：
Naoko女性クリニック
(確定)

実証企業：
株式会社沖縄銀行
(確定)

実証企業：
株式会社沖縄海邦銀行
(確定)

実証企業：
株式会社琉球銀行
(確定)

⑤実施スケジュール

		2022年						2023年		
実施事項		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 参加者募集 (沖縄セルラー)	1.1 エントリーの募集									
	1.2 事前問診/アンケートの実施									
2. 対象者抽出 (ACCELStars)	2.1 ウェアラブル端末の着用による睡眠データの抽出									
	2.2 不眠症の対象者抽出									
3. サービスの提供 (HerLifeLab、Naoko女性クリニック)	3.1 オンラインセミナーの実施									
	3.2 オフラインプログラムの実施									
	3.3 オンライン相談の実施									
4. 効果検証(睡眠データの抽出/終了時アンケート) (ACCELStars)	4.1 睡眠データの計測									
	4.2 アンケート実施									
	4.3 睡眠データ分析									
5. 成果報告纏め (沖縄セルラー)										
6. 報告 (沖縄セルラー)	6.1 中間報告									
	6.2 最終報告									

Our Mind, Timeless

Our Challenge, Timeless

沖縄セルラー

06.

あらゆるトイレの個室にて生理用品を取得可能にするなど
「生理ライフ」を快適にし、生理になる人のモビリティを向上
(代表団体：オモテテ株式会社)

事業紹介資料

あらゆるトイレの個室にて
生理用品を取得可能にするなど
「生理ライフ」を快適にし、
生理になる人のモビリティを向上

オモテテ株式会社

2022.07





事業テーマ、事業目的

事業テーマ

月経・PMS、妊娠・不妊、婦人科疾患、ヘルスケアリテラシー、
その他：生理になる人の“モビリティ（精神的・身体的・社会的な自由の向上）”

事業目的

生理になる人のモビリティ向上を促し、
積極的な経済活動（職場での活躍の後押し）・社会参加を促す。

手段（実現方法）

生理用品をあらゆるトイレの個室にて取得可能にするサービス unfre. (アンフリ)を
展開していくことで、生理ライフ（生理期間中やその前後の暮らし）を
社会として共に支えるインフラを構築する。

事業設計の背景：見逃されてきたニーズ

トイレットペーパーを持ち歩くことが当たり前の社会だったら？
(あるいは事前に提供先が把握できなかったら？)

- ・常にトイレットペーパーを持ち歩かなければいけません。
- ・忘れたあるいは使い切ってしまった場合、購入しなければいけません。
- ・トイレ内で気づいた場合、他のもので代用するしかありません。

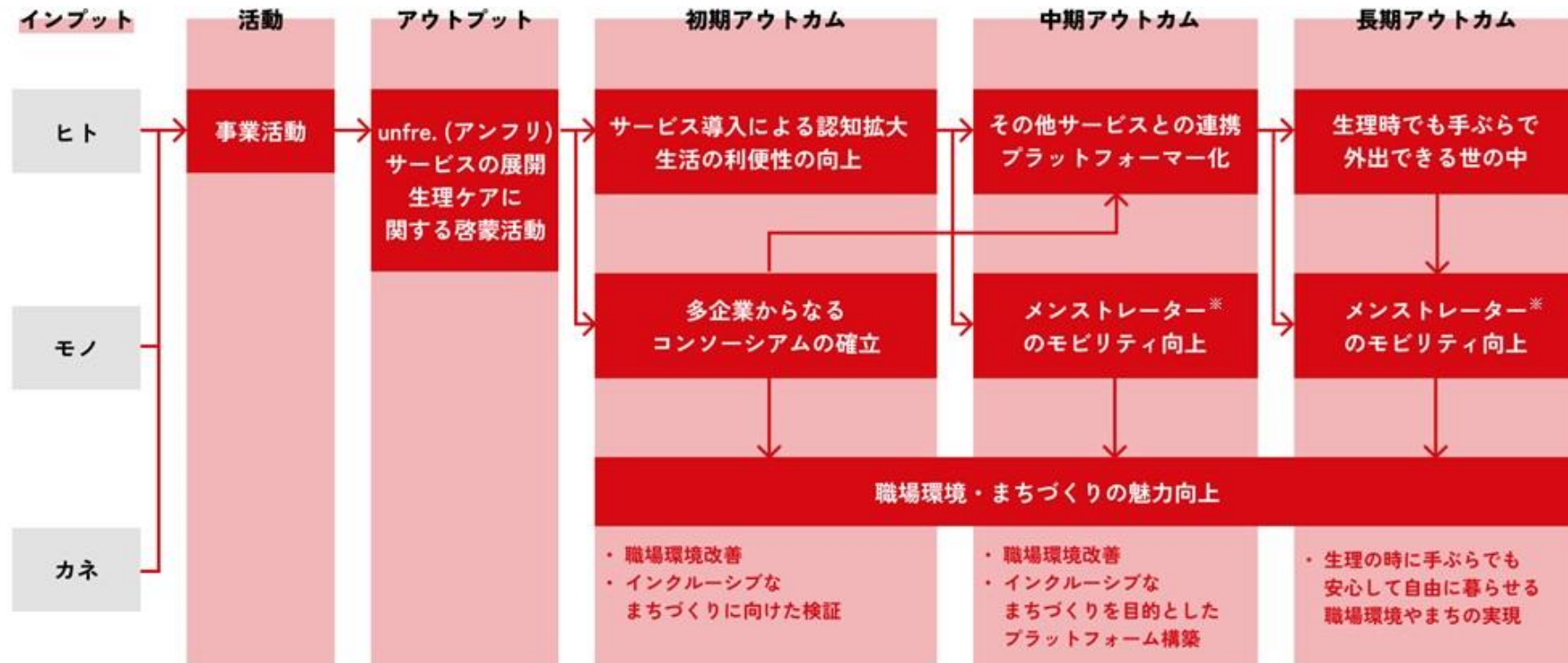
生理用品についてはこれが今の当たり前。ただ、よりペインが大きいです。

- ・多くの日本人はトイレットペーパーも生理用品も購入する余裕がありますが、それでも実際利用する場であるトイレの個室で提供した方が便利・安心です。
- ・トイレットペーパーとは違い、生理用品だけ「自己責任」とされてきました。

なぜ生理用品が提供されていないことは「よりペインが大きい」のか？

- ・生理は我慢をすることが不可能：**忘れた時の緊急性＝高い**
- ・トイレ外で履き続ける必要性：**日々の居心地や自由への影響＝高い**

事業目標 (中長期目標を含むロジックモデル)



※生理用品を使用する方を指しています。



実施内容 (概要及び計画値含む) ・ 実施体制 ・ 実施スケジュール

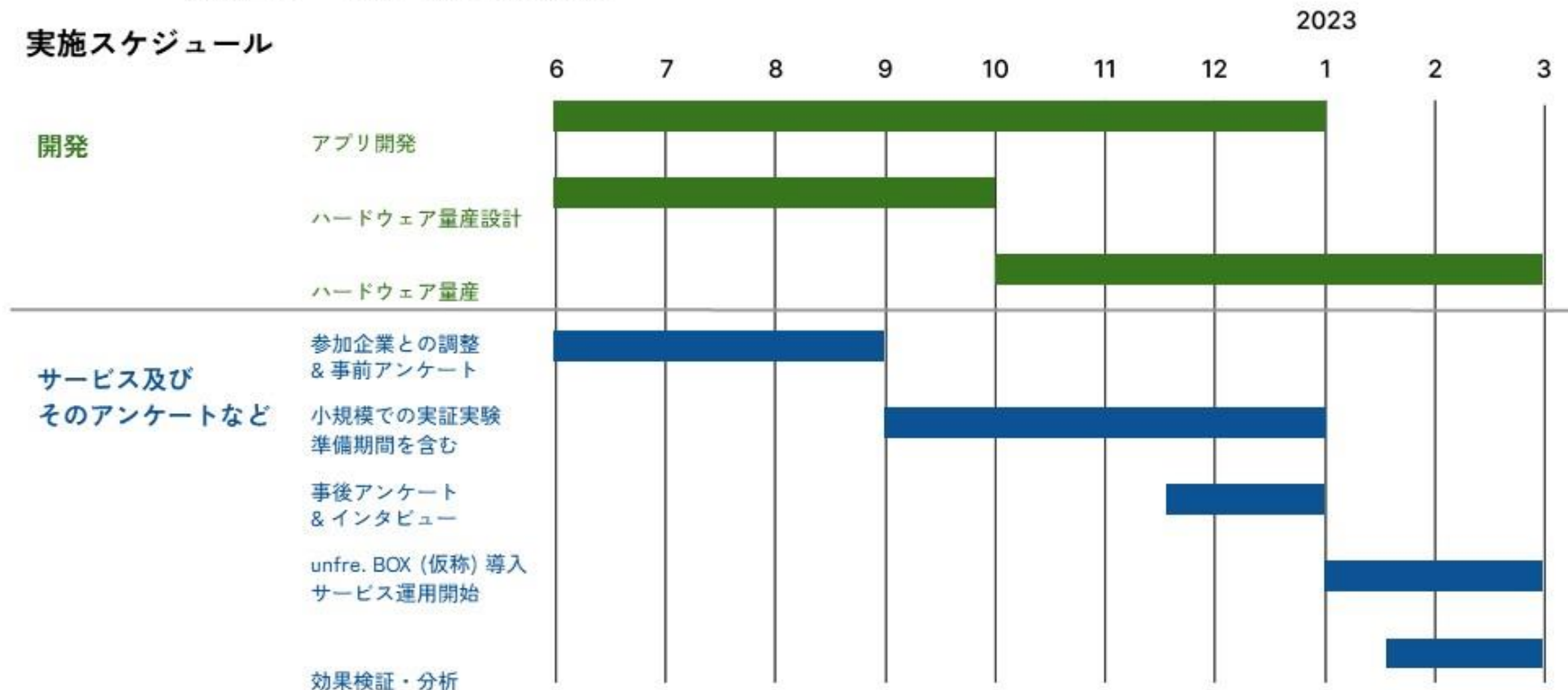
実施概要

1. unfre. (アンフリ) サービス開発
2. unfre. (アンフリ) サービス実証実験及びその導入前後のアンケート・インタビュー調査

実施体制

代表団体：オモテテ株式会社
協力団体：各設置先企業調整中

実施スケジュール





今年度の成果指標および成果測定の方法

成果指標

- A. アンケート対象者のWHO-HPQスコアの変化
- B. 勤務先での安心感など精神的自由さ (主に生理期間中)
- C. サービス導入先施設数
- D. 協力先 (契約) 企業数
- E. BOXの設置台数、設置の分布 (密度)
- F. サービスユーザー数、アプリダウンロード数、利用頻度
- G. 展開先エリア (自治体) 数
- H. 共通指標② (健康課題とキャリアに関する指定指標)

成果測定の方法

測定方法①

アンケート・ インタビュー調査

対象となる成果指標：
A, B, H

測定方法②

サービスの展開/営業/ 契約状況の記録等

対象となる成果指標：
C, D, E, G

測定方法③

アプリによりシステム上 取得可能なデータの分析

対象となる成果指標：
F

07.

新入社員向け「女性特有の健康課題に関する
eラーニングプログラム」の開発と検証
(代表団体：株式会社Kids Public)

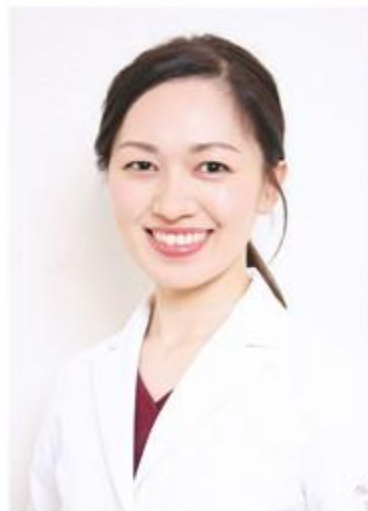


新入社員向け

「女性特有の健康課題に関する
eラーニングプログラム」の開発と検証

令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業資料

株式会社Kids Public



鳥海玲奈（プロジェクトリーダー）

産婦人科専門医
産婦人科オンライン副代表

2010年 杏林大学医学部卒業
2012年 杏林大学医学部附属病院 初期臨床研修修了
2012-2015年 同病院 産婦人科 後期レジデント
2013年 独立行政法人国立病院機構埼玉病院 産婦人科
2015-2019年 杏林大学医学部附属病院 産婦人科 医員
2019年- ウイメンズ・クリニック大泉学園等で主に不妊治療や分娩に携わる
2020年- 株式会社Kids Publicの産婦人科部門副代表を務める



重見大介（サブリーダー）

産婦人科専門医, 医学博士
産婦人科オンライン代表

2010年 日本医科大学卒
2012年 日本赤十字社医療センターにて初期研修修了
2015年 日本医科大学と関連病院にて産婦人科研修修了
2018年 東京大学大学院 公共健康医学専攻修士課程卒業
2022年 東京大学大学院 博士課程(医学)終了
2018年- 病院勤務、研究活動と並行して、株式会社Kids Publicの産婦人科を統括

産婦人科・小児科に特化したオンライン医療相談

- 病院受診の手前にある不安や孤立にリーチすることを目指す
- 手薄になりがちな働く女性の健康支援をオンラインでサポート



<事業開始>

- 小児科オンラインは2016年、産婦人科オンラインは2018年事業開始

<サービス概要>

- 産婦人科医、助産師、小児科医が対応
- 自治体の住民サービスや企業の福利厚生、会員サービスへの付帯として導入

<実績>

- 現在、100以上の法人に導入
- 2020年に経済産業省「令和2年度補正遠隔健康相談体制強化事業」に採択

『働く女性の健康に対するオンライン支援プログラムの効果検証』

- 産婦人科医との定期面談
- オンライン相談の自由利用
- 医療記事配信

対象者：女性社員30名（20-30代15名、40代15名）

期間：2021年8月～2022年2月（約7ヶ月間）

- ・月1回、平日夜間に20～30分間/回の定期面談を行う
- ・生活習慣の把握、セルフケアの提案、年代に沿ったミニレクチャー

→介入群では「ヘルスリテラシー」「生活習慣」「生産性」「受診行動」で
良好な変化が認められた

【見えた課題】

- ・面談調整（時間帯や回数）の困難さ、人数の限界
 - ・レクチャー内容の不一致（年代など個々の多様な背景）
- より多い参加者へ、より早期の介入ができないか？





小児科オンライン



産婦人科オンライン

新入社員向け

「女性特有の健康課題に関する eラーニングプログラム」の開発と検証

健康的に働いていく上で、知っておくべき健康情報を
スマホから気軽にどこでも学べるように



eラーニングツールの開発・提供

- 月経随伴症状、不妊治療、女性特有のがんなど幅広くカバー
- 個別の回答結果に応じて自分に必要な医療・健康情報を取得
- 複数回実施することで知識の定着と行動変容の期待を
- 男性も学ぶことで職場における相互理解の促進に

オンライン相談の自由利用

- 疑問が湧いたら、オンラインで気軽に産婦人科医へ相談可能
- 直接会話できる予約形式 & 24時間送れるメッセージ形式



対象者： 複数企業より、
新卒入社1～3年目（もしくは社会人歴3年目まで）の男女社員
計200～300人

背景と目的：

- ・減らない女性従業員の離職率
- ・出産・育児だけでなく、不妊治療や女性特有の健康問題による就労継続困難も多い

→女性自身が就労早期から適切な情報取得を
男性を含めた職場全体の理解向上を

初期アウトカム

- ・セルフケアにより女性特有の症状による苦痛や不安が軽減する
- ・日頃の健康管理の質が向上する
- ・プレコンセプションケアの観点から生活習慣を改善できる
- ・疑問に対しての捉え方、適切な解決方法を知る



中期目標

- ・定期検診やワクチン接種など、健康維持に関する取り組みを継続できる
- ・個々のライフプランニングを設計し、実践する
- ・職場全体でのヘルスリテラシーが向上する



長期目標

- ・健康管理を通して、安心感を持てる職場環境であると感じられる
- ・妊娠率向上や妊娠時合併症が回避できる
- ・長期の離職率が低下する

1) eラーニングツール作成

- ・ 男性社員用、女性社員用の2パターンのツール作成
→男性も学ぶことで職場における相互理解促進
- ・ テーマは月経随伴症状、不妊治療、プレコンセプションケア、妊娠・出産、女性特有のがんなど
→健康課題を幅広くカバー

2) eラーニングツール実施

- ・ スマホから簡単にアクセス可能
- ・ 20~30個の設問全てに回答すると、回答内容により自動カスタマイズされた情報が即時にテキストで表示される
- ・ 自己の過去回答が期間内いつでも閲覧可
- ・ ほぼ同内容のeラーニングを合計2回施行
(第1回目：9月上旬、第2回目：12月上旬) →知識の定着と行動変容の期待を

イメージ図（女性社員用）



いつでも相談

- ・ 毎日24時間、質問を受付
- ・ 24時間以内に医師/助産師より回答送付



夜間相談

- ・ 平日18時～22時（1枠10分の予約制）
- ・ メッセージチャットや動画通話に対応



- ・ 女性参加者が自身の気になる症状について
- ・ 男性参加者が女性パートナーや同僚の健康問題について など

eラーニングツール利用後に疑問が湧いたら、気軽に産婦人科医へ相談を

成果指標

女性に対して

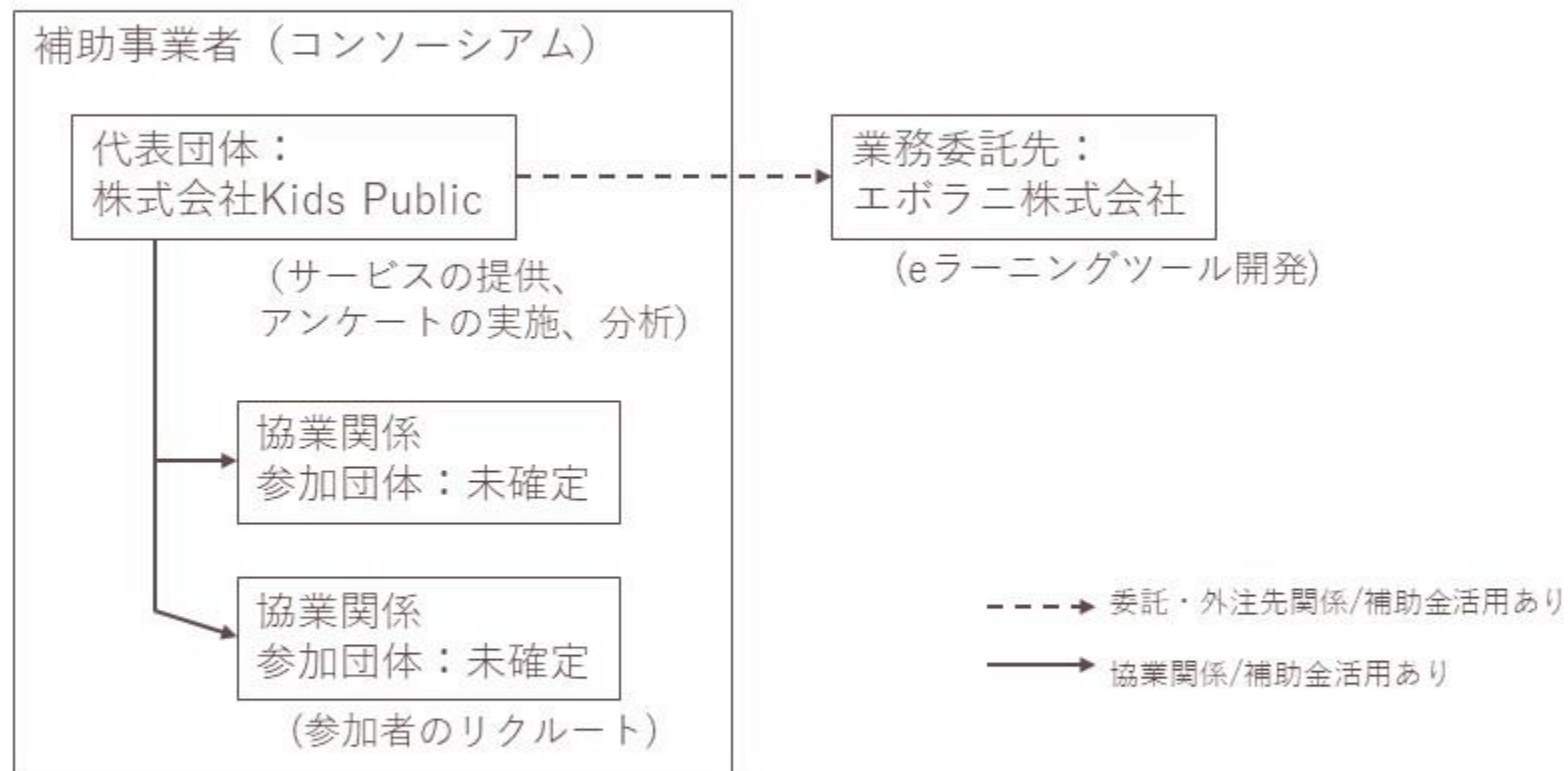
- ・ヘルスリテラシーの変化
- ・生活習慣改善度
- ・月経や婦人科疾患等による生産性への影響 など

男性に対して

- ・ヘルスリテラシーの変化
- ・生活習慣改善度 など

測定方法

- ・事業開始時と終了時にウェブアンケートを実施
- ・参加企業の上承が得られた場合、同様の勤務環境におり、本プログラムを提供しない男女社員にも同様の調査を実施し評価の客観性を高める（対照群）



実施スケジュール

confidential

実施事項			2022年						2023年		
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 女性の健康課題に関するeラーニングツールの開発・施行	1.1 本ツールの作成	本ツールの開発	→								
		コンテンツ作成	→								
	1.2 本ツールの実施	参加団体調整・確定	→								
		1回目			→						
		2回目						→			
	1.3 効果測定	事前アンケート		→							
		事後アンケート							→		
		データ分析							→		
		報告書作成・提出								→	
	2. 産婦人科オンラインを利用した遠隔医療相談				→						

対象者： 新卒入社1~3年目（もしくは社会人歴3年目まで）の男女社員
複数団体より募集 計200~300人（1社あたり~数十名でOKです）

参加によるメリット：

- ・ **新入社員の意識向上**

 - 女性健康課題に関する知識・理解が深まる

 - 積極的に取り組む会社であることを実感、勤労の意欲が高まる

- ・ **費用負担なし**

 - eラーニングツールや産婦人科オンライン・小児科オンラインを気軽に試せる

- ・ **経産省のフェムテック実証事業参加という実績**

 - 社内事業への応用や、対外的な宣伝効果にも

ご興味ある方、担当者までご連絡ください！

08.

オンラインコミュニティを使った「女性特有の健康課題や働き方について語り合う」プラットフォームの構築・運用と情報発信事業

(代表団体：株式会社産業経済新聞社)

metropolitana
tokyo



オンラインコミュニティを使った
「女性特有の健康課題や働き方について語り合う」
プラットフォームの構築・運用と情報発信事業





事業テーマ、事業設計の背景、事業目的について

【テーマ】

オンラインコミュニティを使った「女性特有の健康課題や働き方について語り合う」
プラットフォームの構築・運用と情報発信事業

【事業計画の背景】

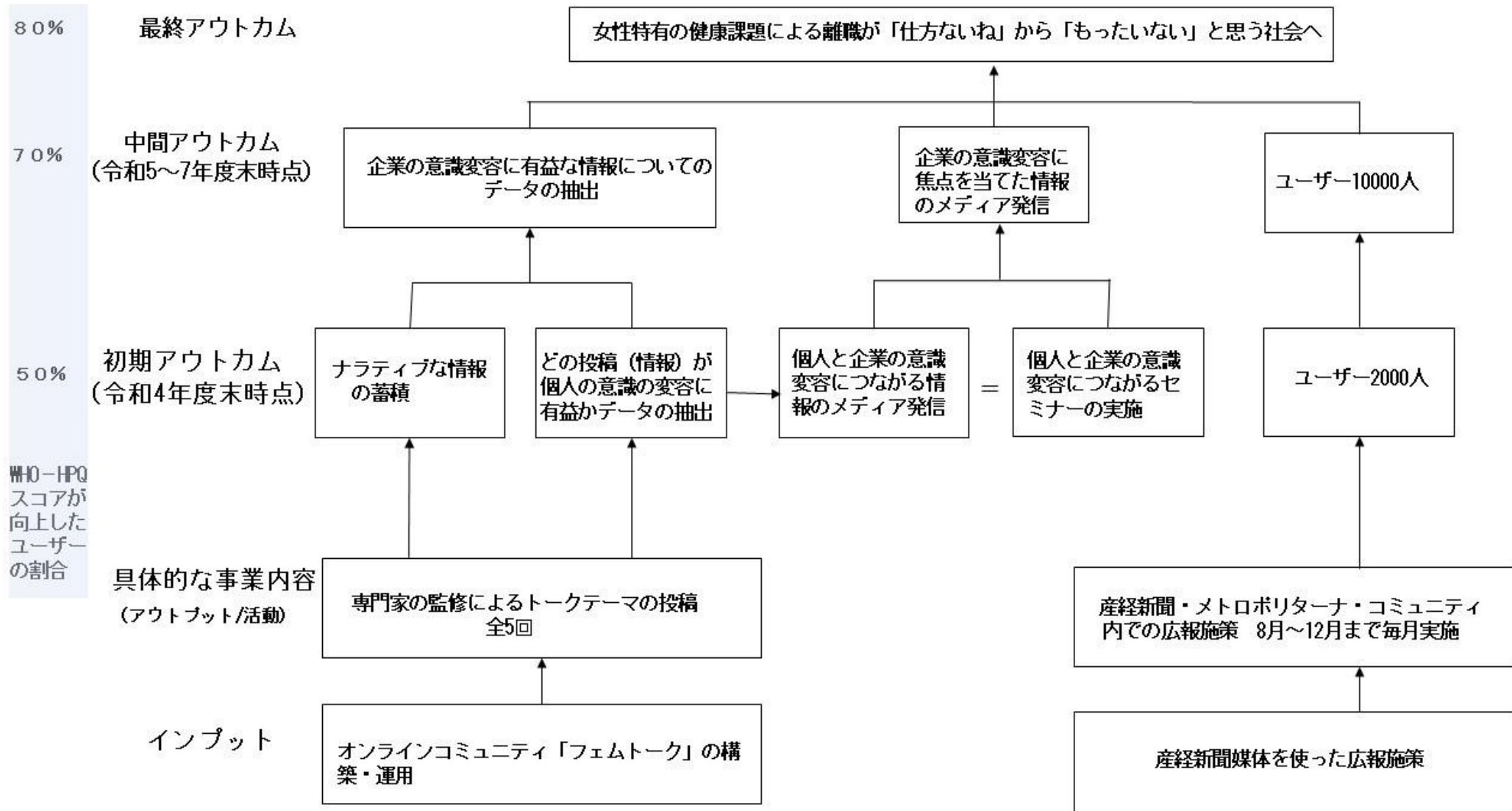
- ・女性特有の健康課題に関する相談窓口の多くは、専門家と相談者のBtoCのサービスが主流。
- ・同じような悩みを持つ**当事者同士の意見交換・情報交換**が可能な専門家の監修が入った信頼できるオンラインコミュニティが少ない。
- ・コミュニティから得られた**知見をマスメディアで発信**し、当事者のみならず、**周囲の意識変容を促す**ことが、結果として女性の働きやすさにつながると考える。

【事業目的】

オンラインコミュニティの投稿から、**どのような投稿(情報)が意識変容を促したかデータを抽出し**、それら有益な情報を **マスメディアで発信**することで、個人の問題として捉えられがちな女性特有の健康課題が、**社会全体の課題として認識される気運の醸成への貢献**を目指す。



事業目標(中長期を含むロジックモデル)





実施内容(実施事項とその計画値含む)、今年度の成果指標・成果測定



①オンラインコミュニティ「フェムトーク」の構築・運用

→毎月1回の定期投稿を通じたコミュニティの活性化。
登録ユーザー2000人の獲得。
ユーザーアンケートによるWHO-HPQスコアの調査。
特許技術データマイニングによる意識変容調査

②メトロポリターナでの情報発信・アンケート実施

→計5号で掲載



③産経新聞社での情報発信 → 1ページ特集

④セミナーの開催

→参加者アンケートによるWHO-HPQスコアの調査



産経新聞社



代表団体：
株式会社産業経済新聞社

委託・外注先：
クオン株式会社

委託・外注先：
株式会社イーター

参加団体：
さんぎょうい株式会社

		2022年						2023年			
実施事項		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. オンライン コミュニティ 「フェムトーク」 の構築と運用	サークルデザイン制作・設置(PC・スマートフォン)		■								
	企画プランニング		■								
	トークテーマ運用			■	■	■	■	■	■	■	
	コミュニティ監視			■	■	■	■	■	■	■	
	お問い合わせ・トラブル対応			■	■	■	■	■	■	■	
	定期レポート					■			■		
	態度実態調査			■			■				
	データマイニング								■		
2. メトロポリ ターナでの情 報発信	ユーザー獲得施策			■	■	■	■	■	■		
	情報発信と成果測定									■	
3. 産経新聞 での情報発信	ユーザー獲得施策			■	■	■	■	■	■		
	情報発信									■	
4. セミナー 実施	セミナー実施							■			
	成果測定							■			

分析
報告書
作成

09.

就労妊婦等メンタルヘルス向上と離職防止のための、専門家「助産師」とAI(声解析)による継続的なサポート実証事業
(代表団体：株式会社じょさんしGLOBAL Inc.)

就労妊婦等メンタルヘルス向上と離職防止のための、
専門家「助産師」とAI(声解析)による継続的なサポート実証事業



じよざんしONLINE

社会課題

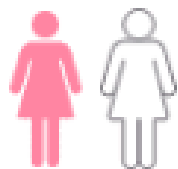
男女の産後うつ¹の割合(2018年 成育医療センター)



10人に1人

コロナ禍では、女性の
産後うつは4人に1人も…

第1子出産をきっかけに
退職する女性の割合(内閣府)



2人に1人

妊産婦の死亡要因
第一位

(2018年 成育医療センター)

自死



株式会社じよさんしGLOBAL Inc. について

「いろんな出産。さよなら不安。」



じよさんしONLINE for COMPANY

- ① 法人向けセミナー/相談窓口
- ② 新規事業・商品開発アドバイザー
- ③ 法人向け福利厚生サービス



じよさんしONLINE for FAMILY

- ① 個人向けオンライン相談
- ② オンライン講座

【企業理念】

誰ひとり取り残さない

【スタンス】

『安心』できるもう一つの居場所

【ポリシー】

エンパワーメント



じよさんしONLINE

いろんな出産。さよなら不安。

会社名 : 株式会社じよさんしGLOBAL Inc.
 創業日 : 2019年1月20日
 法人設立日 : 2021年6月15日
 代表取締役 : 杉浦 加菜子(助産師/保健師/看護師)
 所在地 : 愛知県刈谷市熊野町1-1-1
 公式サイト : <https://josanshi-cafe.com/>

背景

世界25カ国3600組以上のユーザー

1 孤立した妊娠や育児によるメンタルヘルスの不調



キャリアの断絶に繋がる

2 アンケートの結果93.6%は不安が軽減(当サービス利用者アンケートより)



客観的な指標がない



実証事業の特徴とその目的

専門家「助産師」

AI (声解析)



じょさんしONLINE



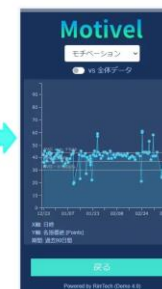
Motivel

声でモチベーションを可視化する
Webアプリケーション

6か国13人の助産師



声だけ、5秒で計測



活動意欲、集中力・注意力、
ヒヤリハットリスクの状態を示す

就労妊産婦のメンタルヘルスに対し、
専門家とAIがリスクの早期発見とうつへの予防効果を発揮



就労妊婦等のwell-being維持・向上へ(自殺/虐待を防止)

今年度の検証事業の4つの柱

就労しながら妊娠・出産・育児する**女性**への
オンライン個人相談



女性とその**パートナー**に向けた
セミナー



女性の**上司**への**1on1**



女性が所属する**企業**向け
フィードバックセミナー



**成果
指標**

実証事業前後でのアンケートと個別相談毎にAI声解析Motivel数値の検証

- ・ 不安が軽減した参加者の割合
- ・ カタルシス効果のあった参加者の割合
- ・ 声アプリMotive!での感情指数等が維持もしくはプラスに変化した参加者の割合 等

実施体制

代表団体



- ・13名の看護師/助産師
- ・産業カウンセラー及び人事制度設計・マーケティング担当者

委託先

- ・リスク計測テクノロジーズ(株)

Motivel

- ・メンタルサポート研究所
倉成臨床心理士

協力者

母子精神保健専門医
江村医師

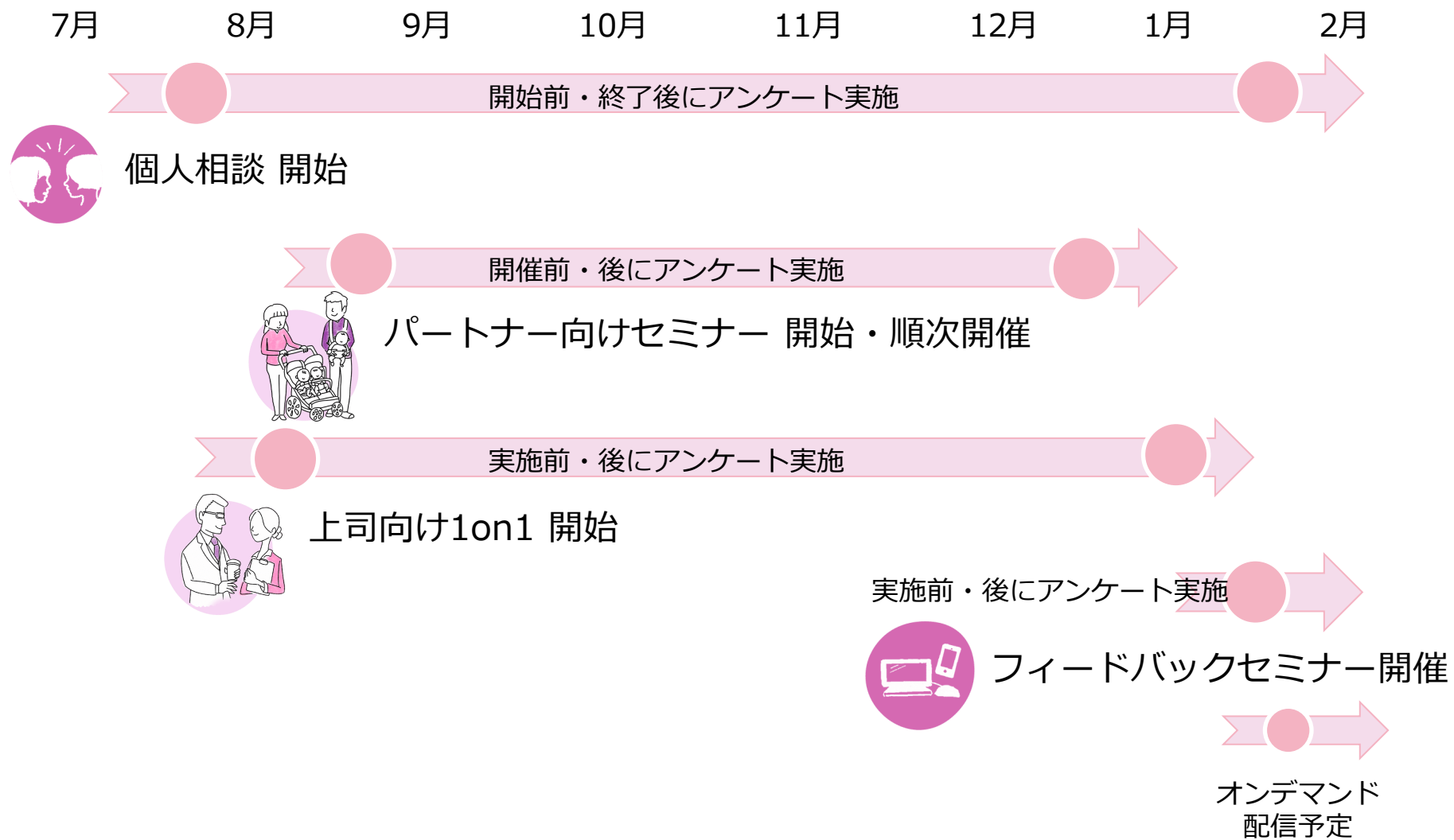
実証先

豊島(株)

他民間企業
自治体
調整/募集中



実施スケジュール



世界のどこにいても
誰もが自分の心と身体を大切にできる社会の実現を



お問い合わせ



じょさんしONLINE

いろんな出産。さよなら不安。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



弊社の取組にご賛同いただきご参加いただける
自治体様、企業様はこちらにご連絡ください。

Mail: info@josanshi-cafe.com



じょさんし
いろんな出産。さよ

10.

助産師・保育士が24時間体制で産後の親子をサポートする
産後ケアリゾート「HOTEL CAFUNE」ニーズ検証
及び産後ケアの社会認知度向上の実証実験
(代表団体：株式会社水星)

0721, 2022

経済産業省フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金キックオフミーティング

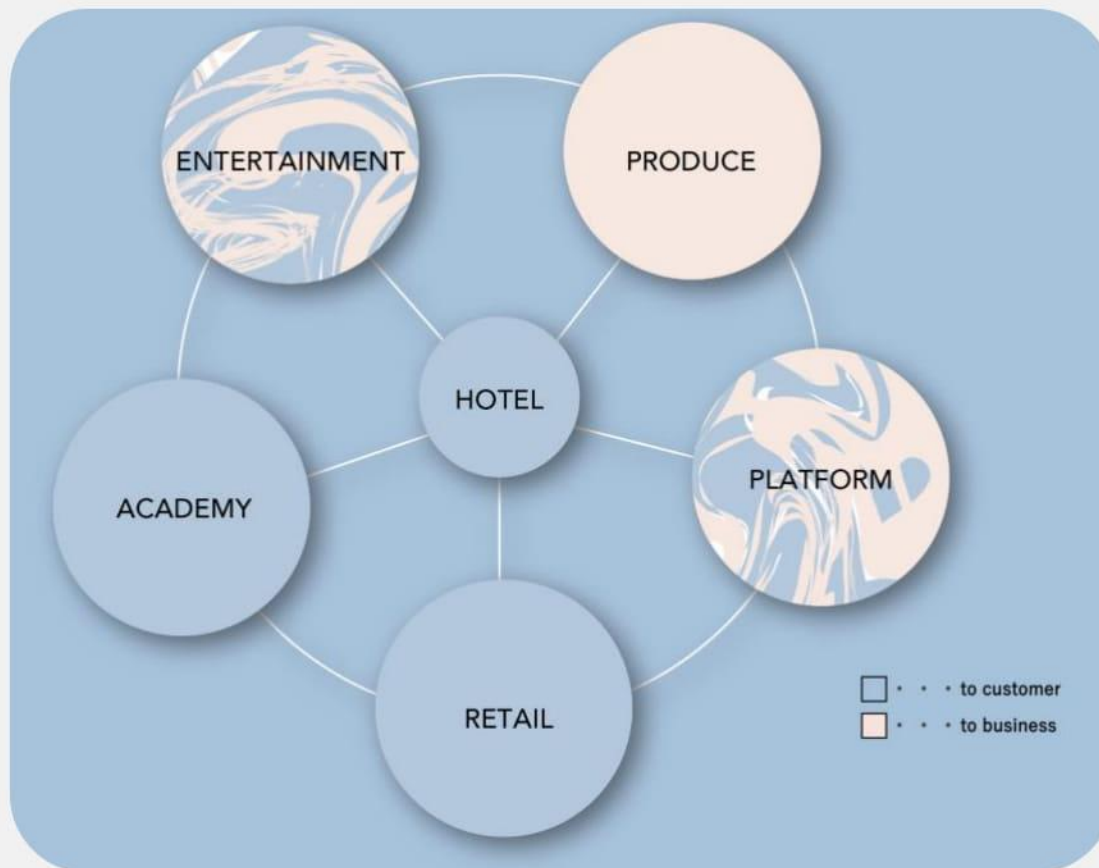
事業説明

No. 10 産後ケアリゾート「HOTEL CAFUNE」及び継続的なサポートの
ニーズ検証及び産後ケアの社会認知度向上の実証実験

株式会社水星

「L&Gグローバルビジネス」から「水星」に社名を変更しました。

株式会社 水星は、『人生の乾いた旅に潤いを』をビジョンに、
『ライフスタイルと観光における多様な選択肢をつくる』ことをミッションに掲げ、
膠着したシーンに新たな選択肢が生まれるきっかけとなるサービスやプロダクトを生み出す会社です。



テーマ

産後ケアリゾート「HOTEL CAFUNE」及び継続的なサポートの ニーズ検証及び産後ケアの社会認知度向上の実証実験

背景

【需要】 時代の変化

- 産～育児において“**他者の支援を頼れない**”女性が増加
- 女性の出産による**キャリアの停止は依然多数**
- パートナーとの知識量や温度感のギャップから**パートナーとの関係性の悪化へと繋がりやすい**

【供給へのアクセス】 供給の不足

- 産後ケア事業が努力義務化されたが、**導入自治体は未だ少数**
- さらに、家族の支援が得られない、経済的援助を必要とする住民の入所を優先するなど対象が絞られ**宿泊型産後ケア施設の利用率はわずか0.88%**

【供給の内容】 必要な支援・ 安全の両立不足

- **行政事業委託型**は、対象が限定的かつ産婦のメンタルケアなど**ソフト面の支援が弱い**
- **民間型**は、高額な費用に加え、民間資格取得者中心の運営など**安全面の課題が存在**

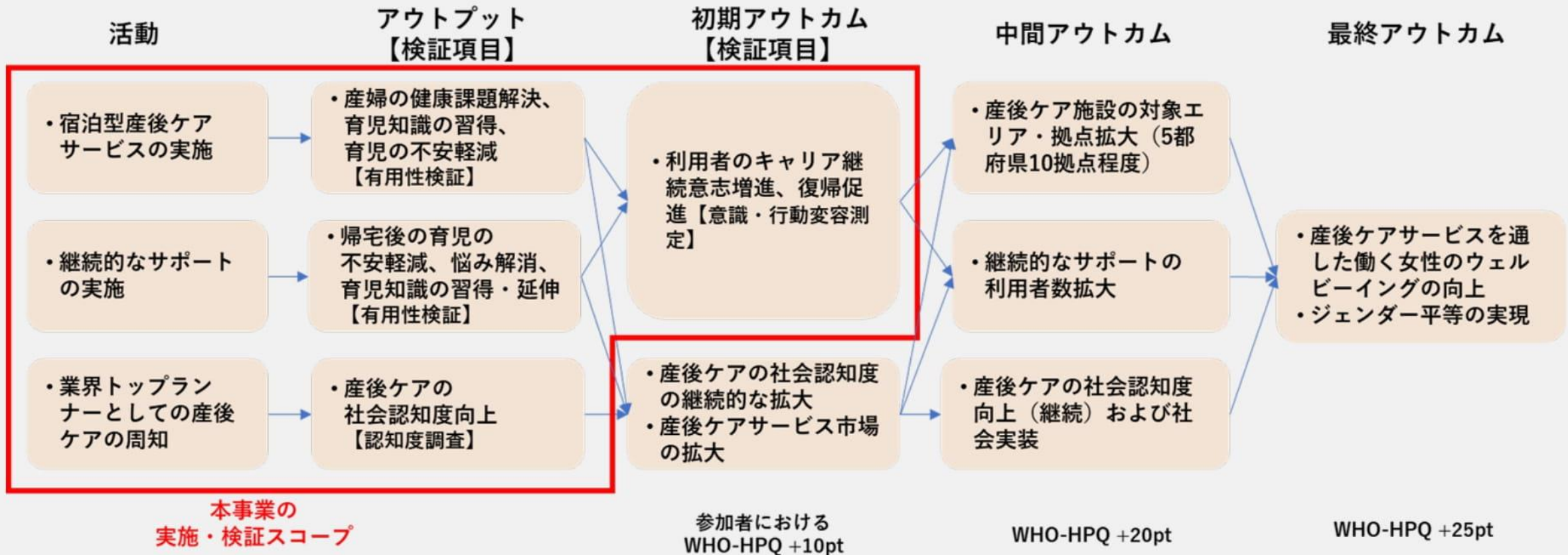
目的

“**専門的知識に基づいた宿泊型産後ケアサービス**”及びその後の**継続的なサポート**の提供が、働く女性の健康課題を解決し、ウェルビーイングの向上、キャリアとライフイベントの両立の実現に有効であることを検証

事業目標（中長期を含むロジックモデル）

目標

- ①女性のQOL向上における宿泊型産後ケアサービス及びその後の継続的なサポートの有用性検証
- ②業界トップランナーとしての産後ケアの社会認知度向上



実施内容のポイント・独自性

- 宿泊型産後ケアサービスは、**行政委託型施設と民間型施設の双方の課題を克服**
- 宿泊型産後ケアサービスに加え、**体制・情報の連続性を持った継続的なサポートを実施**

宿泊型産後ケアサービス (HOTEL CAFUNE)

従来の宿泊型産後ケアサービスの課題を克服した
体制・サービスにより運営

施設タイプ	従来の一般的な課題	HOTEL CAFUNEの取組
行政委託型	対象者が限定的 産後女性への負担大 ● 母子同室 ● パートナーの入所不可 など	誰でも利用可能 産後女性のメンタルや生活優先、 ソフト面のサービスも充実 ● 託児サービスあり ● パートナーも滞在 & 育児指導 受講が可能
民間型	民間資格取得者中心の運営	自社スタッフの助産師・保育士等 国家資格取得者が対応

従来

HOTEL CAFUNE滞在中に装着した知識で
育児を自力で開始

【新規開発】継続的なサポート

SNS等を用いて継続的に育児や生活の
悩みをサポート

- **HOTEL CAFUNE滞在中と同じ担当助産師**
等専門的知識を有するスタッフが対応
- 希望に応じて**オンライン面談**も実施

実施事項と計画値・成果指標/測定

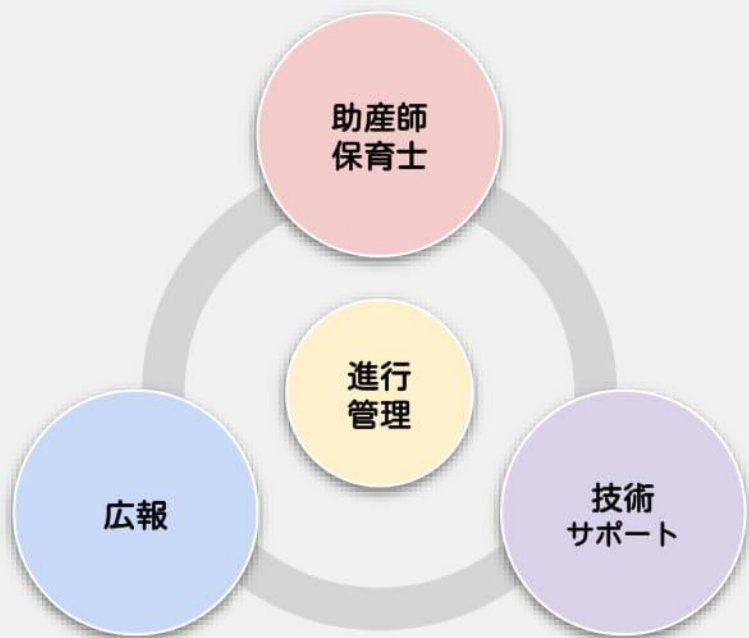
- 実施事項1は、宿泊型産後ケアサービスの利用者、またそのうち継続的なサポートモニター利用者へのアンケート調査で成果を測定。
- 実施事項2は、オンラインでのアンケート調査及びデスクトップ調査、当該取組の広報活動の結果から成果を測定。

実施事項(大項目)	実施事項(小項目)	計画値	成果指標
1. 女性のQOL向上における宿泊型産後ケアサービス及び継続的なサポートの有用性検証	1.1 宿泊型産後ケアサービスおよびその後の継続的なサポートの有用性調査	<ul style="list-style-type: none"> 継続的なサポートモニター利用者数 目標50名 アンケート回収数 目標30名 	【産婦の状態に関する調査】 ①EPDS ②ボンディング 【サービスへの満足度の調査】 ③ 宿泊型産後ケアサービス及び継続的なサポートに対する満足度 【社会復帰・キャリアに関する調査】 ④WHO Health and Work Performance Questionnaire ⑤メンタルヘルスの向上(短期)や女性の社会復帰(中長期)に関する指標 ⑥キャリアに対する意識・行動変容に関する指標
	1.2 顧客満足度調査(NPS)の実施による満足度測定	<ul style="list-style-type: none"> NPSスコア9.2以上 (設問及び具体的な数値は今後設定) 	
2. 業界トップランナーとしての産後ケアの社会認知度向上	2.1 市場ニーズ調査 *在日外国人向け調査含	<ul style="list-style-type: none"> 利用意向度5pt増 (数値は今後設定、サンプル数は300~500程度を想定) 	○関心・利用意向度
	2.2 検索キーワードモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> 検索ボリューム150%増 (キーワード及び具体的な数値は今後設定) 	○検索ボリューム
	2.3 メディア露出・SNS発信による認知拡大	<ul style="list-style-type: none"> インプレッション数100万件 (具体的な数値は今後設定) 	○インプレッション数

実施体制・スケジュール

- 実施体制は、**宿泊型産後ケアサービス及び継続的なサポートを担う現場の担当者から広報の担当者**など、本事業に必要な人員で構成。
- スケジュールは、実施事項1は逐次調査するのに対し、実施事項2については**広報実施前及び実施後で測定し比較**することを想定。

実施体制



スケジュール

実施事項		2022年					2023年			
大項目	小項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 女性のQOL向上における宿泊型産後ケアサービス及びその後の継続的なサポート有用性検証	1.1 宿泊型産後ケアサービスおよびその後の継続的なサポートの有用性調査	サポート事業開発		有用性検証						
	1.2 顧客満足度調査(NPS)の実施による満足度測定	満足度調査								
2. 業界トップランナーとしての産後ケアの社会認知度向上	2.1 市場ニーズ調査 *在日外国人向け調査含	調査方法検討		第1回調査				第2回調査		
	2.2 検索キーワードモニタリング	調査方法検討		第1回調査	第2回調査			第3回調査		
	2.3 メディア露出・SNS発信による認知拡大	認知拡大方法検討		SNS発信等広報実施						

11.

女性特有の出産育児のライフイベントや健康課題を乗り越え
能力を最大限発揮できる新しい時代を実現する
「『TOTONOERU®(トトノエル)』を活用したレジリエントな企
業基盤構築支援事業 Ver.1」
(代表団体：株式会社天煌堂)

天煌堂

AGTR

女性特有の出産育児のライフイベントや健康課題を乗り越え
能力を最大限発揮できる新しい時代を実現する

『TOTONOERU® (トトノエル)』
レジリエントな企業基盤構築支援事業 Ver.1

3か月の短期間で女性特有の健康課題と職場のコミュニケーションをととのえる 前向きにいきいきと活躍できる環境を創ります

女性特有の健康課題
によるプレゼンティズム

職場のコミュニケーション課題

着ている間にととのえる



起電する機能性衣類
「3e-HARAMAKI」

思考の癖を知りにととのえる

社員の脳と話そう。



脳医科学診断プログラム
「ノウセツ」

TOTONOERU がフォーカスする課題

個人のコンディションで悩んでいる・不安になっていると後ろ向きな気持ちで時間だけが消費されてしまいます。それはコミュニケーションの悩みやパフォーマンスに影響しお金の悩みにも連鎖していきます。TOTONOERUは個人のコンディションの悩み・コミュニケーションの悩みを解決できる環境を創ります。

個人のコンディションの悩み



コミュニケーションの悩み



連鎖していく

お金の悩み



PMS・生理痛の不快症状によるイマイチな時間
(パフォーマンスが低下してしまう時間)

150～300時間/月 年間最大3,600時間

全国平均の正社員時給1,900円・業務時間1日の1/3にて試算
企業から見たパフォーマンス低下の損失※

95,000円～190,000円/月 年間最大228万円

※試算根拠

150時間×1/3×1,900円=95,000円 300時間×1/3×1,900円=190,000円

※平均時給参考資料(厚生労働省「賃金構造基本統計調査」(平成29年))

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11650000-Shokugyouanteikyokuhakenyukiroudoutaisakubu/0000201281.pdf>



TOTONOERU 既存のソリューション課題

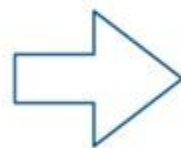
健康を司るのは食・運動・社会参加といわれています。そのため生活習慣を変える、食べ物に気を付ける、病院へ行き処方箋やピル、漢方を服用する、リテラシーを上げるが一般的な対処方法ですが、時間と手間とモチベーションが続かず、PMS・生理痛期間は我慢されていることが多いデータもあります。

定期的に婦人科を受診している人の割合は2割。未受診の理由は「健康なので必要がない」ためとあり、自らの健康について正しく把握できているひとは少なく、また効果的な対処を行うことができるひとはさらに少ない状況である。



コロナウイルスにより働き方が変化

毎日出社し朝礼や会議など社内での
コミュニケーションが取りやすかった



リモートワーク化、働くことの自由化により
帰属意識の低下、コミュニケーションの低下



個人のコンディションの悩み

イマイチな時間
150～300時間/月

手間と時間とリテラシーが
必要な対処方法



着るだけの簡単な方法で
150～300時間/月を
アクティブな時間へ

コミュニケーションの悩み

コミュニケーションを
どうしたら良いか
いつも難しい



自分と相手の思考の癖を
数値で傾向を理解し
円滑なコミュニケーション環境へ

3か月の短期間で女性特有の健康課題と職場のコミュニケーションをととのえる
前向きにいきいきと活躍できる環境を創ります

女性特有の健康課題
によるプレゼンティズム

着ている間にととのえる



起電する機能性衣類
「3e-HARAMAKI」

職場のコミュニケーション課題

思考の癖を知りとのえる

社員の脳と話そう。



脳医科学診断プログラム
「ノウセツ」

2つのきっかけにより3e-HARAMAKI（腹巻き）を開発を実現

3e-GOZAという体圧のエネルギーを負電位の微弱電流に変換し身体の電気バランスをととのえる製品のユーザから、「PMSや生理痛がひどかったがGOZAの上にいる間は症状が緩和されてイライラする、何もできない時間が減った」というコメントがあり、3e-の技術を活用すれば良いのでは！？と検討するきっかけとなったこと。

世界を見渡すとイスラエルのスタートアップLivia社が約世界60か国にお腹まわりへ微弱電流を流す機器によりPMS・生理痛を緩和するソリューションを展開していました。





起電する衣類を創ることができれば
外部電源や充電せず
生活習慣をほとんど変えず
着るだけで
PMS・生理痛によるイマイチな時間を
アクティブな時間に変換できると考えました

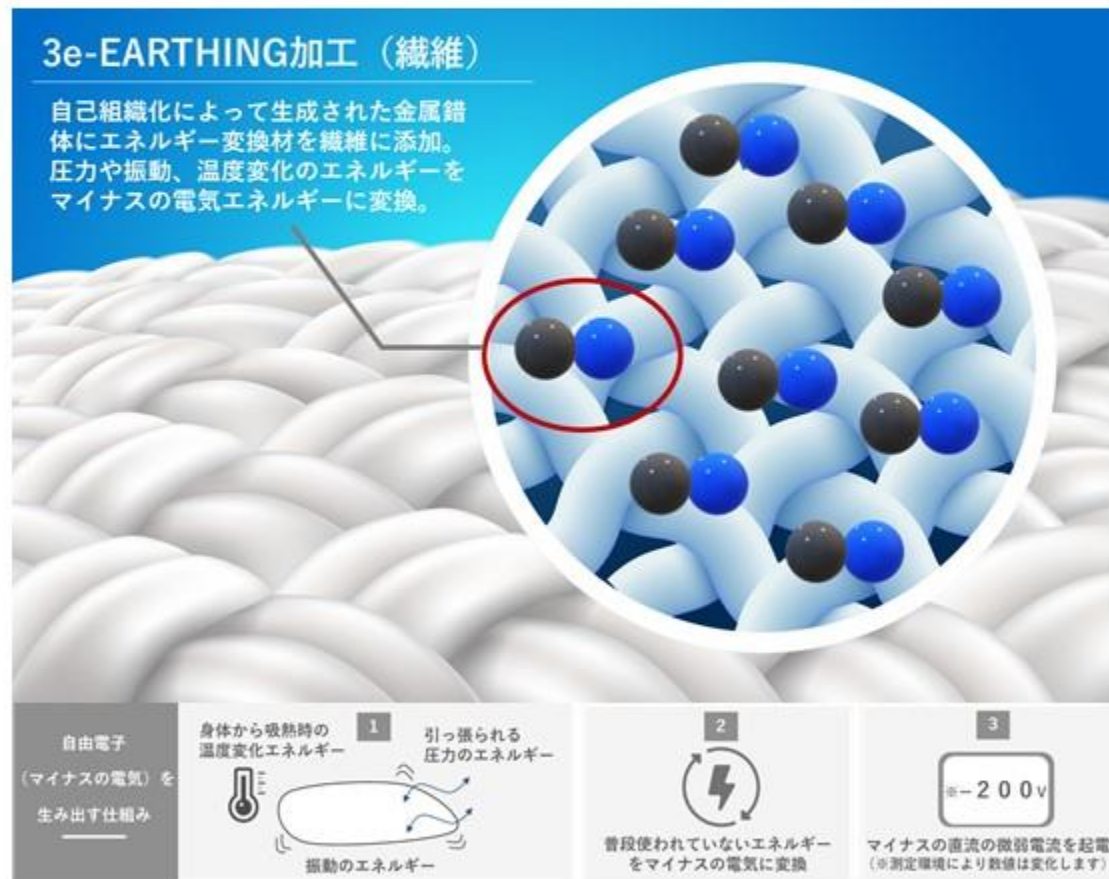
3e-EARTHING技術を繊維（衣類）へ加工し起電する衣類へ

■3e-EARTHINGとは
現代の生活環境に合わせた誰でも簡単に使える方法でアウトサイドからいつでもどこでも自由電子（マイナスの電気）を補充できる環境をつくり、酸化還元バランスをととのえるテクノロジーです。

easy 誰でもどこでもいつでも使える

ecological 圧力や振動、温度変化の普段使われていないエネルギーを電源なしで

electron 高電圧の直流のマイナスの電気に変換する
（自由電子・還元電子）



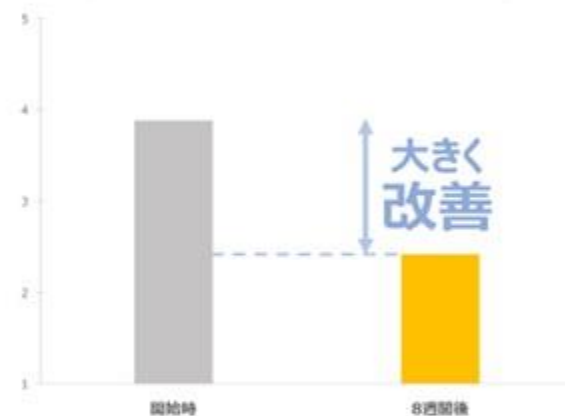
20名の計2カ月間のPMS・生理痛の緩和検証を測定し、数値検証およびインタビューより改善を確認

■モニター検証時
天然繊維の綿の腹巻きへ加工。
-200Vの電位を確認し
起電する衣類へ開発成功。

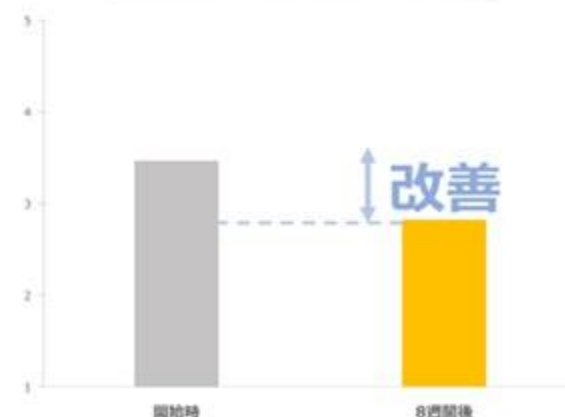
3e-EARTHING加工



イライラ・不安など



頭痛・腰痛・腹痛



TOTONOERU 3e-HARAMAKIの完成

肌にやさしい身体が喜ぶ服をつくりたい思いから奈良県にあるシルクふぁみりいで編み上げられた腹巻きと出会い
3e-EARTHING加工を施し、着ている間はマイナスの電気を補充し電気バランスをお腹からととのえる
3e-HARAMAKI（腹巻き）が完成しました。

秋冬春用



シルク20%
コットン80%
サイズ：フリーサイズ

【洗濯方法】

ネットに入れて中性洗剤でお洗濯ください。
※濃い色のものは、他のものと分けてお洗濯ください。
※繊維とともに加工した剤が落ちてしまうため必ずネットに入れて洗濯してください。

【ご注意事項】

天然繊維のため、10%未満の範囲で縮む場合がございます。
ペースメーカーをつけている方、その他急性疾患のある方、妊婦の方のご使用は控えてください

オールシーズン用



シルク91%
ナイロン8%
ポリウレタン1%
サイズ：フリーサイズ

【生産地】

日本

【洗濯耐性】

50回以上
※繊維とともに加工した剤が落ちてしまうため必ずネットに入れて洗濯してください。

TOTONOERU 3e-EARTHINGによる不調をととのえていく推進チーム

川尻を中心に身体について知り尽くし、安全性も監修している日本体育大学井川教授
40年以上量子力学をベースとしてエネルギー変換の触媒開発をしてきた和田ドクター
ライフサイエンス研究者の前田と推進



川尻 大介

株式会社天煌堂 代表

ITからサイエンスを活用し
リアルに触れるもので
ソリューション開発をしていく
スペシャリスト



井川 正治

日本体育大学名誉教授
日本睡眠環境学会会長

ヒトの体の中と外を知り尽くし
ヒトへの安全性を担保する指針を
決めることができる権威



和田 正幸

量子力学・電子工学
触媒開発研究者

外部電源不要のエネルギー変換
物質変換技術のスペシャリスト
酸素や水を変化させます



前田 みなと

東京都医学総合研究所
ライフサイエンス研究者

PMS・生理痛・アトピーの
ペインを解決するため奔走する
遺伝性疾患の治療法研究中

3か月の短期間で女性特有の健康課題と職場のコミュニケーションをととのえる
前向きにいきいきと活躍できる環境を創ります

STEP 1 女性特有の健康課題
によるプレゼンティズム

着ている間にととのえる



起電する機能性衣類
「3e-HARAMAKI」

STEP 2 職場のコミュニケーション課題

思考の癖を知りとのえる

社員の脳と話そう。



脳医科学診断プログラム
「ノウセツ」



■ **筑波大学**との共同研究

(筑波大学体育系ヒューマン・ハイパフォーマンス先端研究センター)

■ **脳医科学**に基づいた診断プログラム

■ リハビリによる身体機能の回復のため

医療現場にて研究開発

■ ハイパフォーマンスを目指す

トップアスリートのメンタルチェック

脳活用度診断プログラムによって人それぞれの強みや弱み、
メンタル状況をわかりやすく数値で表し、解決策を導きだします！

脳のどこの領域を、どれ位の割合で使っているかで**思考のクセ**がわかる！

左脳3次元 ??%

理論的思考で本質を突き詰める
合理的・論理的の結果主義

右脳3次元 ??%

好奇心旺盛で感覚が鋭い
エネルギッシュな行動派



左脳2次元 ??%

豊富な知識やデータを活用する
一つのことを突き詰める職人

右脳2次元 ??%

人との調和を重視し
察する能力が高い温情主義

脳タイプと同時にメンタル状況の把握

[側坐核]

「動物脳プラス」に関わる部位で行動意欲に繋げる役割をする。ドーパミンに関与し、「やる気」に影響を与える。また、報酬系、快楽依存、不安などにも関連している。

動物脳プラス

理想値 70~80

情動や食欲、性欲など本能に関わる、本能な脳の使い方。

[帯状回]

「ストレス耐性」に関わる部位で、感情の形成と処理、学習と記憶に関わりを持つ。活性すると感情の起伏や過度な本能的欲求を抑制し、機能が低下すると逆作用となる。

ストレス耐性

理想値 70以上

ストレスにどれだけ耐えられるかという強さ。

[大脳新皮質]

「人間脳」に関わる部位で、言語機能や情報収集・分析、思考、推理など知性を司る。

人間脳

理想値 70以上

人や社会の役に立てるよう、自他を育てる力。

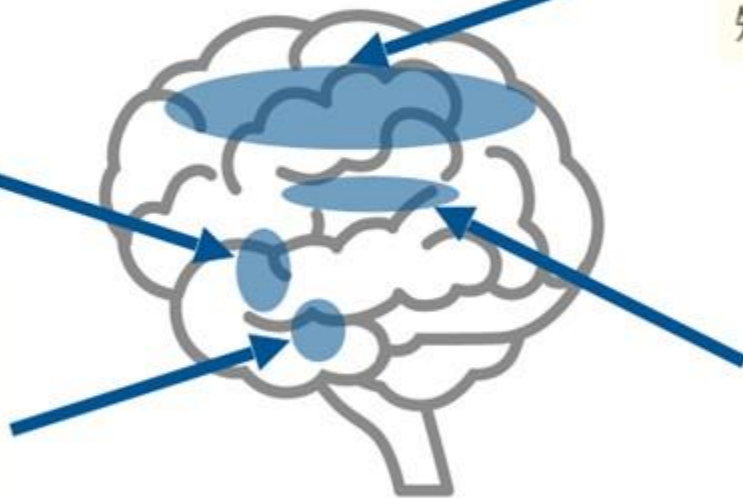
[扁桃体]

「動物脳マイナス」に関わる部位で、情動的な出来事に関連付けられる記憶の形成と貯蔵における主要な役割を担う。喜怒哀楽、恐怖、逃避、攻撃など多岐にわたる情動に関与している。

動物脳マイナス

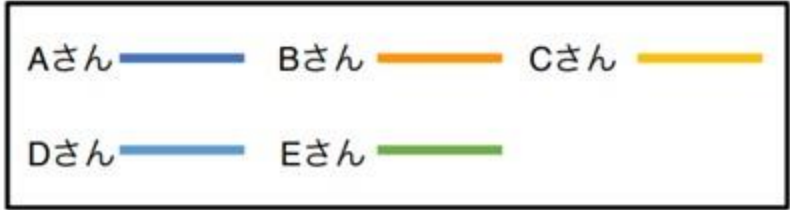
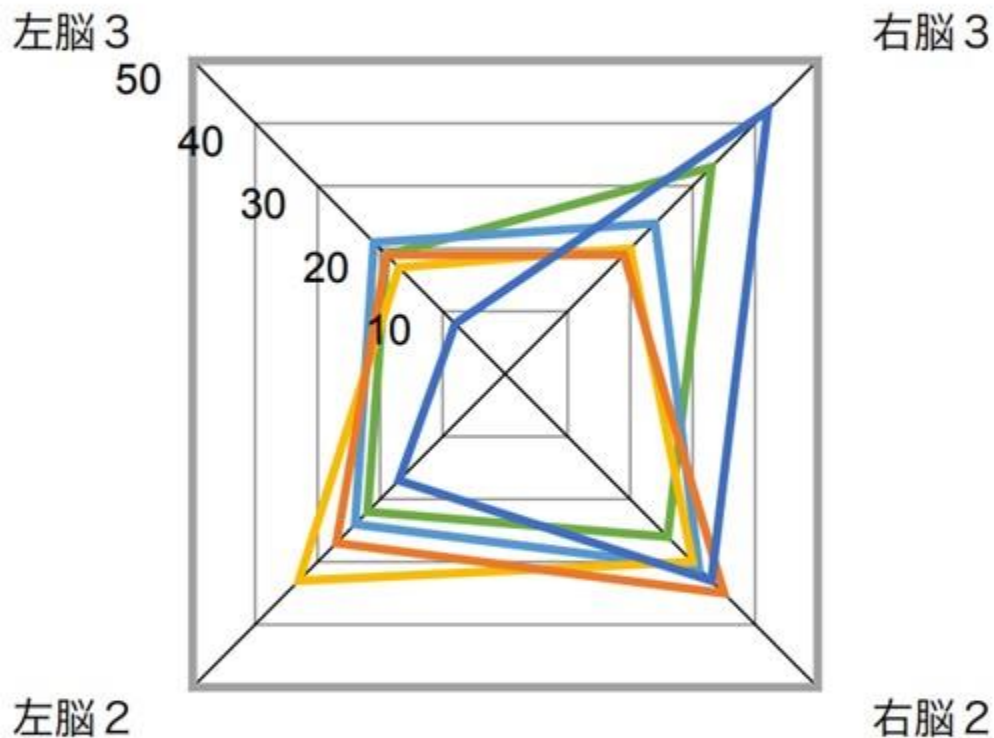
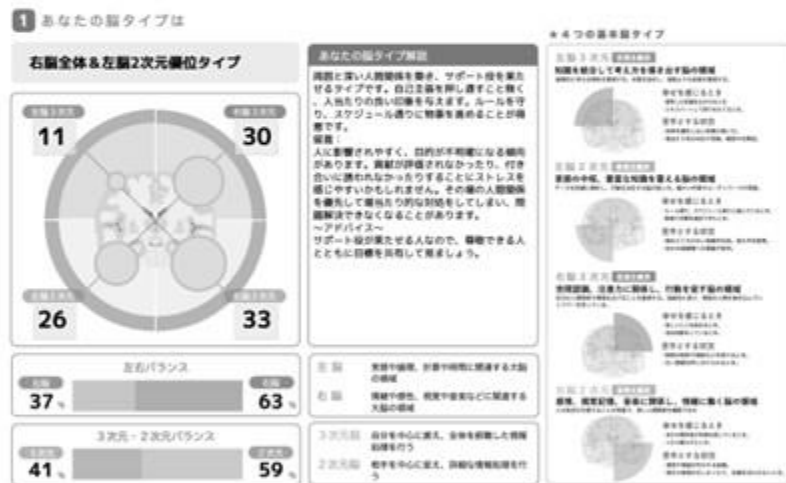
理想値 30以下

ストレスに対して、攻撃的(イライラ・怒りなど)または逃避的(不安・悲しみなど)になる感情的な反応。



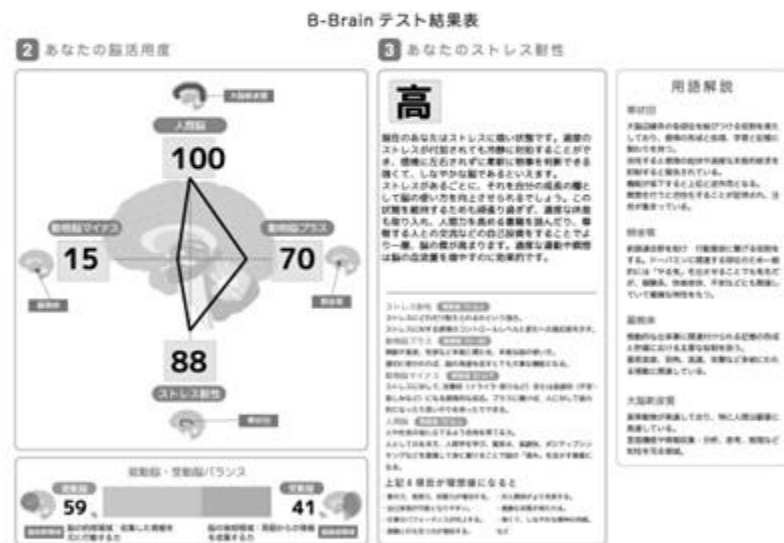
脳タイプにより適正配置を行う

▷脳タイプをダッシュボードにて分析

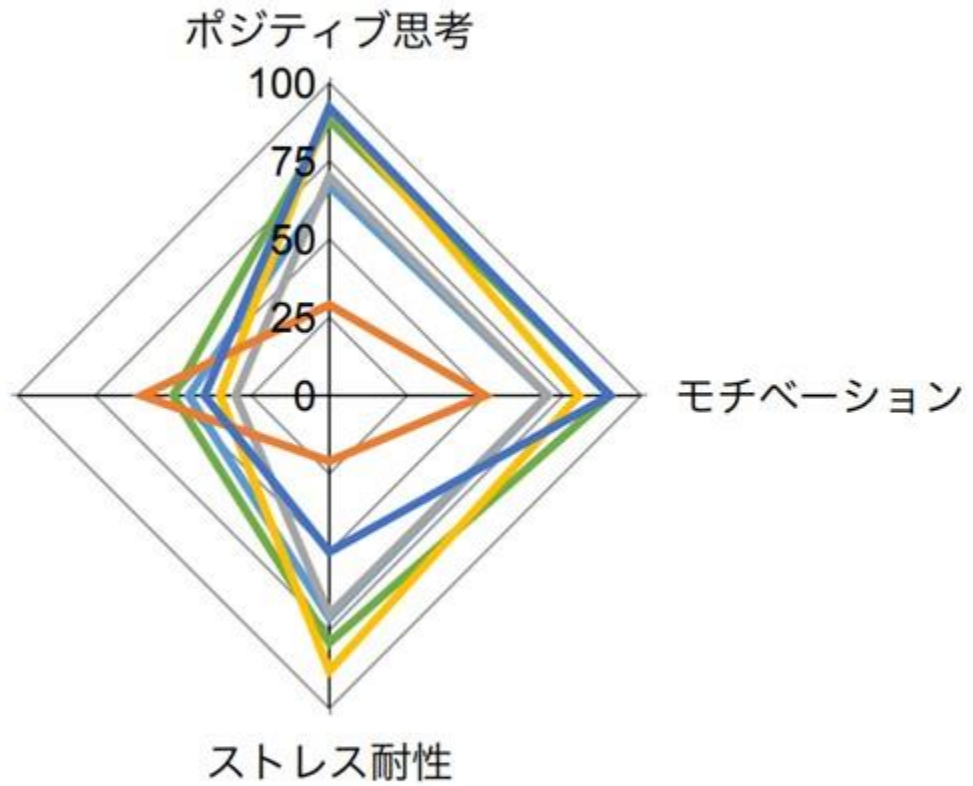


メンタル状況によってフォローアップ体制をつくっていく

メンタルをダッシュボードにて分析



不安/恐怖
》 》 》



個人のコンディションの悩み

イマイチな時間
150～300時間/月

手間と時間とリテラシーが
必要な対処方法



着るだけの簡単な方法で
150～300時間/月を
アクティブな時間へ

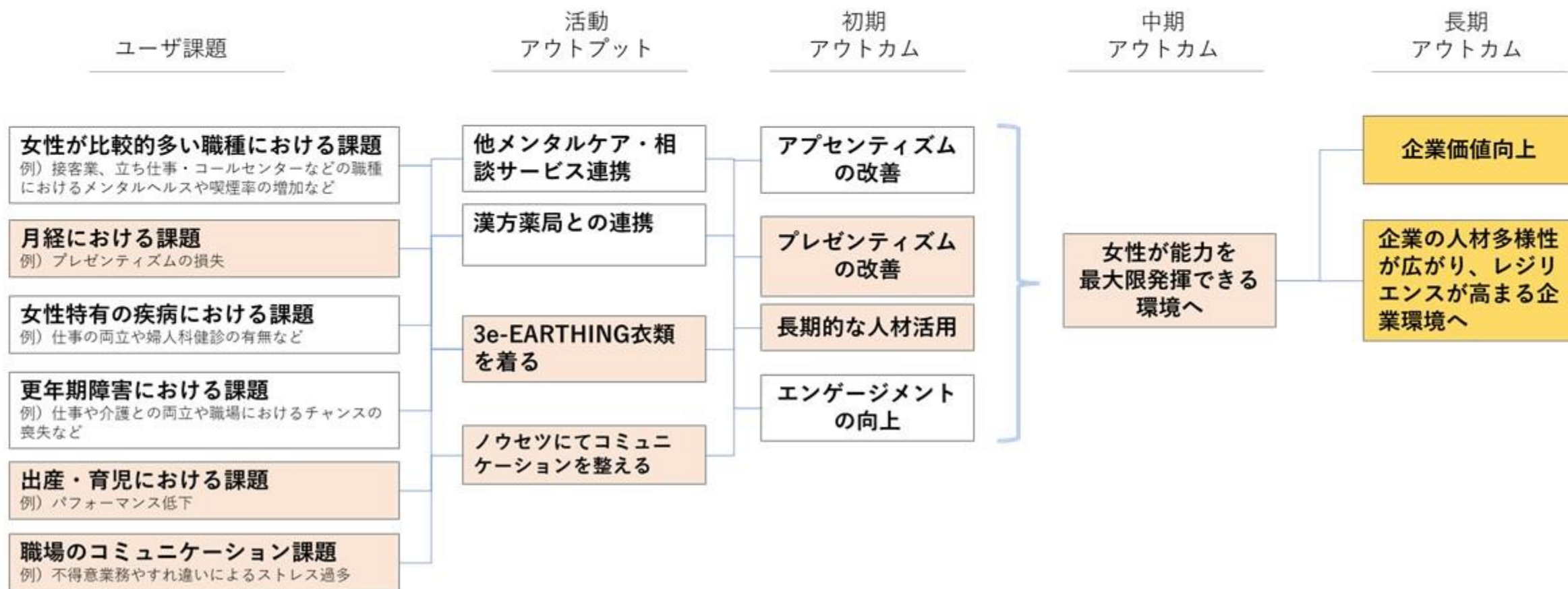
コミュニケーションの悩み

コミュニケーションを
どうしたら良いか
いつも難しい



自分と相手の思考の癖を
数値で傾向を理解し
円滑なコミュニケーション環境へ

本年度は月経、出産育児、職場のコミュニケーションの課題を解決し 女性が能力を最大限発揮できる環境の一步目をつくります



TOTONOERU 中長期目標の達成をしていくために幅も広げていく

TOTONOERU

オプション
ソリューションパートナー

相談・コーチング・教育サービス
や漢方薬局など女性の悩みや不安
を解決するために活動されている
サービスと連携をしていきたい

TOTONOERU

ベーシックパートナー

天煌堂

着ている間にととのえる
起電する機能性衣類
「3e-HARAMAKI」

AGTR

社員の顔と話そう。

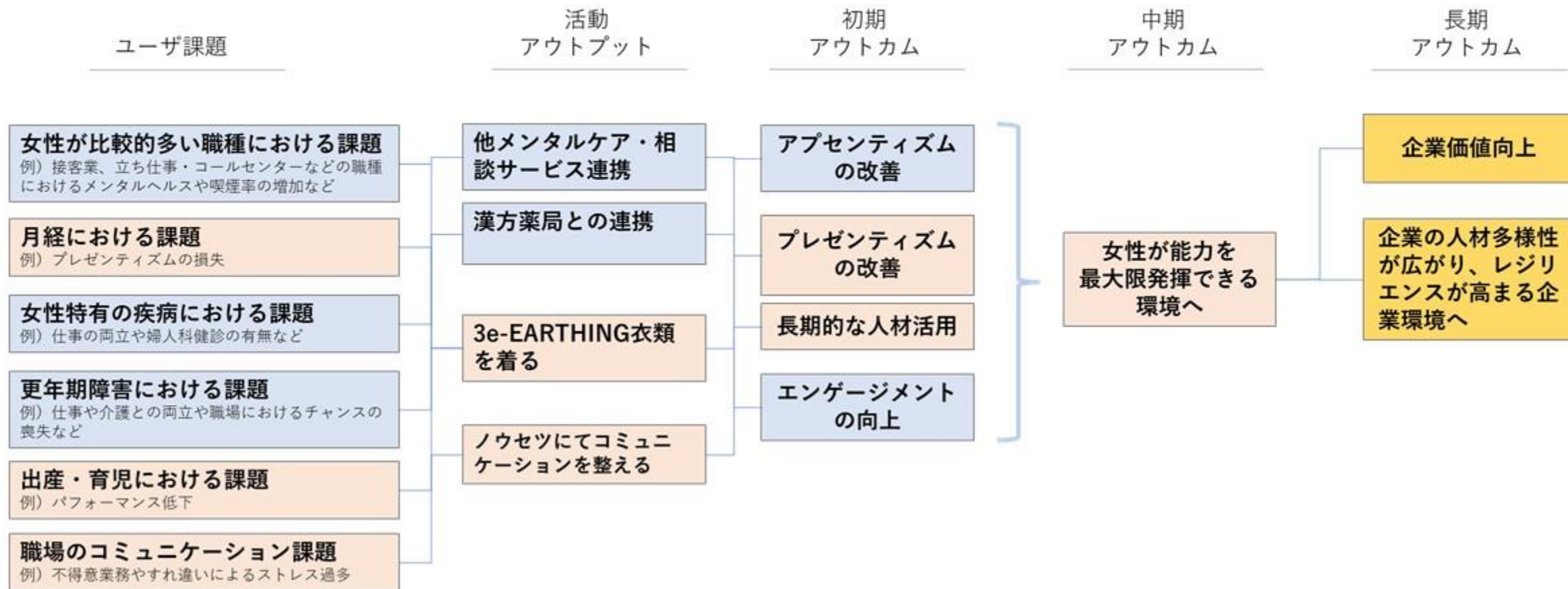


TOTONOERU

スプレッドパートナー

各都道府県市にて企業の働く環境
改善に向けて導入展開してい
ただくパートナー（代理店）と
提携していきたい

中長期のアウトカムを実現していきます



TOTONOERU 3か月のフェーズの実施内容

1週間

3か月

事前準備

TOTONOERU
開始

TOTONOERU
完了

マネージャ
管理者

- ・ 主旨説明
- ・ ユーザ向け周知

- ★ マネージャ・管理者向け
 - ・ ノウセツに関する個別セッション
- ★ 集合セッション (1時間半)
 - ・ PMS・生理痛に関するアンケート
 - ・ ノウセツを活用したセッション
 - ・ 3e-HARAMAKIのお渡し

- ★ マネージャ・管理者向け
 - ・ ノウセツに関する個別セッション
- ★ 集合セッション (1時間半)
 - ・ PMS・生理痛に関するアンケート
 - ・ ノウセツを活用したセッション

ご利用ユーザ

- ・ LINE登録
- ・ ノウセツの登録

3e-HARAMAKIの利用

TOTONOERU
フォローチーム

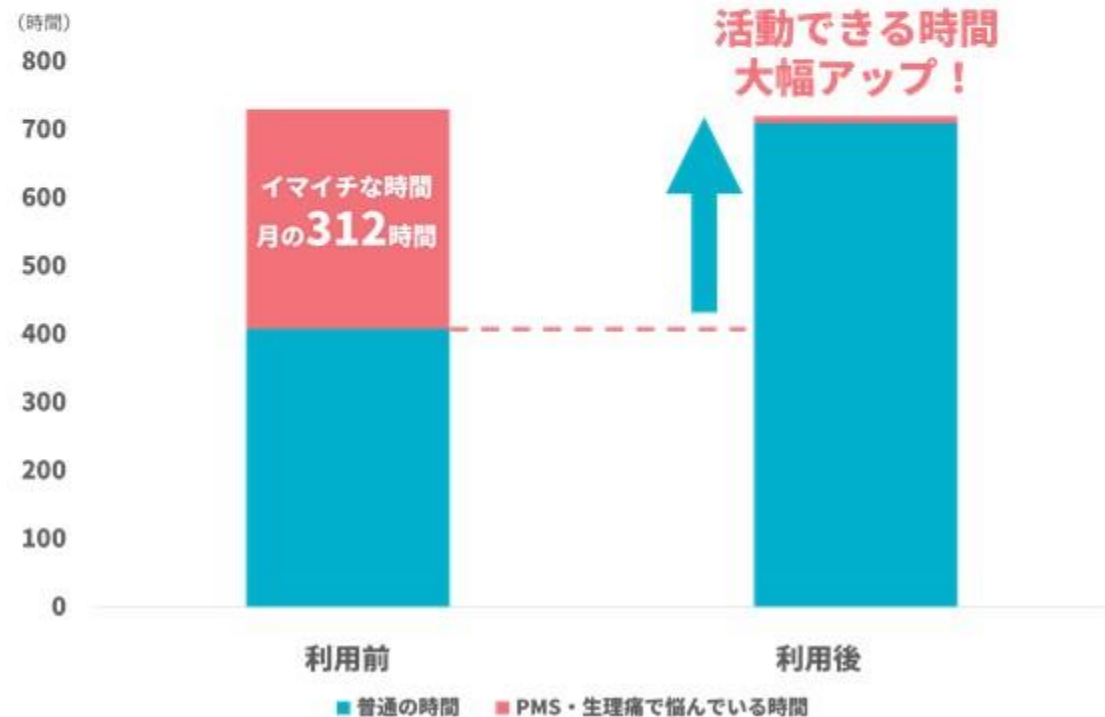
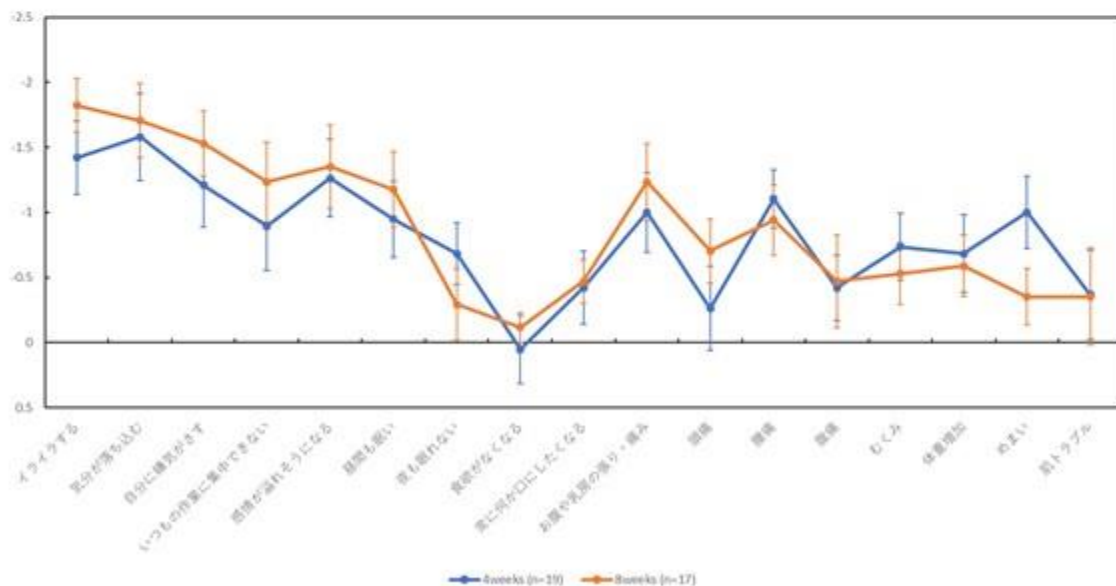
期間中はLINEにてサポート

TOTONOERU 今年度の成果指標および成果測定の方法

実証施策	アウトプット成果指標	アウトカム成果指標
3e-EARTHING衣類	利用企業数 利用者人数 アンケート回答率	PMS・生理痛症状のスコア改善 何となく不調の時間の減少 NPSスコア増加 共通指標①（WHO-HPQ）の成果指標 共通指標②の成果指標
ノウセツ	利用企業数 利用者人数 コーティング数 管理職コーティング数	メンタルヘルスの改善 共通指標①（WHO-HPQ）の成果指標
【外部サービス連携検証】 NPO未来経験プロジェクト (coe) 連携 ※乳幼児虐待予防相談サービス ※匿名サービスとの連携検証	利用者人数 継続利用期間 アンケート回収率	（要調整中） PMS・生理痛症状のスコア改善 精神的負担の軽減 匿名サービス連携可否確認

TOTONOERU アウトプットイメージ：女性特有の健康課題によるプレゼンティズム (実証実験時のレポート予定)

PMS・生理痛モニター結果



TOTONOERU アウトプットイメージ：思考の癖を知りとのえる（個人）

B-Brain テスト結果表

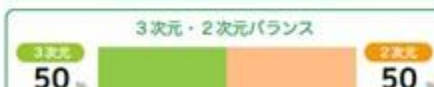
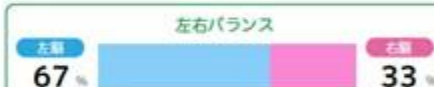
氏名 201128_3500

日付 2022-06-09

アカウントID USR37331

1 あなたの脳タイプは

左脳全体優位タイプ



あなたの脳タイプ解説

論理思考を持ち、ルールを重視し、計画的に物事を遂行できるタイプです。問題を解決できる能力を持ち、組織のリーダーになれる人です。反面、新周性にはやや欠け、人新作りは得意ではありません。

留意：
妥協が苦手で、人からのアドバイスは聞き入れない傾向があるので、ご注意ください。また、自分の理想と合理性を重視するあまり、周囲から人間味がないと敬遠されてしまう可能性があります。

～アドバイス～
寛容度家の内の寛、業を時にさらけ出してみることも人間関係の潤滑剤となることもあるので意識してみましょう。
自分の目的を遂行していく上で協力者は欠かせません。特に人への配慮を心掛けてください。

左脳 言語や論理、計算や時間に関連する大脳の領域
右脳 情緒や感性、視覚や音楽などに関連する大脳の領域

3次元脳 自分を中心に捉え、全体を俯瞰した情報処理を行う
2次元脳 相手を中心に捉え、詳細な情報処理を行う

★4つの基本脳タイプ

左脳3次元 **情報収集**
知識を統合して考え方を導き出す脳の領域
論理的に考えたり物事を整理する、作業の進め方、適切なやりかたを提案する。
得意を感じる時
- 多くの知識を身につけること
- 体系的に整理して物事を進めること
- 工夫やアイデアを出せること
苦手とする状況
- 雑事を多く抱えること
- 雑多な情報の中から必要な情報を抽出すること

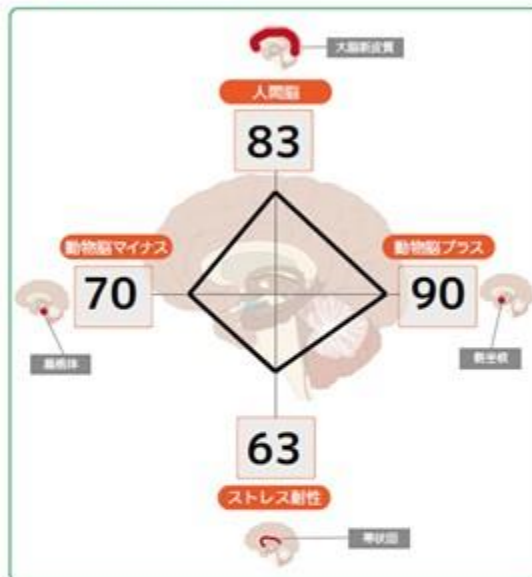
左脳2次元 **情報整理**
言語の中枢、豊富な知識を蓄える脳の領域
体系的に整理し、体系的に活用すること、適切なやりかたを提案する。
得意を感じる時
- 体系的に整理すること
- スキーム化して物事を進めること
- 雑多な情報を整理すること
苦手とする状況
- 雑多な情報の中から必要な情報を抽出すること
- 体系的に整理すること

右脳3次元 **意思決定**
空間認識、注意力に関係し、行動を促す脳の領域
直感的に物事を判断すること、適切なやりかたを提案する。
得意を感じる時
- 直感的に物事を判断すること
- 体系的に整理すること
- スキーム化して物事を進めること
- 雑多な情報を整理すること
苦手とする状況
- 体系的に整理すること
- スキーム化して物事を進めること
- 雑多な情報を整理すること

右脳2次元 **情報処理**
感情、視覚記憶、音楽に関連し、情緒に働く脳の領域
人の感情や思考の動きを察知すること、適切なやりかたを提案する。
得意を感じる時
- 人の感情や思考の動きを察知すること
- 体系的に整理すること
- スキーム化して物事を進めること
- 雑多な情報を整理すること
苦手とする状況
- 体系的に整理すること
- スキーム化して物事を進めること
- 雑多な情報を整理すること

B-Brain テスト結果表

2 あなたの脳活用量



3 あなたのストレス耐性

中

現在のあなたは標準的なストレス耐性の状態です。多少のストレスには適応できますが、過度のストレスや自身の苦手な状況下では対応に戸惑い不安や焦り、イライラを感じる可能性が指摘されます。
一日の生活の中に深呼吸（目を閉じて、特に吐くことに意識を向ける）を始めて取り入れましょう。出来事に対してあまり、良い悪いと評価せずに脳タイプの結果を参考に自分の得意な脳の使い方を活かすようにしていきましょう。

ストレス耐性 **脳活用量**
ストレスにどれだけ耐えられるかという指標。ストレスに対する感情のコントロールレベルと変化への適応力を示す。
動物脳プラス **得意な70-90**
情熱や意欲、性格など本能に関わる、本能な脳の使い方。適切に使われれば、脳の発達を促すとても大事な機能になる。
動物脳マイナス **得意な60-70**
ストレスに対して、攻撃的（イライラ・怒りなど）または逃避的（不安・悲しみなど）になる感情的な反応。プラスに働けば、人に対して協力しやすくなり思いやりを持ったりできる。
人間脳 **得意な70-80**
人や社会の役に立てるよう自分を育てる力。人としての生き方、人間性を学び、寛容性、ポジティブシンキングなどを磨き上げて身に付けることで脳の「強み」を活かす働きになる。

上記4項目が理想値になると
- 集中力、想像力、判断力が向上する。 - 対人関係がより充実する。
- 多くのアイデアが湧き出てくる。 - 健康な状態が保たれる。
- 仕事のパフォーマンスが向上する。 - 焦って、しどろもどろの状態になる。
- 困難に打ち向きやすくなる。 など

用語解説

帯状回
大脳辺縁系の各部位を結びつける役割を果たしており、感情の形成と記憶、学習と記憶に関わりを持つ。
活性化すると感情の起伏や過度な本能的欲求を抑制すると報告されている。
機能が低下すると上記と逆作用となる。
興奮を行うと活性化することが証明され、注目が高まっている。

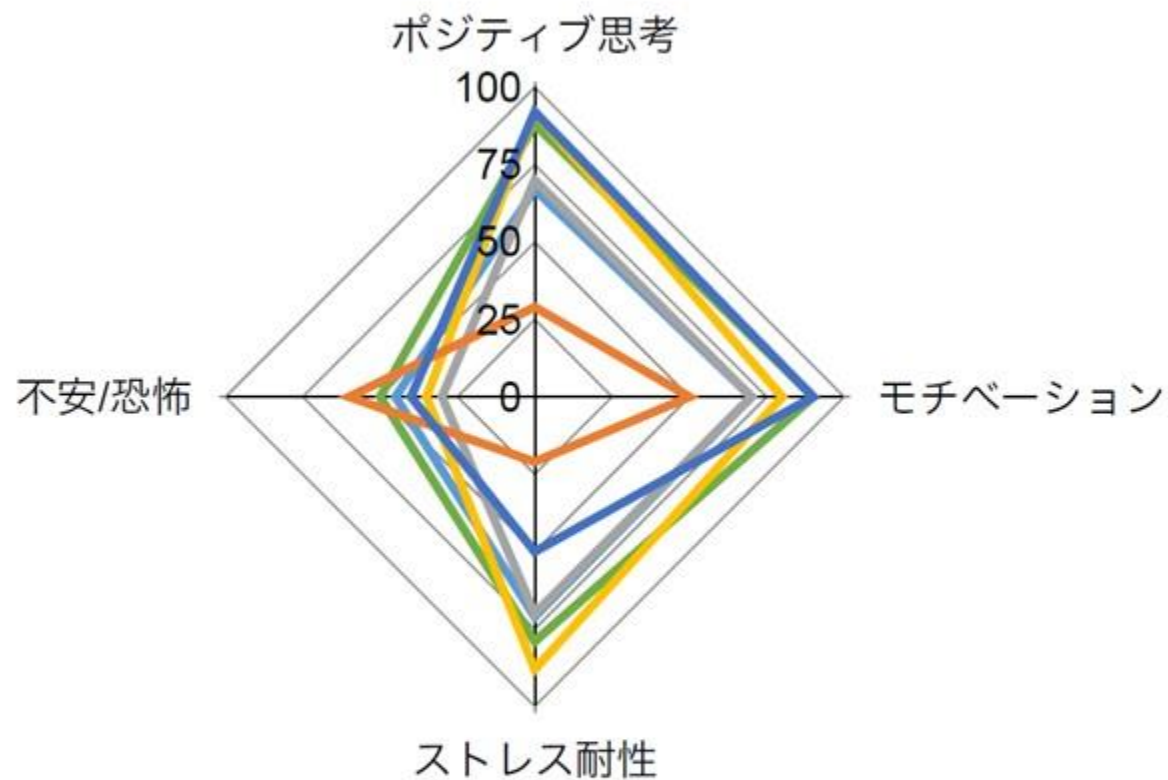
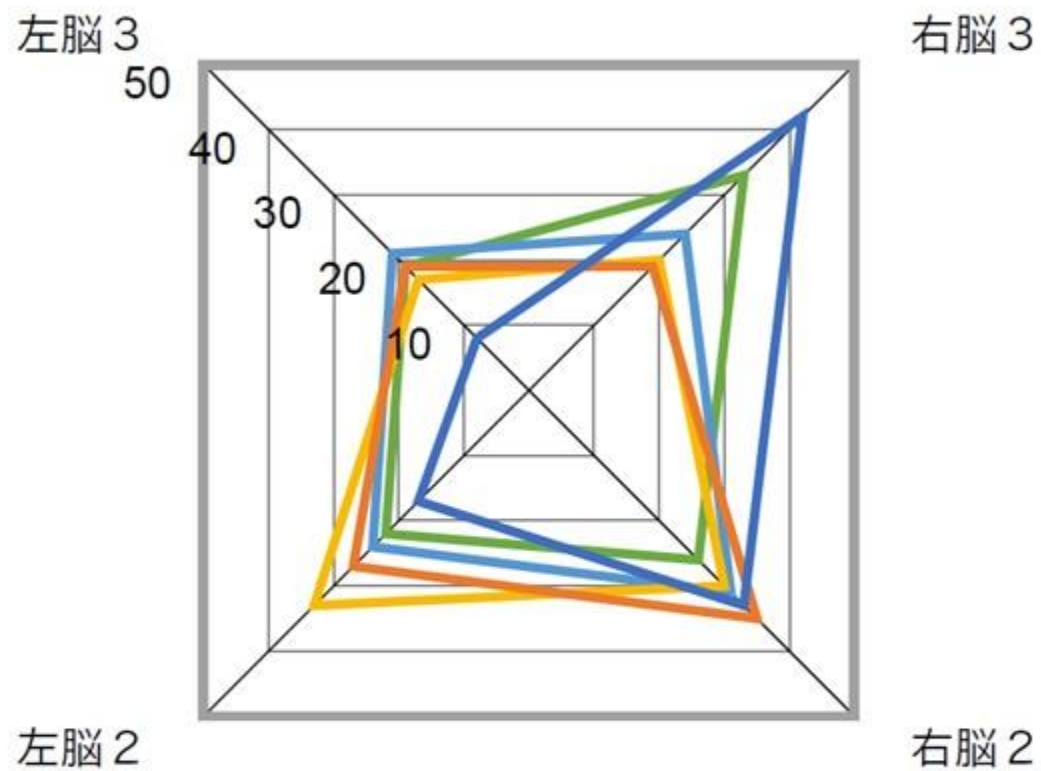
側坐核
刺激適応性を助け、行動意欲に繋げる役割をする。ドーパミンに関連する部位のため一般的には「やる気」を出すことでも有名だが、報酬系、快楽依存、不安などにも関連している複雑な特性をもつ。

扁桃体
情動的な出来事に関連付けられる記憶の形成と貯蔵における主要な役割を持つ。
喜怒哀楽、恐怖、逃避、攻撃など多岐にわたる情動に関連している。

大脳新皮質
高等動物が発達しており、特に人間は顕著に発達している。
意思決定や情報収集・分析、思考、推察など知性を司る領域。

株式会社バイオエルティ
TEL 050-3775-9315
URL http://www.biolit.co.jp

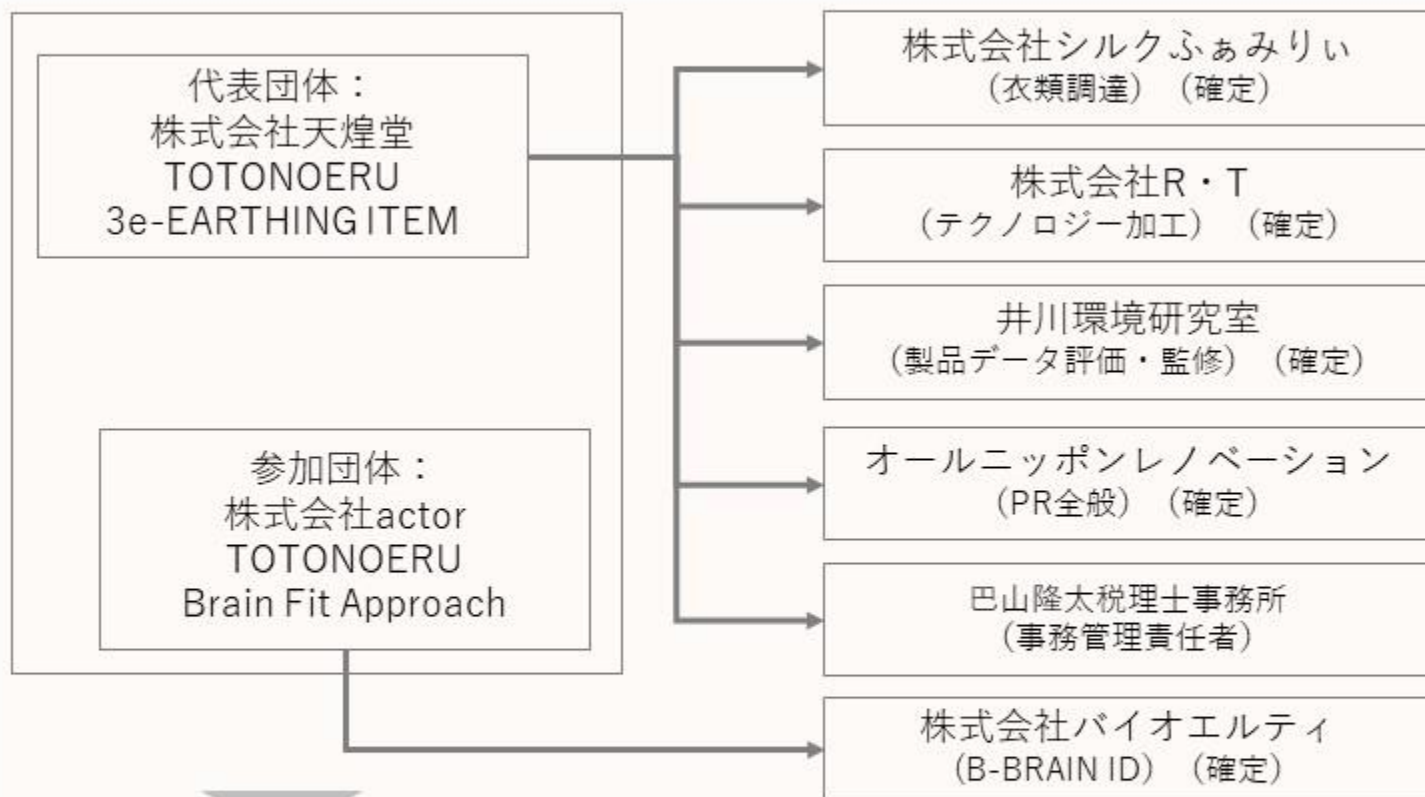
TOTONOERU アウトプットイメージ：思考の癖を知りとのえる（組織）



TOTONOERU 実施体制

補助事業者（コンソーシアム）

業務委託・外注先



**N数を100～200を想定し
実施体制を構築**

補助金活用者

協力団体（実証実験協力※折衝中も含む）

★CIC Japan合同会社 (確定)	★VentureCafe TOKYO (確定)	★オールニッポンレノ ベーション (確定)	パナJOBHUB (未確定)	NPO未来経験プロジェク ト(coe) (確定)
日本生命保険相互会社 (確定)	秋田県 (未確定)	山梨県 (未確定)	浜松市 (未確定)	広島県 (未確定)

前向きに

TOTONOERU

会社概要

社名	株式会社天煌堂
設立	2017年6月
代表者	代表取締役CEO 川尻大介
所在地	〒105-6415 東京都港区虎ノ門1-17-1虎ノ門ヒルズビジネスタワー15F
取引銀行	三菱UFJ銀行 住信SBIネット銀行

沿革

- 2017年6月
ゼロプラス株式会社設立
NoPoints Ver.1クラウドファンディング実施
- 2018年10月
Globis Venture Challenge決勝進出
- 2019年2月
株式会社天煌堂に商号変更
- 2019年3月
株式会社R・Tと提携
- 2019年5月
協同組合ラテストと提携
JOYPILLOWクラウドファンディング実施
- 2019年6月
NoPoints Ver.2クラウドファンディング実施
- 2019年8月
レンティオ株式会社とJOYPILLOWのレンタル事業の協業開始
- 2020年12月
虎ノ門ヒルズビジネスタワーへ移転

社名：株式会社actor

設立：2021年 10月

代表者：代表取締役 赤川 嘉基

従業員数：5名

住所：東京都港区虎ノ門1-17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー15F

WEB：<https://actr-jp.com>

12.

未病状態のからだケア

素材～製品・サービス異業種連携でのワークショップを通じた

行動変容プログラムの提供

(代表団体：東レ株式会社)

令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業
キックオフミーティング資料

未病状態のからだケア

素材～製品・サービス異業種連携での
ワークショップを通じた行動変容プログラムの提供

東レ株式会社

事業設計の背景・事業目的

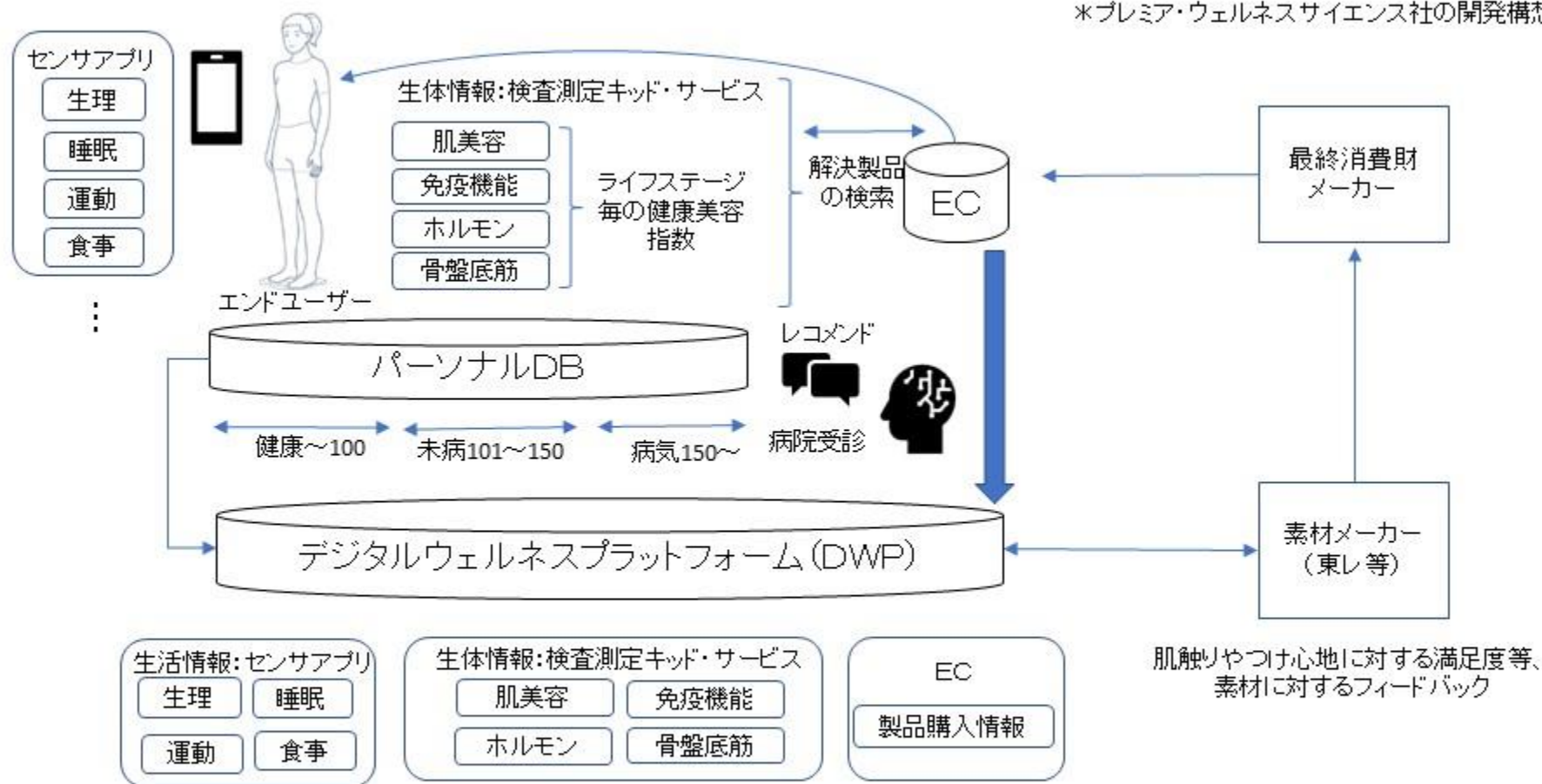
- 比較的プレゼンティーズムの低い20～30代女性を対象とする。会社でのキャリア形成と結婚や妊娠・出産等のライフイベントの時期が重なり忙しく、自分の健康問題についてよく知らない人が多いため。
- 本事業をきっかけにケアの必要性を知る機会が増えれば人生設計を立てやすくなり、企業全体での労働生産性の向上にも寄与する。
- もうひとつの目的は、異なる業種や業態（ベンチャー/大企業から構成されワークショップを通じ各社リソースやアイデアを掛け合わせ共創することである。
- 知識の壁、地理的距離の壁、タブー（無意識の偏見）の壁を超え、その人らしい美と健康、働き方を追求するデジタル基盤（デジタル・ウェルネスプラットフォーム：DWPと略）の要件定義を並行して行う。
- 本事業はその最初のフェーズ1（ミニマルな実証を通じニーズを把握）と位置づけ（4社合計20名：女性社員15名＋男性社員5名）

事業目標（2028-30）

- 女性の全生涯をその人らしく輝かせる社会
 - ・ライフイベントとキャリアの両立、ウェルビーイング実現
- 男性も女性特有の健康問題に関して学ぶ社会
 - ・社会全体で寄り添える環境の実現
- デジタル・ウェルネスプラットフォーム(DWP)の社会実装
 - ・安心・良質な素材や製品サービスが、デジタル基盤とともにリーズナブルに提供され、顧客生涯価値を高め続ける社会

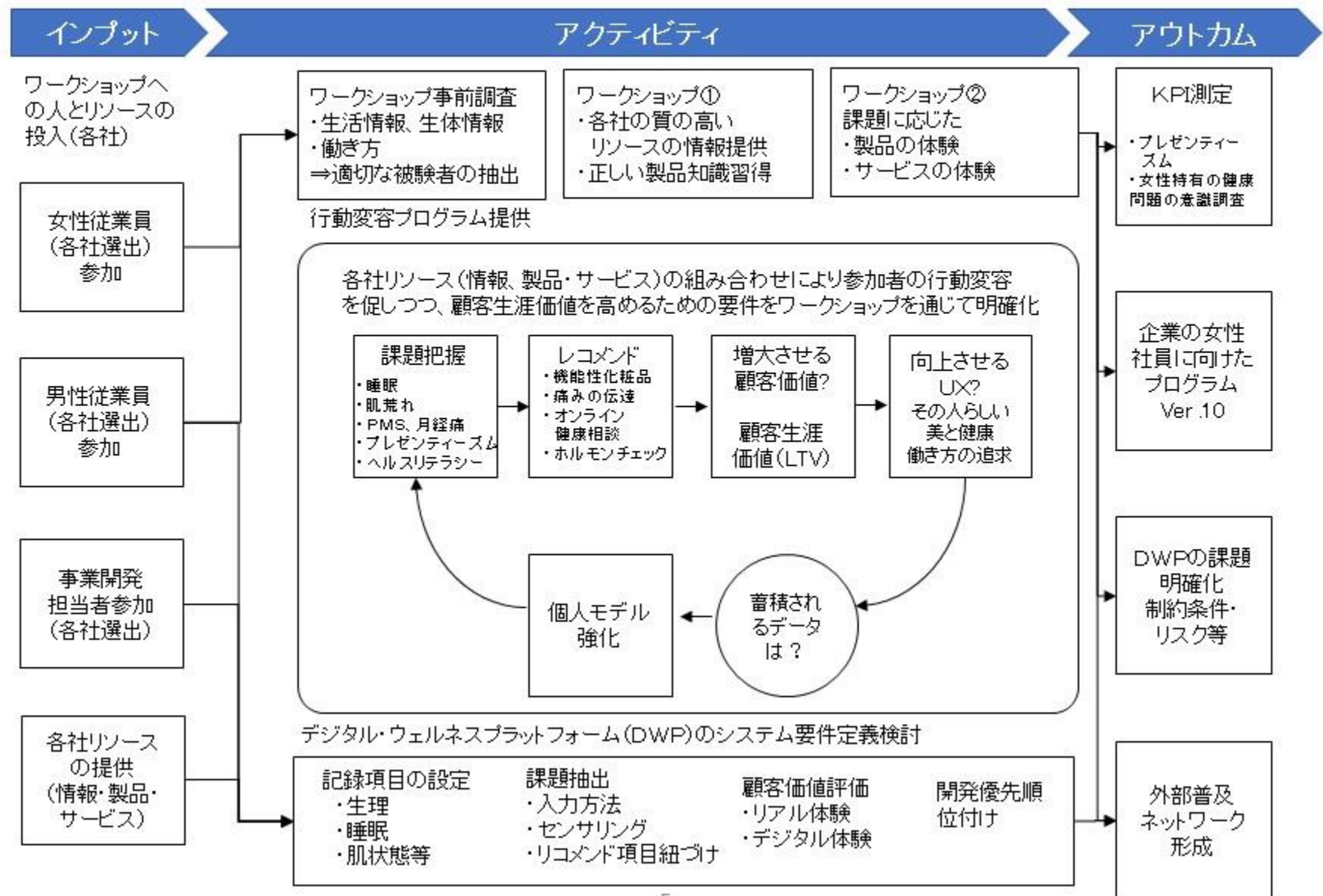
デジタル・ウェルネスプラットフォーム*

*プレミア・ウェルネスサイエンス社の開発構想



- ユーザーに寄り添い、未病状態に気づかせ、からだを良い方向へ導く仕組み
- 他ユーザーの生活情報・生体情報、EC購入情報含め蓄積
- その人にあった解決策をレコメンド。素材メーカーも初期から参画、素材設計からプロダクトに返していくループを作る

今年度の実施内容



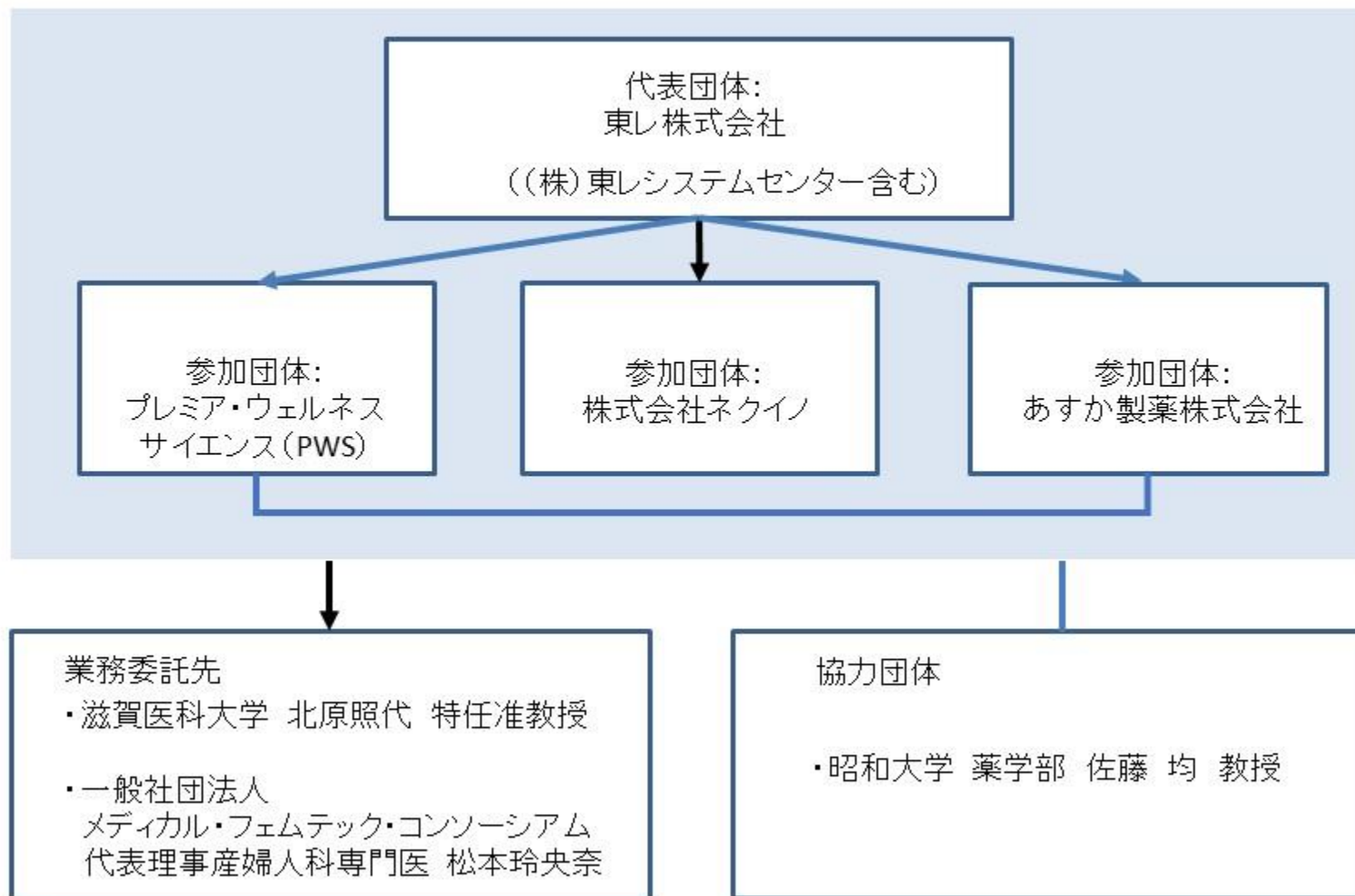
成果指標および成果測定の方法

対象	実証試験前 2022	短期 2023.3	中期 2025～27	長期 2028～30
絶対的プレゼンティーズムのスコア (WHO-HPQスコアより算出) がサービス利用前後で10%以上増加した者の割合	測定予定	5	7	10
女性特有の健康問題を社会にとって積極的に解決すべき課題とご思いますか?の問いに「非常に思う」と回答したサービス利用者の割合 (%)	測定予定 (参考: 50*)	60	70	80
あなたの健康課題とキャリアについて 経済産業省7/11連絡の追加共通指標	測定予定	測定予定	測定予定	測定予定

*東レグループ1.9万人を対象に2022.2に調査した際の値

- 成果指標の計測頻度は3回とし、ワークショップ①の前、ワークショップ①と②の間、ワークショップ②終了後に対象者へアンケートを東レが実施し成果を測定する。
- 具体的にはアンケート作成ツールであるMicrosoft Formsを利用して絶対的プレゼンティーズムを含む質問票を東レで作成し、メールでユーザーに送付、回答期限2週間程度を設定してアンケートを回収、成果を測定する。
- 質問表は事前に医療監修者の指導を受ける。

実施体制



実施スケジュール

実施事項			2022						2023		
項目	目的	内容	7	8	9	10	11	12	1	2	3
準備	適切な被験者の抽出	アンケート実施	■								
	生活情報記録開始	キックオフの実施	■								
ワークショップ①	セミナー実施	S R H R とフェムテック		■							
	座談会実施	医療D X		■							
		痛みのコミュニケーション			■						
		各社リソース提供 正しい製品知識の習得	機能性化粧品		■						
		女性ホルモンと健康		■							
ワークショップ②	課題の抽出・体験シェア	アンケート実施				■					
	製品・サービス体験	希望者に実施				■					
	顧客生涯価値の評価	アンケート実施				■					
	全体寄り添う環境づくり	各企業へのフィードバック							■		
システム	D W P の要件定義	記録項目の設定		■							
		課題抽出、価値評価						■			

13.

データ収集プラットフォームを通じた
企業のフェムテック導入促進事業
(代表団体：株式会社nanoni)

carefull

データ収集プラットフォームを 通じた企業のフェムテック導入 促進事業 計画資料

carefullのご紹介

企業の女性活躍推進をプロジェクトの起案から施策化・制度浸透までワンストップで支援



コンサルティング

社員への意識調査、社内課題の整理、施策のKPI設計などを伴走支援



セミナー

管理職向けや男性・女性当事者向けなど多種多様なトピックを用意



匿名コミュニティ

プライバシーを守りながら、当事者同士がつながれる仕組みを提供



福利厚生

働く上で必要なヘルスケアサービスの割引特典・費用補助

実証事業の背景

企業の悩み



女性活躍推進について、何から手をつけたらいいかわからない



女性の健康課題支援の管轄が、D&Iなのか健康経営なのか社内整理が必要

女性活躍推進の全体像が整理できていないので施策化に至らない



ギャップを埋めるのが本事業

フェムテック事業者の悩み



どんな企業にアプローチしたらいいかわからない



どんな導入メリットを訴求したらいいかわからない

経営課題のどこに紐づくかが曖昧な状態で営業活動を行うので導入検討の優先度を上げることができない

実証事業のゴール

現状

- 企業側の女性活躍推進の全体像整理ができていないのでフェムテック活用に至らない
- フェムテック事業者が営業をしても、導入検討の優先度を上げることができない

企業のフェムテック導入が進まない

実証事業

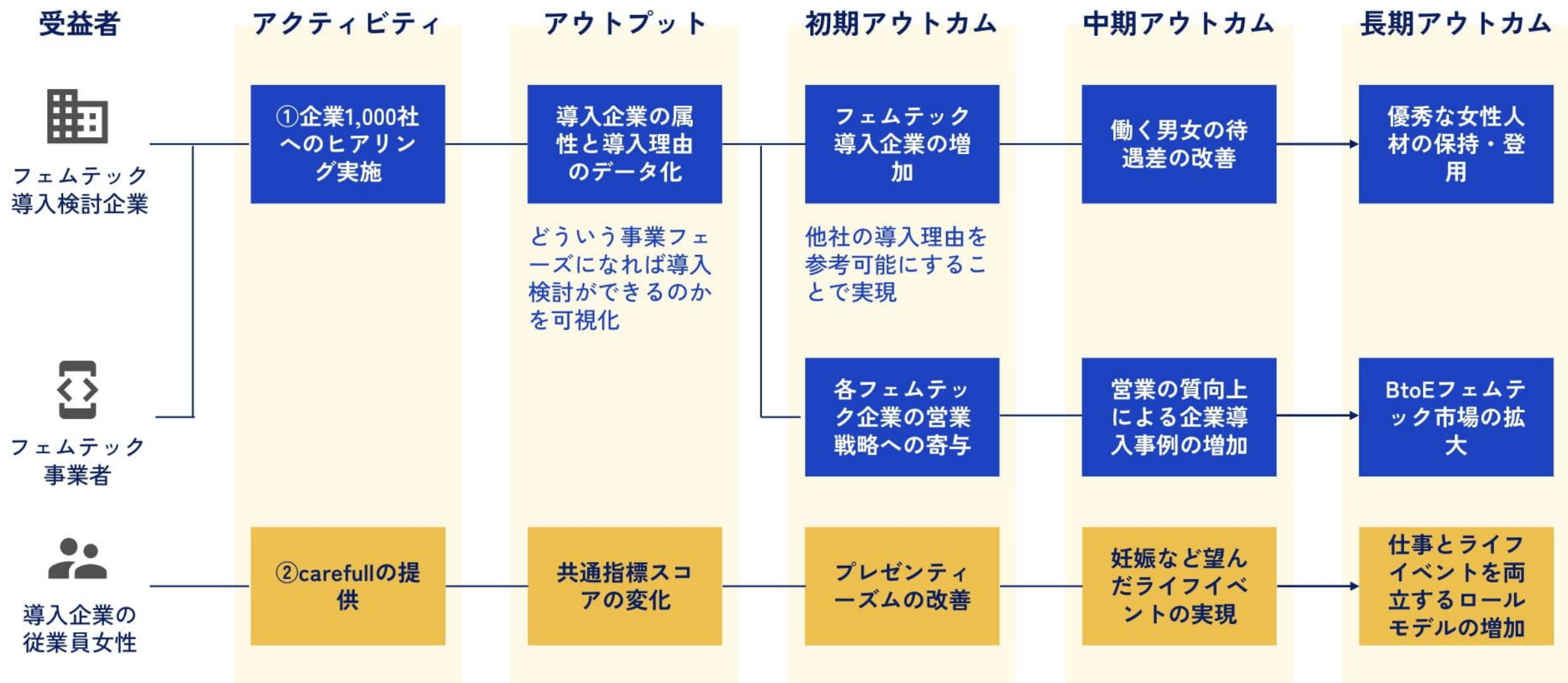
事業後

- どのような事業フェーズ（ビジネス規模、組織風土、予算）になればフェムテックの導入を現実的に検討できるのか可視化
- フェムテック導入を検討する企業にとっての参考情報の提供

他社の状況を踏まえて検討可能に

あらゆる企業が適切なタイミングにフェムテックを導入できるようにすることで、フェムテック市場全体の拡大に寄与する

ロジックモデル



実証事業の効果検証

① 企業1,000社へのヒアリング実施

- フェムテック関連サービスの導入率
- 企業属性：業界、従業員規模
- 導入理由：採用、健康経営の加点、コーポレートガバナンスコードへの対応 など

② carefullを通じたプレゼンティーズムの改善

- carefullの導入前と導入後に、11問の共通指標でアンケートを実施
 - 共通指標①：仕事ぶりについて
 - 共通指標②：健康課題とキャリアについて

実施内容①

企業1,000社へのヒアリング実施



Point 1

(株) ママスクエアwithとの連携

アンケート依頼は、「ママが子どものそばで働ける保育園でもない在宅でもない新しいワーキングスペース」を提供するママスクエア社と連携し実施

Point 2

調査対象は企業1,000社

なでしこ銘柄や健康経営銘柄、えるぼし認定など、フェムテック活用が進んでいる、もしくは検討可能であろう企業が調査対象

Point 3

CRMツールを活用したデータ管理

CRMツールを活用して、ヒアリング情報を体系化して分析

実施内容②

carefullの提供を通じた働く女性の
プレゼンティーズムの改善



carefull

Point 1

セミナーは社内視聴率89%を達成

carefullのセミナーは社内広報など導入支援付き。管理職や男性社員向けコンテンツもあり、高い参加率が期待可能

Point 2

本事業用にVRアバターの新機能リリース

VRアバターの新機能で、セミナー登壇者のプライバシーを確保。社員などからの原体験共有をしやすくなりました

Point 3

carefullユーザー同士がつながる新機能

社内だけでは解決が難しい課題を、企業の枠を越えてcarefullユーザー同士で匿名で情報交換できるようになりました

実施体制

株式会社nanoni

市場調査	ブリッジインターナショナル株式会社	オペレーションの全体監修
	株式会社 ママスクエアwith	ヒアリングの実施
	株式会社 Magic Moment	データの管理
実証の場の提供	総合商社	carefullの利用
	電機メーカー	
	IT企業	
carefullの提供	池田さやか医師	セミナーの提供
	竹田将人医師	セミナーの提供
	協力団体12社	セミナー・福利厚生提供など

実施スケジュール



①ヒアリング調査

②carefullとの実証 の協力企業様募集

お問い合わせ先：hello@xxnanoni.com

14.

**不妊治療当事者のウェルビーイング向上のための
心理ケア事業
(代表団体：株式会社ninpath)**

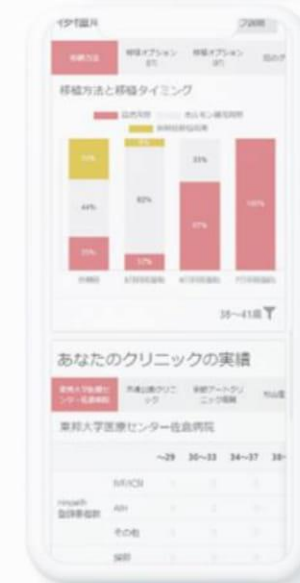
子どもを望む、
ひとりひとりの道しるべ

ninpath

株式会社ninpath

採択事業名

不妊治療当事者のウェルビーイング 向上のための心理ケア事業



管理・整理

ユーザーが治療結果を登録



不妊治療を
管理・整理することで、
自身の治療状況を可視化

確認・比較

他ユーザーのデータと比較



自身の治療状況に基づき、
治療の選択肢と実績を可視化。
治療内容の選択を支援。

検索・閲覧

ユーザーにあった医院を検索

このスクリーンショットは、「加藤レディースクリニック」の実績画面を示しています。表は「実績」と「クリニックの基本情報」の両方を示しています。

		実績	
		~29	30~3
ninpath登録患者数	IVF/ICSI	3	5
	AIH	0	0
	その他	1	1
ninpath登録周期数	採卵	3	3
	移植	1	6
	AIH	0	0
	その他	1	1
	IVF/ICSI	1	5

各クリニックの治療実績が、
ユーザー属性ごとに可視化。
自分にあった医院選びを支援

メンタルチェック

ユーザーのメンタル状況を定期的にチェック

リスク共有

通院クリニックにユーザーのメンタルリスクを共有

カウンセリング

不妊治療専門家によるオンラインカウンセリング

1→ 理由もなく疲れ切ったように感じましたか*

A 全くない

B 少しだけ

C 時々

D たいてい

E いつも



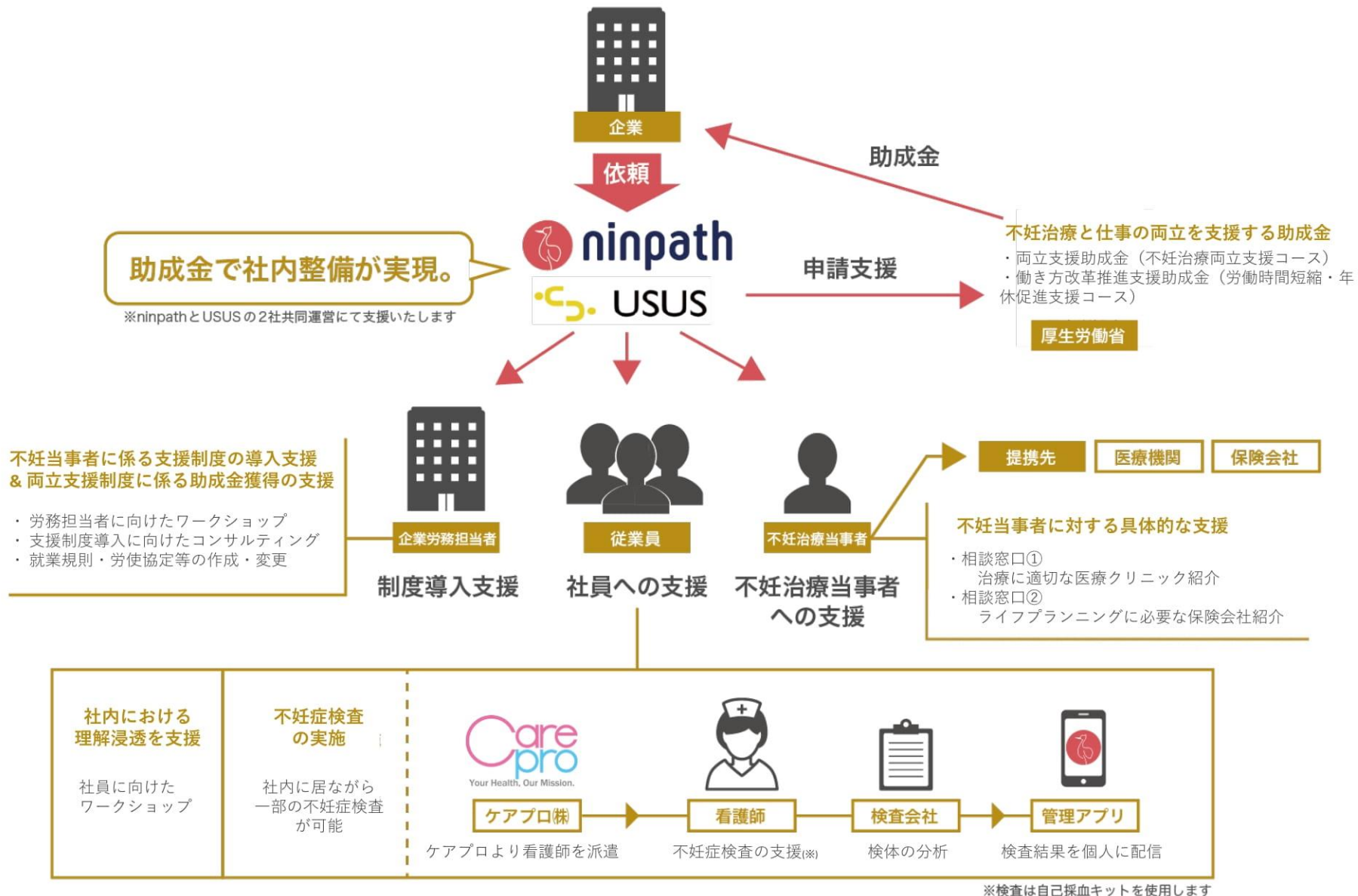
予約する日付を選択してください

< 2022 / 06 >

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25

定期的にメンタルチェックをすることで、自分で気づかないメンタルリスクを可視化

自身の治療状況やメンタル状況に基づいたカウンセリングにより負担を軽減



現在の日本

- 不妊治療にアクセスするカップル割合の増加
- 不妊治療の精神的負担と不妊退職に対する影響の顕在化
- 不妊患者に対する心理的支援の必要性の明確化
- 不妊患者に対する心理的支援体制のリソース不足（支援が届いていない）

必要なこと

オンラインを活用した、適切な**心理ケア・カウンセリング機会の提供**

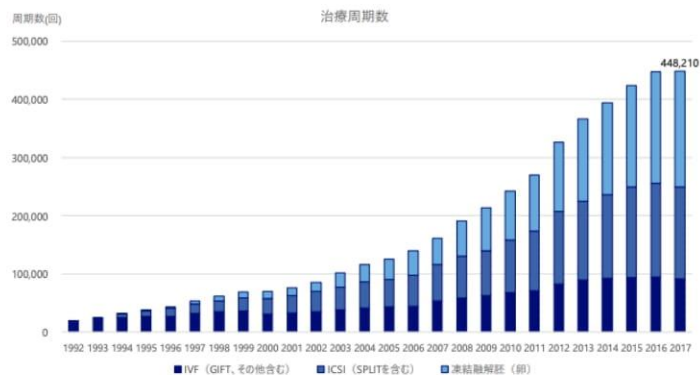
- 不妊治療中のメンタルケア
- 納得感のある治療や人生の選択
- 仕事やキャリアとの向き合い方

目指す社会

不妊治療が就業活動などの**ハンディキャップ**と**ならない**社会の実現

不妊治療にアクセスするカップル割合の増加

総治療数は年々増加

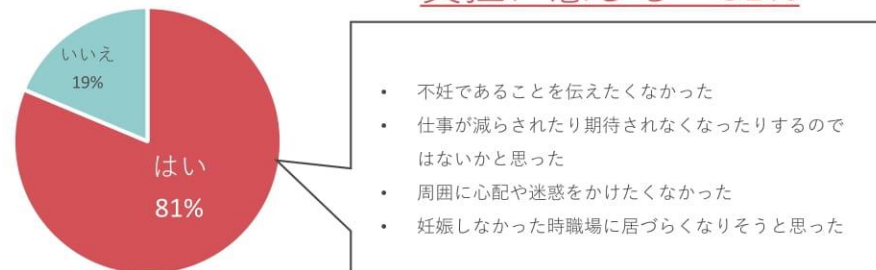


「不妊治療の実態に関する調査研究」 (<https://www.mhlw.go.jp/content/000766912.pdf>)

不妊治療の精神的負担と 不妊退職に対する影響の顕在化

職場で「不妊治療をしている」ということを周囲に話しづらく感じますか？

負担に感じる：81%



- 不妊であることを伝えたくなかった
- 仕事が減らされたり期待されなくなったりするのではないかと思った
- 周囲に心配や迷惑をかけたくなかった
- 妊娠しなかった時職場に居づらくなりそうと思った

ワンモア・ベイビー・ラボ「不妊と婚活の現状」 (<https://www.1morebaby.jp/column/articles/1018/>)

不妊患者に対する 心理的支援の必要性の明確化



- 精神的支援は、それを必要とする、あるいは必要と判断される不妊患者に提供することを考慮する
 - 心理学的・教育的介入は、それを必要とする不妊患者のメンタルヘルスを改善する
- **実施することが勧められる**

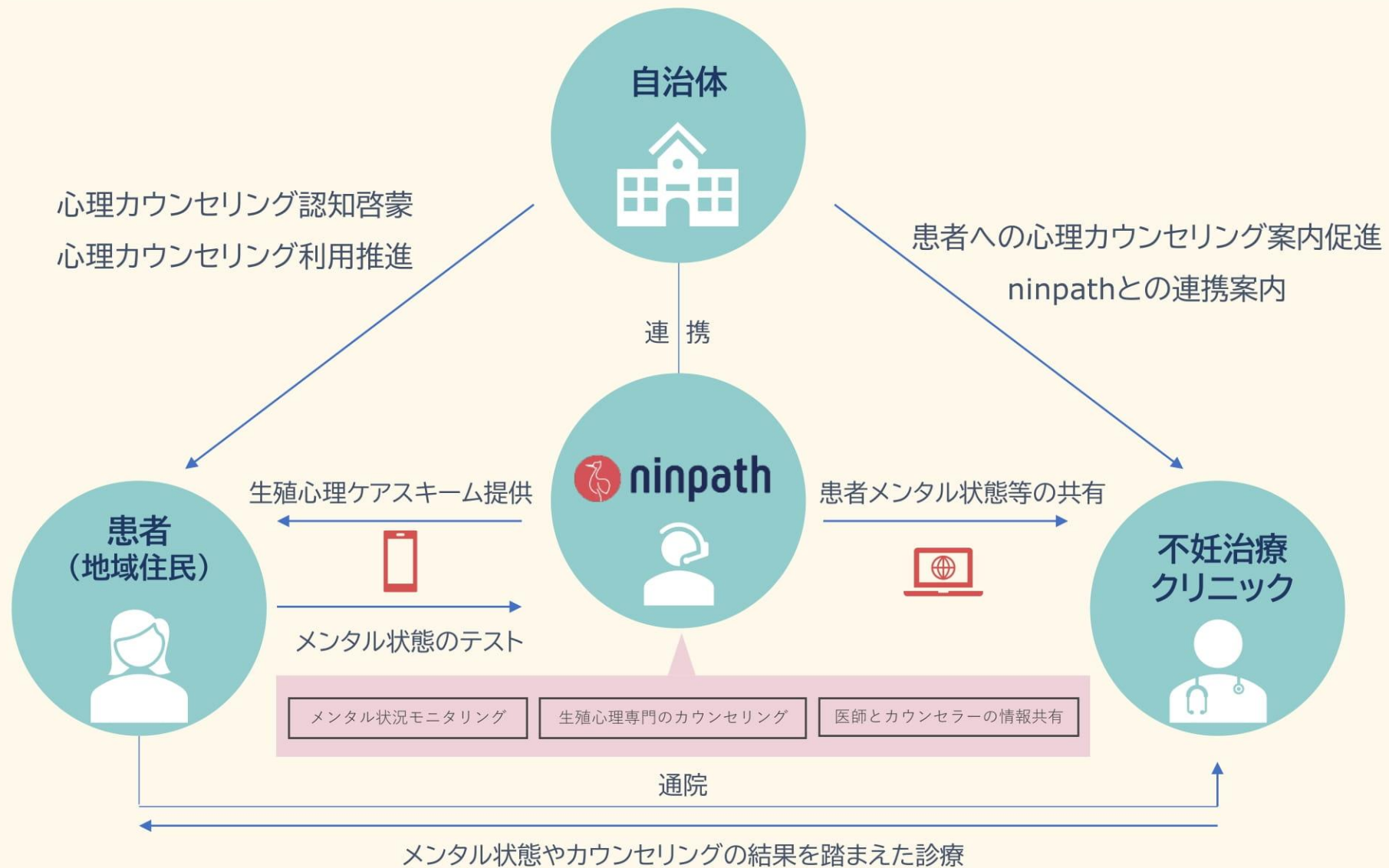
生殖医療ガイドライン2021 (<https://gemmed.ghc-j.com/?p=45011#i-2>)

不妊患者に対する 心理的支援体制のリソース不足 (支援が届いていない)



生殖心理カウンセラーは
日本全国で81名のみ

生殖心理カウンセラーが
県内に **全くいない：40%**



ご連携いただける自治体様募集中

現状課題		<ul style="list-style-type: none"> 不妊治療が身近になる中、高度不妊治療の初期段階で軽度以上のうつ症状がある女性が約半数に上る 不妊治療との両立が困難であることを理由に離職する人は35%にもなる 	
アクティビティ		<ol style="list-style-type: none"> 医療機関向け心理ケア連携システムの構築 住民向け不妊治療中の心理ケアサービス提供 	
アウトプット		<ol style="list-style-type: none"> 自治体内の不妊治療実施医療機関での、クリニック通院患者の心理ケア代行数 本事業の心理ケア利用者数 	
アウトカム	初期 (R4)	<ul style="list-style-type: none"> カウンセリングを受けたことで不妊治療等に対する気持ちが前向きになった方の増加(半数以上) 離職を考えていた、または離職中の利用者のうち、就業に対する意欲が改善した方の増加 (半数以上) 	WHO-HPQプレゼンティズムのスコア カウンセリング利用前と比較して1ヶ月後のスコアが増加したユーザの割合 25%
	中期 (R5-7)	<ul style="list-style-type: none"> カウンセリングを受けて、治療や治療以外の選択肢について可能なアクションをする方の増加(半数以上) カウンセリングを受けて、就業の継続や求職活動を実施する方の増加(半数以上) 	WHO-HPQプレゼンティズムのスコア カウンセリング利用前と比較して3ヶ月後のスコアが増加したユーザの割合 50%
	長期 (R8~)	<ul style="list-style-type: none"> 取り組み地域での、納得感を持って治療選択ができている方の増加(意図しない治療中断の減少) 取り組み地域での、不妊治療を理由とした離職率の低下 	WHO-HPQプレゼンティズムのスコア カウンセリング利用前と比較して3ヶ月後のスコアが増加したユーザの割合 70%
インパクト		<ul style="list-style-type: none"> 不妊治療が就業活動・女性のウェルビーイングのハンディキャップにならない社会の実現 	

成果指標

本事業期間内における成果指標

- ・ 心理ケア利用者数
- ・ カウンセリング後の不妊治療等に対する気持ちが前向きになった方の数
- ・ 離職を検討、または離職者の利用者のうち、就業に対する意欲が改善した方の数

測定方法

参加者を対象として、カウンセリング実施前後にアンケート調査を実施し、成果指標に対する前後比較を行う。

なお、調査については、就業状況以外を含めて異なる属性でも回答が可能な調査内容でのアンケート設計を行い、集計時点で属性をどこまで細かく分解するかを決定する。

- ・ 就業中の女性：治療と仕事を両立することに対する気持ちの変容
- ・ 離職中の女性：再就業に対する意欲の変容

など

実施事項			2022年						2023年			
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 医療機関 向け心理ケア 連携システム 構築	1.1 実証先の開拓	ロングリスト作成・ アプローチ実施	▶									
	1.2 連携管理WEB サイトの構築	デザイン・コーディン グ	▶									
	1.3 医療機関への説 明会の実施	資料作成・準備	▶									
		説明会実施	▶									
2. 住民向け不 妊治療中の心 理ケアサービ ス提供	2.1 カウンセリング予 約サイト構築	デザイン・コーディン グ	▶									
	2.2 告知・啓発活動	LP・フライヤー作成	▶									
	2.3 カウンセリングの 提供	予約・実施管理			▶							
	2.4 成果測定	事前アンケート			▶							
		事後アンケート				▶						



子どもを望む、ひとりひとりの道しるべ

- **会社名** 株式会社 ninpath
- **代表者** 代表取締役 神田 大輔
- **住所** 東京都港区新橋 1-12-9 7F
- **設立** 2020年3月
- **沿革**
2019 年より ninpath を開発
2020 年 3 月 株式会社 ninpath 創業、Web アプリ版を提供開始
2020 年 12 月 Android 版、iOS 版を提供開始
- **サービス** 『不妊治療可視化アプリ』 - 不妊治療の治療記録・管理・比較
『キャリア両立支援』 - 不妊治療と両立を支援するHRサービス

【お問い合わせ窓口】 ninpath運営事務局 info@ninpath.co.jp

15.

フェムテックを活用した企業・自治体の行動変容を促す
「伴走型アクティブラーニング・プログラム」実証事業
～gender learning innovation～
(代表団体：株式会社陽と人)

フェムテックを活用した企業・自治体の行動変容を促す
「伴走型アクティブラーニング・プログラム」実証事業

～gender learning innovation～

株式会社陽と人（ひとびと）【福島県国見町】
(デリケートゾーンケアブランド『明日 わたしは柿の木にのぼる』)

株式会社ライフサカス【群馬県前橋市】
(フェムケアメディア『UMU (ウム)』)

【参考】 株式会社陽と人（代表団体）について

株式会社 陽と人が 目指す社会

しあわせ・笑顔・
豊かさの循環



柿にまつわる古来の知恵に着目した、デリケートゾーンのケアブランド



心も、カラダも、生き方も、
 これまで歩んできた道のりが、
 今のわたしを構成している。
 わたしが選んだものすべてが、
 未来のわたしをつくっていく。
 人生は選択が繰り返されて、
 いつも「正解」なんて存在するわけではない。
 失敗だって、愛嬌。
 つまずいたら、立ち上がればいい。
 疲れてしまったり、休めばいい。
 どんな時も、わたしらしくして、
 わたしはわたしを、愛しつづけていたい。
 自然体でいられるれば、
 毎日を笑顔で過ごせるから、
 前を向いて、空を見上げて、
 木にのぼる自由が、わたしにはある。

「明日 わたしは柿の木にのぼる」は、柿にまつわる古来の知恵に着目したデリケートゾーンケアブランドです。福島県国見町のあんぼ柿製造工程で廃棄されていた柿の皮から抽出した成分を活用することで、地域の持続的な発展も目指しています。

寝不足、不規則な食生活、疲労、免疫力の低下など、私たちの生活の乱れによって、デリケートゾーンの菌のバランスが崩れ、それがおりものの異常やかゆみなど、デリケートゾーンに症状としてあらわれます。そのため、デリケートゾーンは「自分の心とカラダを知るバロメーター」になります。

1日10秒でもデリケートゾーンケアを通して、全ての女性がご自身をいたわるきっかけになりますように。



【はたらく女性の心と身体FACT BOOK】

主な目次

- ・常にゆらぐ、女性のライフサイクル
 - ・生理と排卵のしくみって？
 - ・生理の負担を軽減するためにできること
 - ・生理前にイライラ。PMSかも？
- COLUMN：「未病」にアプローチする、漢方って？
- ・生理がつらい！月経困難症とは？
 - ・男女ともに他人事じゃない。不妊症って？
 - ・仕事との両立が困難な不妊治療
 - ・心身が変化する妊娠中の過ごし方
- COLUMN：妊娠中はがんばらなくていい。
- ・珍しくはない、流産・死産のはなし
 - ・どうなっているの？日本の出産
 - ・出産による会陰の傷を予防するために
- COLUMN：「オキシトシンで産む」とは？
- ・予備軍も多い。産後うつとは？
 - ・尿漏れが気になる……
 - ・予防はできる！子宮頸がんのこと
 - ・身近な病気、女性特有のがんを知る
 - ・誰にでもやってくる、更年期とは？
 - ・なかなか人に話せない、デリケートゾーンのこと

【企業・自治体での研修・講演】

講座対象者	講座内容（例）
役員向け講座 ※役員はほぼ男性だが従業員は女性が多いため、福利厚生の充実や企業価値向上、イノベーションの創出のために講座を実施	はたらく女性の心と身体のFACTを知って企業のあり方を考える 女性活躍とイノベーション・企業経営上の必要性を説明した上で、女性特有の健康課題がなぜそこに關わるのかを理解するための講座
女性従業員向け講座 ※美容系の女性従業員が多い会社であり、女性特有の健康課題を踏まえたライフキャリアの支援が会社として求められるために講座を実施	働く女性のこころとからだ講座～女性が自身の身体のしくみを知って、ライフキャリアを選択できるようになろう～ 女性特有の健康課題を深く知り、セルフケアやフェムテックの活用などでより快適なライフキャリアを送ることができるようになるための講座（女性の健康課題とセルフケアに特化）
顧客向け講座 ※女性の顧客が多いため、集客の一環として女性特有の健康課題に関する講座を開催	生理から更年期まで。はたらく女性の身体のこと 女性のライフサイクルや代表的な健康課題についての基本と「明日 わたしは柿の木にのぼる」を使ったセルフケアについて理解する講座
地域住民や地元企業向けの女性活躍講座	女性活躍推進 ～自分らしく働くために～ 住民や地元企業が本当の女性活躍を考えるきっかけにするための講座



【参考】 株式会社ライフサカス（参加団体）について



ライフサカスは
「働く人のライフステージと健康」を支える会社です。

当社は、「働く人がライフステージで抱える生きづらさ」に向き合い、「みんながヘルスケアの正しい知識を持てる環境づくり」を進めることで、社会全体のウェルビーイング向上に資する事業を展開しています。以下3つの領域で、全国各地の企業・行政・学校などに伴走し、一緒に活動しています。



Lecture

研修・講演事業



Consulting

コンサルティング・
アドバイザリー事業



Media

Webメディア・オンライン
コミュニティ事業

- 【関連実績】 ●令和3年度・群馬県男女共同参画センター主催「エンパワメント・ユースカレッジ」にて、アクティブラーニング・プログラムの開発、ファシリテーション
- 令和1年度～現在 (独) 中小企業基盤整備機構にて、ヘルスケア人材育成プログラムの開発と伴走支援
 - 平成31年度 デジタルビジネスイノベーションセンター「働く女性の健康問題P」にアドバイザリー伴走支援
 - 中小機構・中小企業アドバイザー、NPO女性医療ネットワーク理事、群馬県行財政改革・評価推進委員 など

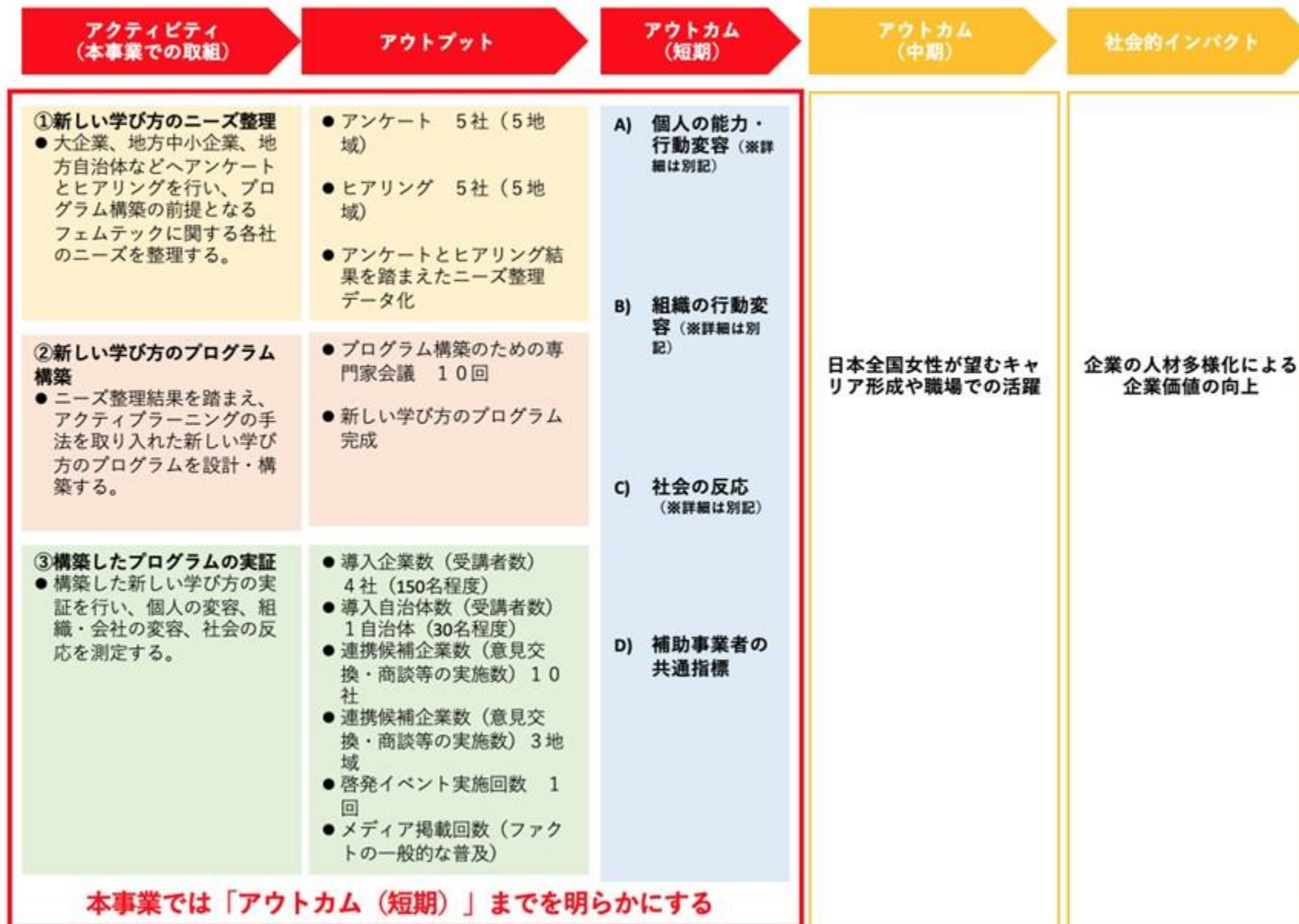
1 事業テーマ・背景・目的について

- 女性の健康課題に問題意識が薄い場合、無理にセミナー等で啓発しても具体的な能力向上や行動変容には繋がらないことが多い。女性の健康課題に問題意識が薄いことについては、時代背景や社会背景が異なる世代・地域で認識にギャップが生じるのは当然であろう。
- このような中、社会を分断せず、対立構造を生み出さない形で「問題を自ら発見し」、「問題を個人ではなく組織・社会の問題として昇華させ」、「みんなで解決する問題として行動する」というサイクルをつくっていきたいと考えている。
- そのためには、**単にセミナーにとどまらないアクティブラーニングの手法を導入した「新しい学び方」を取り入れ、個社・地域の課題や状況に対応する形で改善を行なっていく伴走型のプログラム開発が必要**である。これにより、能力向上や行動変容につながる成果を適切に把握し、当該成果を広く社会へ発表していくことが必要だと考えている。

以上より、本事業では、最新のアクティブラーニングの手法を取り入れ、フェムテックを活用して、企業・自治体の**行動変容を促す「伴走型アクティブラーニング・プログラム」を複数パターン開発・実証**する。

本事業では、女性の健康課題について**「個人の能力向上」と「組織の行動変容」**そして**「社会の変化の兆し」へ繋げる**ことを目的とする。

2 事業目標（ロジックモデル）について



3 事業内容・成果指標・測定方法について

- 昨年度ニーズがあることが判明した4つの類型（経営マネジメント編、福利厚生編、女性従業員編、イノベーション編）について、実証を行う。
- 「**経営マネジメント編**」は、経営層・管理職が女性の健康課題を自分ごと化し現場との認識のギャップを捉え直し、**ボードメンバーのダイバーシティ確保や企業経営における女性活躍を捉え直すプログラム**。
- 「**人事・福利厚生編**」は、会社や自治体の制度として、女性の健康課題をいかに自社・自地域で解決できるか新たな福利厚生のルールメイキングを行うプログラム。
- 「**女性従業員編**」は、女性従業員が自らの健康課題を深く捉え直し、**医療へのアクセスや日常のセルフケアを個人にあった形で改善していくプログラム**。実証では特にニーズのあることがアンケートで判明している「生理」及び「更年期」の不調に特化する。
- 「**イノベーション編**」は、女性の健康課題を理解した上で、当該知見をもとに、いかに**自社の資源や地域の資源を活用して新商品・新サービス開発など新規事業を創出できるかを越境学習を通して学ぶプログラム**。
- 成果指標は、ループリック等をもとに「個人の能力・行動変容」、「組織の行動変容」、「社会の反応」、「補助事業者の共通指標」の4つをアンケート・ヒアリング等を通じて測定する。

経営マネジメント編

- 経営層・管理職が女性の健康課題を自分ごと化し現場との認識のギャップを捉え直し、ボードメンバーのダイバーシティ確保や企業経営における女性活躍を捉え直すプログラム。

人事・福利厚生編

- 会社や自治体の制度として、女性の健康課題をいかに自社・自地域で解決できるか新たな福利厚生のルールメイキングを行うプログラム。

女性従業員編

- 女性従業員が自らの健康課題を深く捉え直し、医療へのアクセスや日常のセルフケアを個人にあった形で改善していくプログラム。
- 実証では特にニーズのある「生理」「更年期」の不調に特化。

イノベーション編

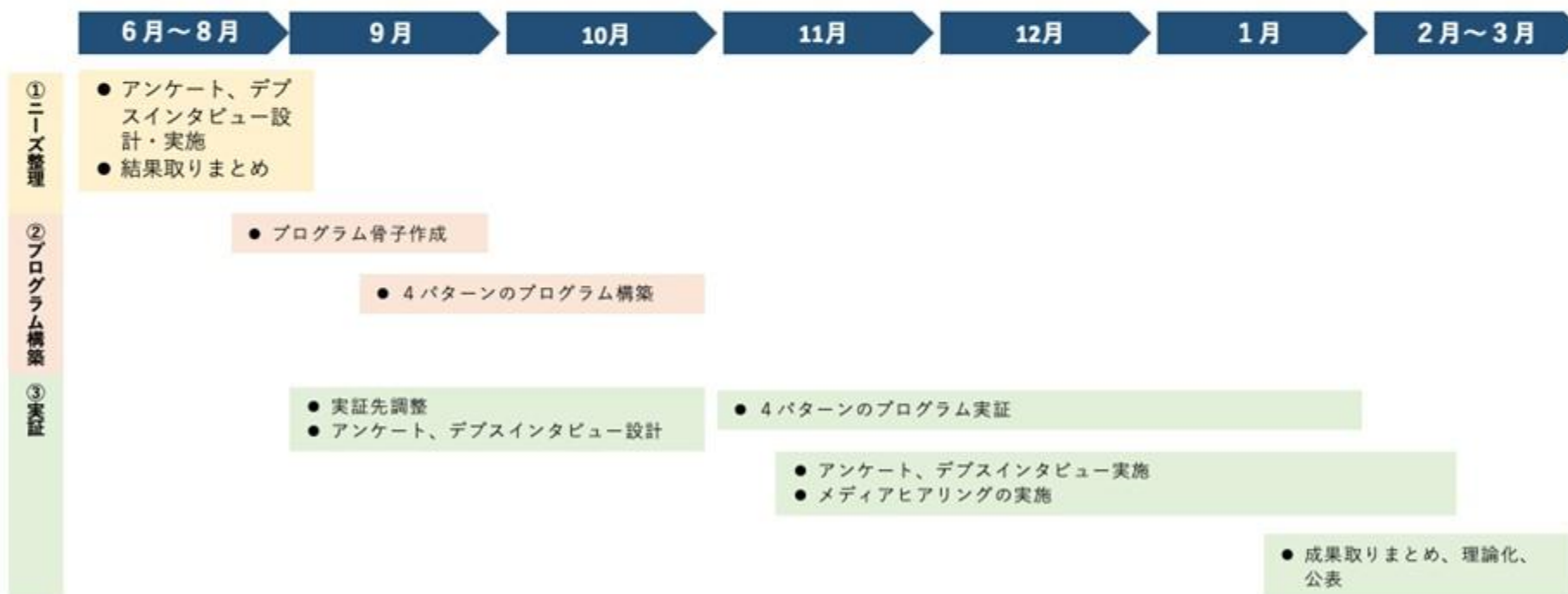
- 女性の健康課題を理解した上で、当該知見をもとに、いかに自社の資源や地域の資源を活用して新商品・新サービス開発など新規事業を創出できるかを越境学習を通して学ぶプログラム。

4 実施体制・スケジュールについて

【実施体制】



【スケジュール】



5 ご連絡お待ちしております

経営マネジメント編

- 経営層・管理職が女性の健康課題を自分ごと化し現場との認識のギャップを捉え直し、ボードメンバーのダイバーシティ確保や企業経営における女性活躍を捉え直すプログラム。

人事・福利厚生編

- 会社や自治体の制度として、女性の健康課題をいかに自社・自地域で解決できるか新たな福利厚生のルールメイキングを行うプログラム。

女性従業員編

- 女性従業員が自らの健康課題を深く捉え直し、医療へのアクセスや日常のセルフケアを個人にあった形で改善していくプログラム。
- 実証では特にニーズのある「生理」「更年期」の不調に特化。

イノベーション編

- 女性の健康課題を理解した上で、当該知見をもとに、いかに自社の資源や地域の資源を活用して新商品・新サービス開発など新規事業を創出できるかを越境学習を通して学ぶプログラム。

**実証にご関心がございましたら
まずは意見交換からでもご連絡お待ちしております。**

info@hito-bito.jp

16.

アバターを活用した専門家による働く女性の
ウェルビーイング向上のためのサポート実証事業
(代表団体：株式会社BRING)

アバターを活用した専門家による
働く女性のウェルビーイング向上のための
サポート実証事業





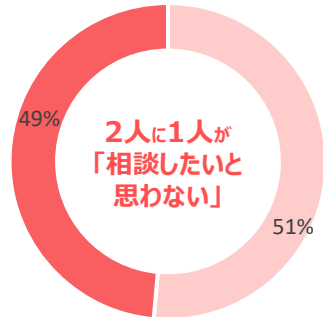
事業テーマ

“アバター”というテクノロジーを活用し、
働く女性が助産師に
“フラット”に相談ができる環境を提供する

事業設計の背景① ～相談のハードル～

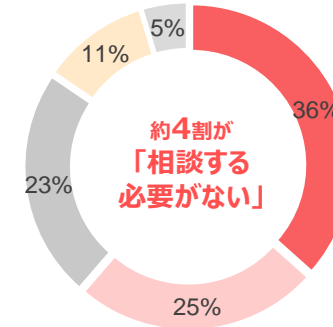
※アンケート：『働く女性に関するWEB調査』より
【調査対象】全国の事業会社で働く女性20歳～65歳を対象(N=400)
【調査期間】2022年3月23日～3月30日
【調査方法】ネットリサーチ(調査機関:株式会社ネオマーケティング)

女性特有の健康課題や女性に多く現れる症状について、産業医(助産師や保健師など有資格者も含む)など相談できる相手がいたとしたら相談したいと思いますか。



- 相談したいと思う・やや相談したいと思う
- あまり相談したいと思わない・相談したいと思わない

「あまり相談したいと思わない」「相談したいと思わない」と回答した理由は何ですか。



- 必要ないと感じている
- 理由なし
- その他
- プライバシー
- 恥ずかしい

アンケートの結果

約半数が「相談したいと思わない」

そして、その理由の約4割が「相談する必要性を感じない」「相談するような症状がない」と回答

||

専門家への相談は、症状がある場合にのみ行くべきだというイメージ

まずは、専門家に相談することへのハードルを下げることが重要

>>Technology

アバター

■アバターの有用性①:秘匿性

ビデオ通話のような人ならではの温度感がありつつも、自身の姿が相手から見えず、秘匿性の高い環境を作りだす。
プライバシーが担保されているため、相手からの見られ方を気にすることなく、気軽な相談から深刻な悩みまで、話しやすくなるという効果が期待できる。

■アバターの有用性②:印象の操作

自身の姿を隠すだけでなく、見た目を好印象なものに変えることもできる。
人と人がコミュニケーションを図る際、視覚情報が55%という割合で影響を与えていることは心理学上でも示されている(メラビアンの法則)ため、
相手に好印象を与えるアバターを活用すれば、より安心感や親しみのある相談が可能となる。



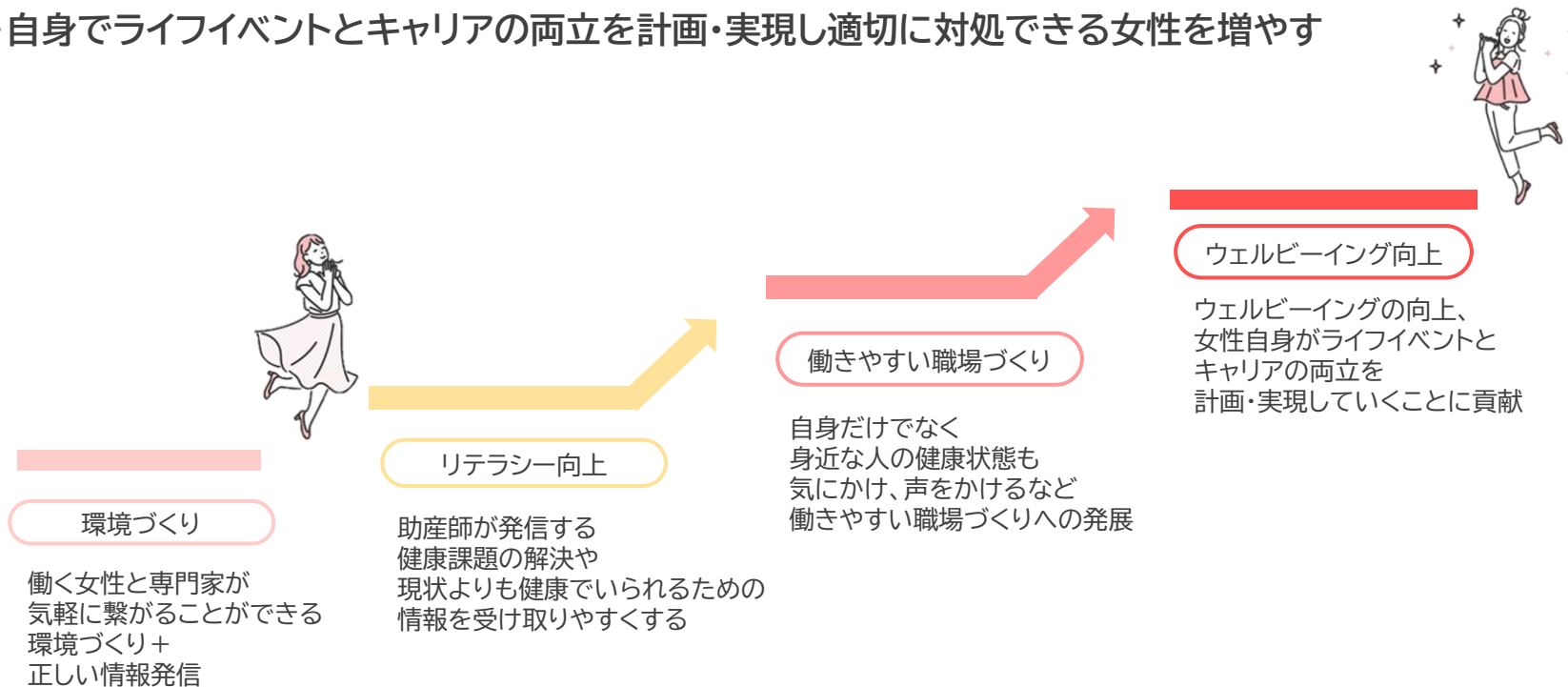
事業目的

目指す個人の変容

- ・働く女性達が自身の身体に関心を持ち続け、健康課題に大きく悩まされることなく、長く働き続ける
- ・自分自身で本当に必要な情報やケアを取捨選択できる力をつける

目指す社会の変容

- ・自身でライフイベントとキャリアの両立を計画・実現し適切に対処できる女性を増やす



01.

アバターを活用し、
女性達の一生涯に寄り添う医療・保健の専門家である助産師と
気軽にコミュニケーションできるきっかけを作り
働く女性のウェルビーイングの実現に繋げる

02.

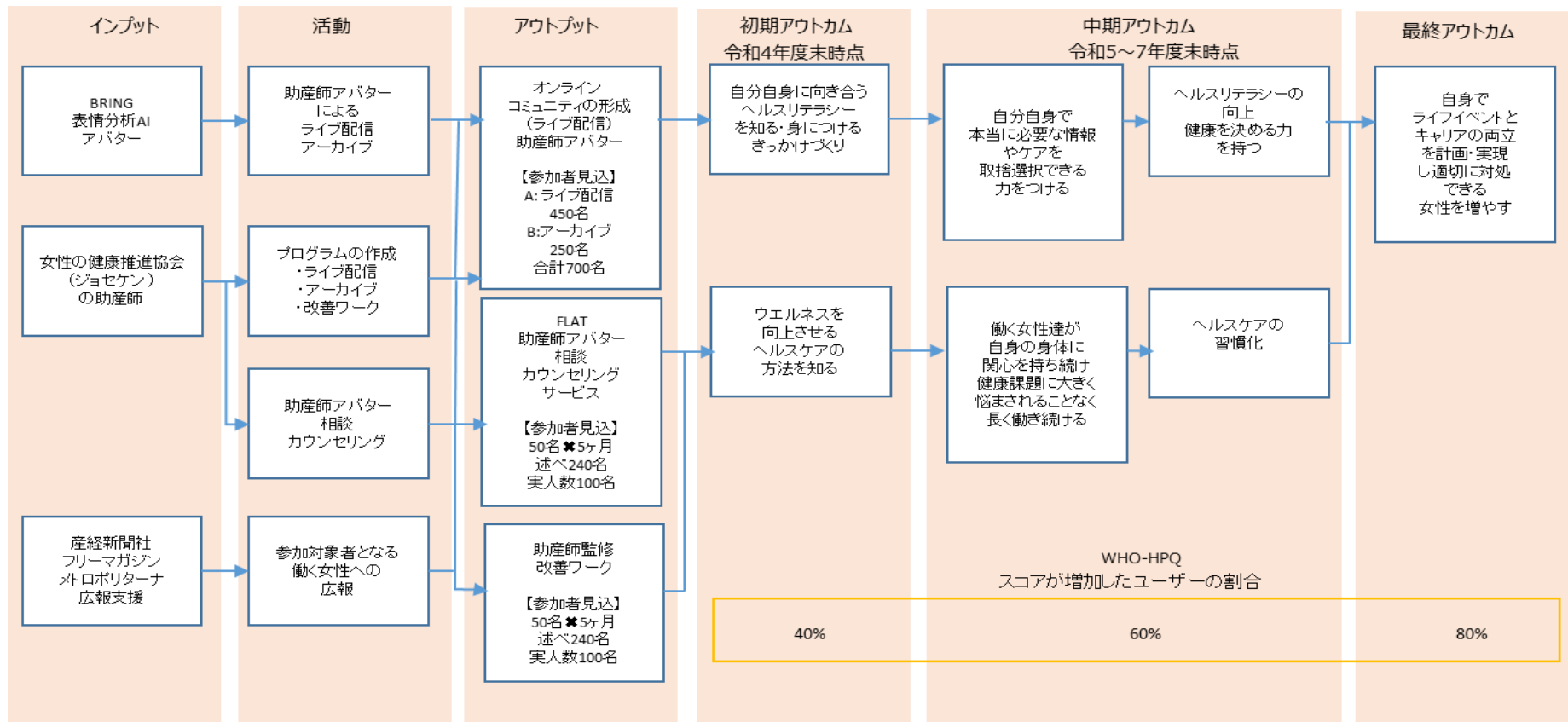
健康課題を感じない世代・時期からの
将来的な予防行動へのつながりを目指した
アバター助産師によるオンラインコミュニティの形成

03.

女性特有の健康課題、デリケートな内容等の課題を
秘匿性があるアバターにより、
気軽に相談できることによる早期介入、即時性ある課題解決

事業目標 ②

中長期ロジックモデル



実施内容① ～提供コンテンツ～

アバターカウンセリング

アバターの活用で、少し言いづらい悩みや顔出しでは恥ずかしい内容も安心してご相談いただけます。

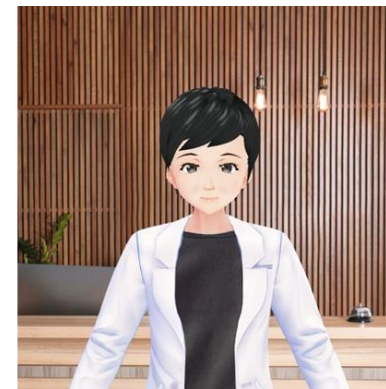


相談者

双方アバターの見え方となり会話

プライバシー性を保った状態のため、
本音が言いやすい状態での対話をオンラインで実現

アバターの有用性を検証



助産師

セミナー/ライブ配信

女性の健康に関するセミナーや、ライフステージに応じた体調管理など、知っておくと役に立つ情報を助産師からお話します。ご自身では何の症状も感じていなくても、何か不調を抱える友人・同僚や将来の自分のために役立つ情報をお届けします。まずは自身の身体に関心をもつ習慣作りから始めます。

個人向けワーク

それぞれの悩みや体にあったワークをご提供します。女性特有の健康課題に限らず、肩こりや冷え性改善のワーク等もご紹介します。疲れた身体を少しでもラクにするために、気軽に取り組んでいただけるものを集め、日常的に意識して改善に取り組んでもらえるよう促します。

実施内容② ～成果指標・測定方法～

成果指標

■セミナー・ライブ配信

- ・ヘルスリテラシーが向上した参加者の割合
- ・HLS-14(14-item health literacy scale)

■アバター相談

- ・HLS-14(14-item health literacy scale)
- ・GHQ-12(新納ら, 2001)

+ 共通指標①(WHO Health and Work Performance Questionnaireの設問B9-11)・共通指標②

成果測定の方法

■セミナー・ライブ配信

事前アンケートと事後アンケートを実施。

■個人向けアバター相談カウンセリング

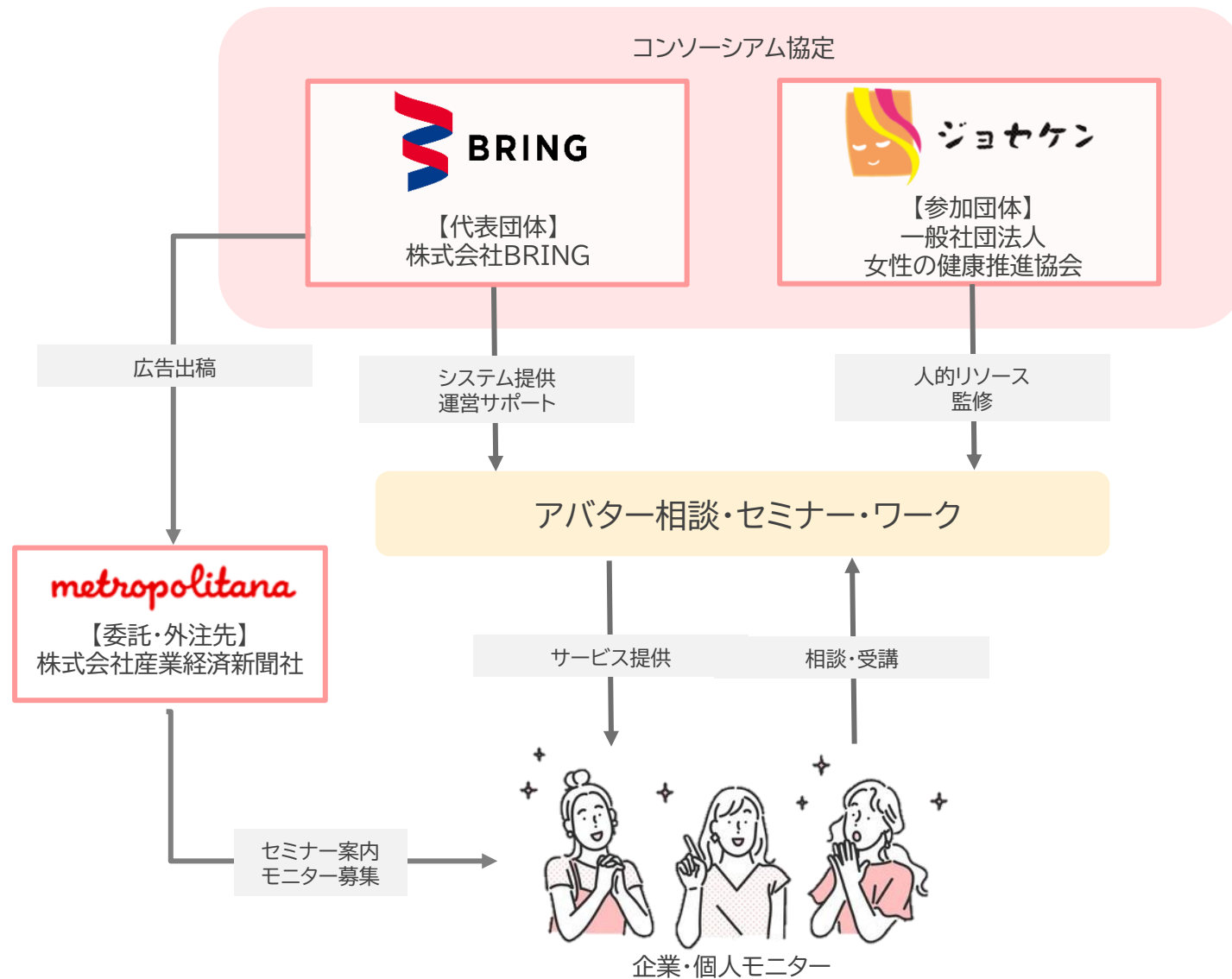
・事前アンケートと事後アンケートを実施。

・アバターの有用性を測るために、4パターンでの比較(無作為割付)・検証を行う。

【検証のパターン】

- ①(相談者)アバター ⇔ (被相談者)アバター
- ②(相談者)アバター ⇔ (被相談者)生映像
- ③(相談者)生映像 ⇔ (被相談者)アバター
- ④(相談者)生映像 ⇔ (被相談者)生映像

● 実施体制



実施スケジュール

			2022年						2023年			
実施事項			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.個人向け オンラインコミュニティ (ライブ配信・アーカイブ)	1-1実証参加者募集	内容・デザイン準備	→								分析 報告書 作成	
		個人参加 メトロポリターナ等				1回	2回目					
	1-2セミナー実施	準備(資料・受付)	→									
		ライブ大規模配信 (100名規模)				9月		11月				
		ライブ配信 (50名規模)			月1回*2回		月2回*3回					
		アーカイブ			→							
	1-3成果測定	事前アンケート (参加募集時)		→								
事後アンケート &相談カウンセリング申				→								
2.個人向け アバター相談カウンセリングA	2-1助産師オリエン		→									
	2-2実施			→								
	2-3成果測定	事前及び事後アンケート			→							
3.個人向け アバター相談カウンセリングB	3-1実施	助産師オリエンは2-1で兼ねる			→							
	3-2成果測定	事前及び事後アンケート			→							
4.個人向け 改善ワーク	4-1内容準備		→									
	4-2実施	効果測定は、上記2.3で兼ねる			→							

(事業者プロフィール)



株式会社BRING

東京都中央区銀座5丁目12番5号 白鶴ビルディング2F

1975年3月3日設立

アイデア×テクノロジーの力で、世の中に好循環を生み出す循環テクノロジーカンパニー

- ・小売店・量販店の店頭における課題発見から企画・運用までのトータルサポート
- ・販売促進のためのプロモーション企画、SNSマーケティング
- ・業界不問のDX化推進サポート
- ・遠隔接客システム「バタラクsignage」提供
- ・アバターコミュニケーションサービス「バタラクcloud」提供



一般社団法人女性の健康推進協会

東京都中央区日本橋小網町18-16 #705

2020年12月15日設立

一般社団法人女性の健康推進協会(ジョセケン)は助産師による女性の健康増進を目的とし設立しました。

- ・ジョセケン ウーマンウエルネス プログラム(JWWP)の提供
- ・女性の健康経営や健康分野における助産師によるアセスメント及びコンサルティング
- ・助産師、看護師等による相談業務、アドバイザー、講師コーディネート等
- ・助産師を主体としたコミュニティ運営
- ・女性の健康分野における助産師による市場調査及びその分析、研究、開発



実証実験にご興味のある企業様、
協業できそうな企業様がいらっしゃいましたら是非ご連絡ください！



株式会社BRING スタートアップ推進課



vataraku@bring-corp.jp



03-6260-6916



17.

身体症状と音声の分析を用いたヘルスケアと
キャリア支援を繋ぐ仕組みづくり

(代表団体：一般社団法人ヘルスサポーターズイノベーション)



一般社団法人
ヘルスサポーターズイノベーション

身体症状と音声の分析を用いた ヘルスケアとキャリア支援を繋ぐ 仕組みづくり

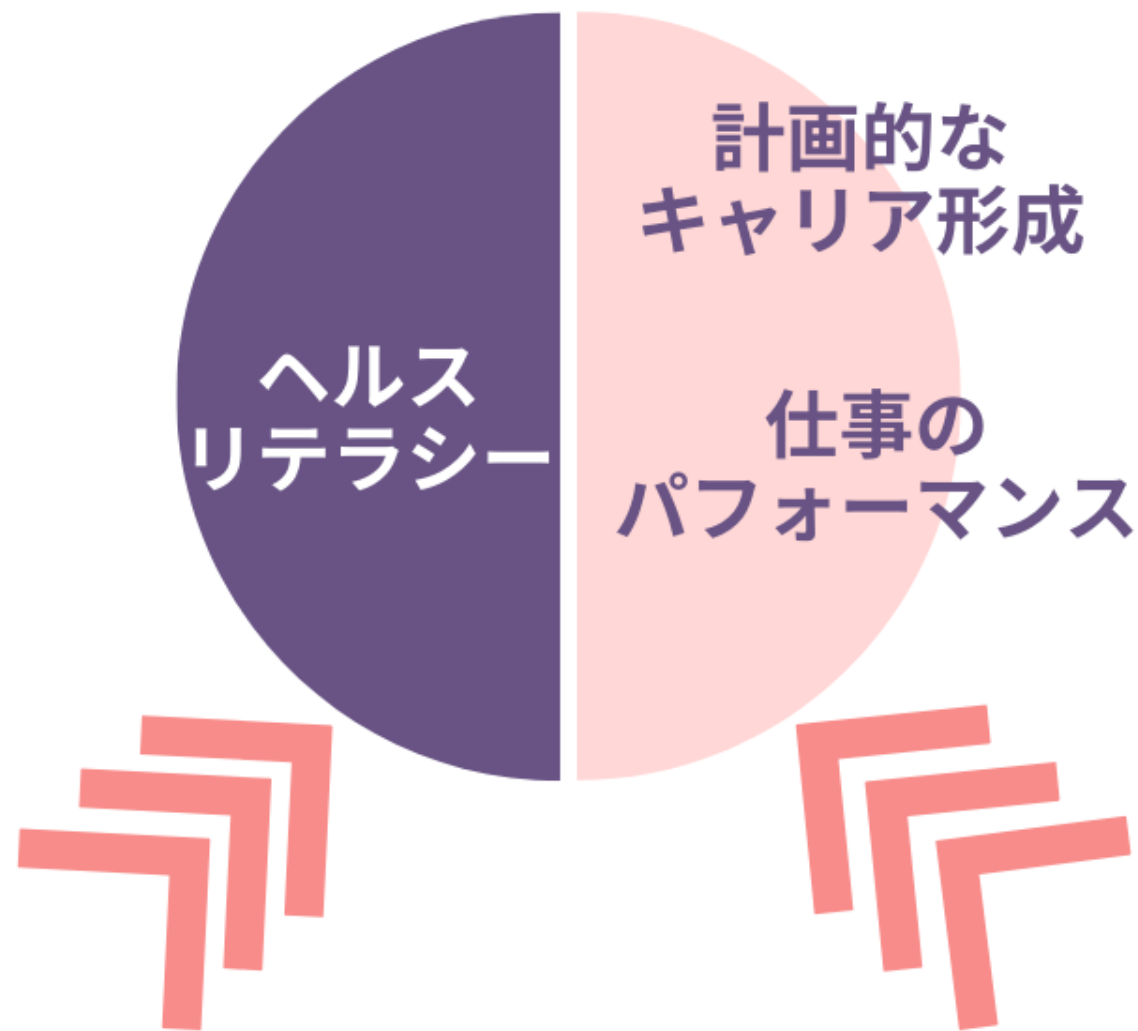


CHILWEL

いつでも専門家に聞ける安心を

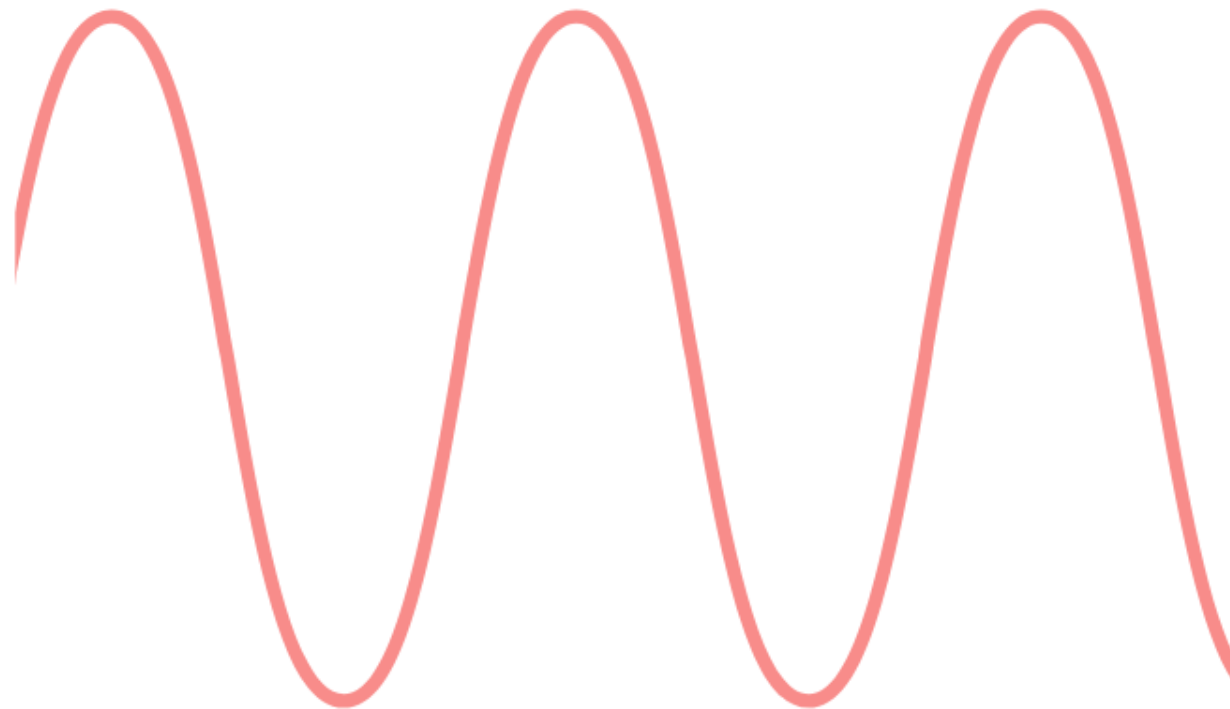
経済産業省 令和4年度
フェムテック等サポートサービス実証事業

背景



情報がつながっていない

背景



メンタル不調に
気づきにくい

目的

健康支援とキャリア支援
を一体的に提供

メンタル不調に
早期に気づき
予防的行動をとる

ライフステージ
ごとに必要な知識
を得る

心&身体
セルフケアを
身に付ける

専門家と
気軽に
1ON1

働く女性のライフとキャリアの両立



Well-being の実現

実施内容

既存サービス【CHILWEL】の改修

<https://chilwel.jp/>

家族の妊娠・育児
に寄りそうオンラインサービス

助産師・理学療法士・公認心理師
などヘルスケアの専門家が活躍



CHILWEL

受け放題
オンラインサロン
(セミナー等)

コラム
動画
お役立ち情報

ビデオ会議
システムによる
1on1 (相談)

実施内容

既存サービス【CHILWEL】の改修

before		after
産前産後の家族	対象	性別、世代を問わず
ヘルスケア	専門家	ヘルスケア & <u>キャリア支援</u>
平日午前、土日	オンライン セミナー	平日午前、土日 & <u>平日昼休み</u> アーカイブ を視聴しやすく
オンライン相談	相談	オンライン相談 & <u>チャット相談</u>
相談+セミナー	機能	相談+セミナー & <u>音声計測（メンタル）</u>

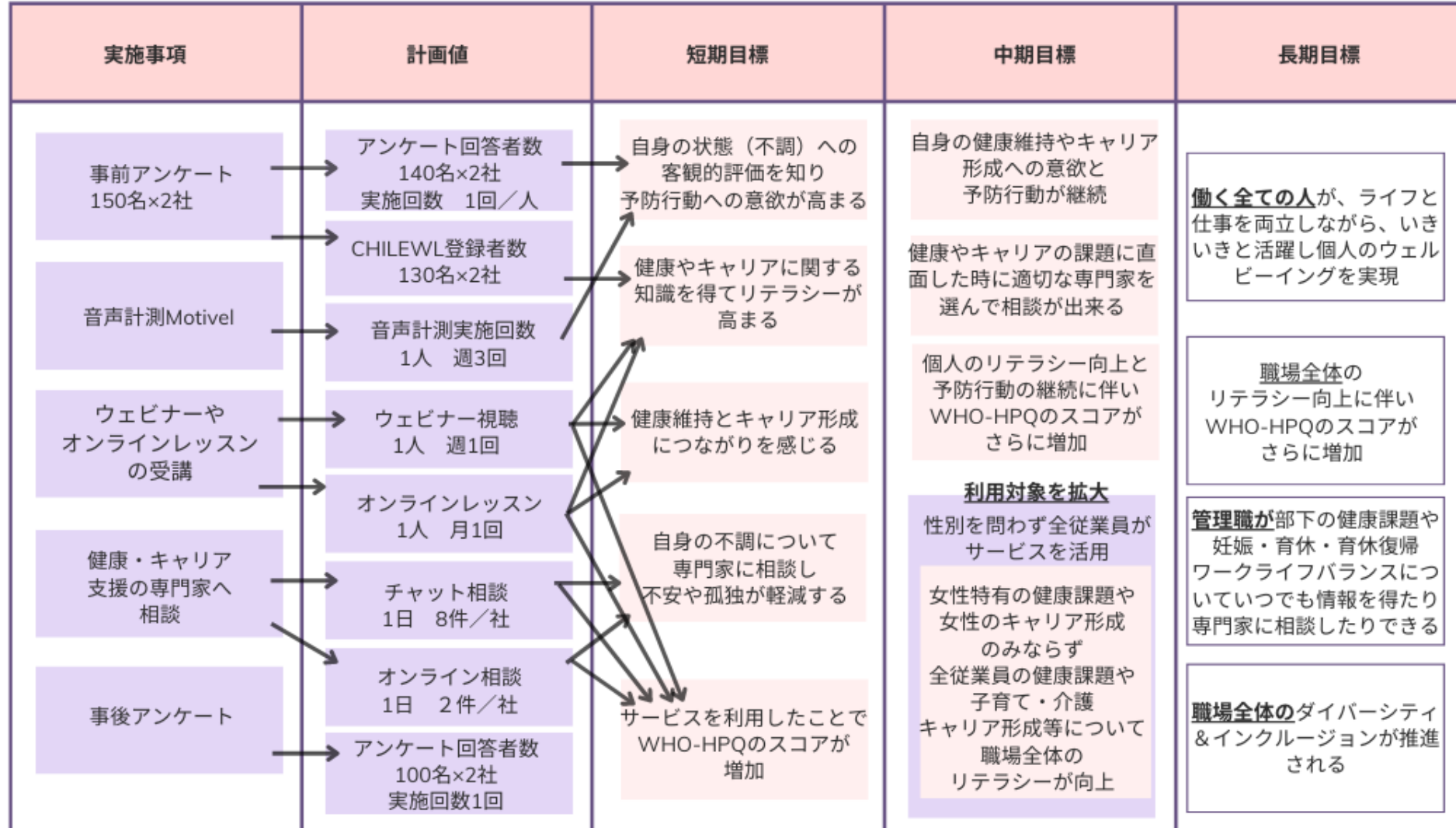
実施内容



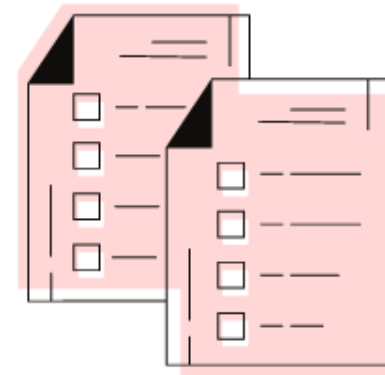
改修後の全体イメージ



本実証事業のロジックモデル



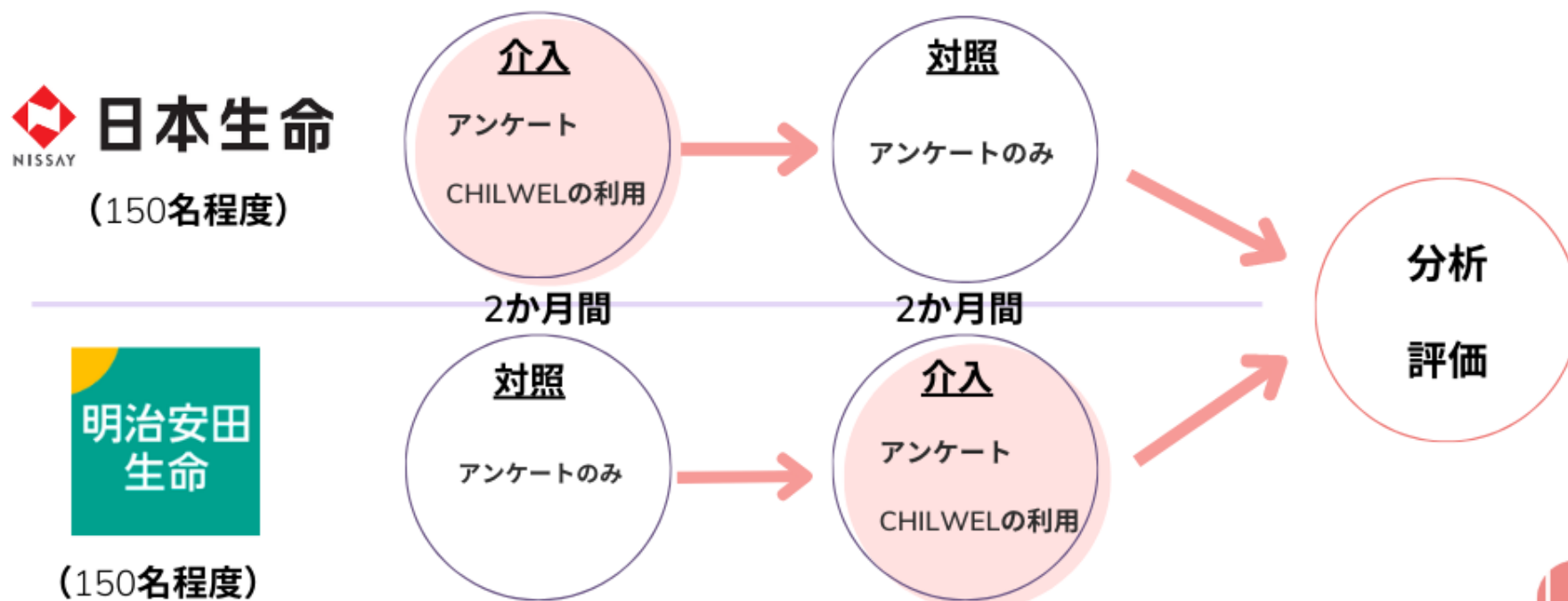
調査方法と対象



方法：クロスオーバー比較試験

対象者を介入と対照グループに分け、介入を行った後、一旦介入を中止（数週間から4週間）し、介入の有無を交換して経過を見る

”現在、働いている女性”を対象に実施



効果測定方法

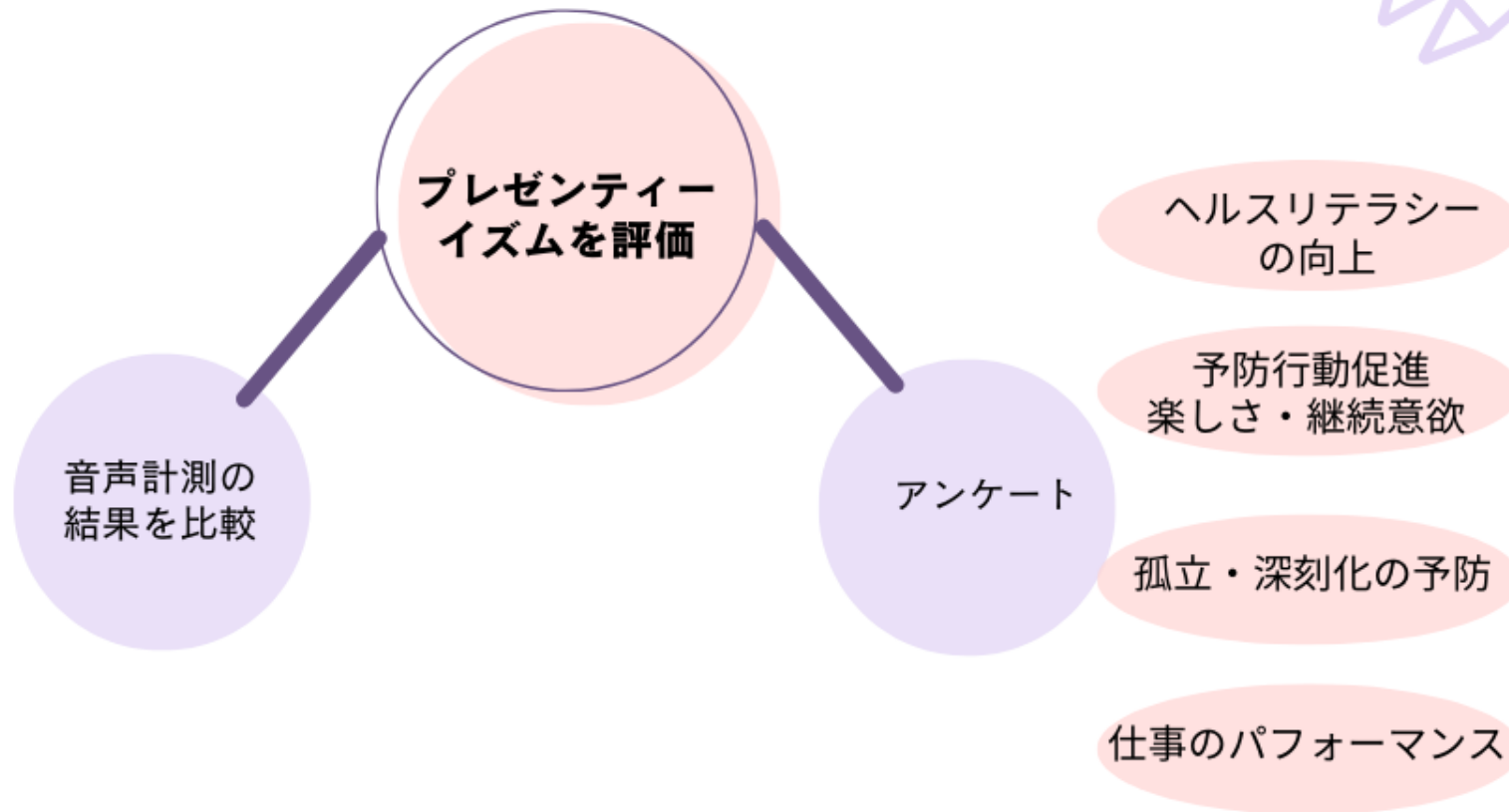
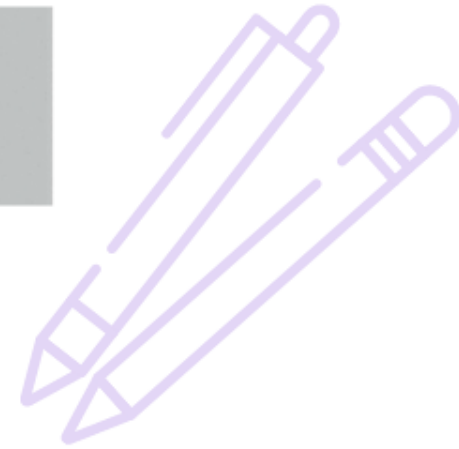
佐賀大学医学部（母性看護学・助産学領域）および西九州大学（理学療法学専攻）とともに評価項目の設定と測定方法、結果の分析を行う



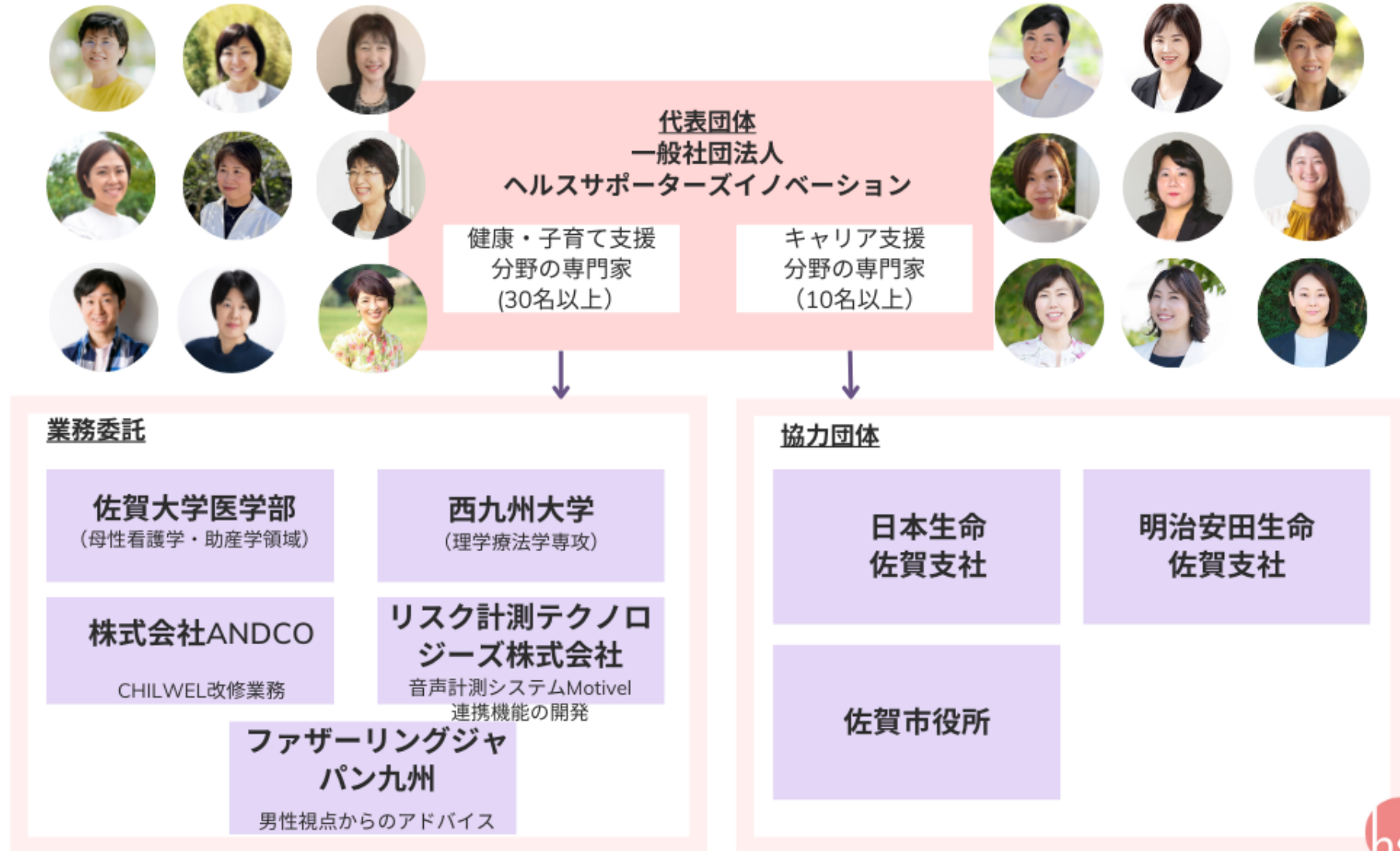
学校法人 永原学園



西九州大学



実施体制



実施スケジュール

	月									
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. CHILWELのシステム改修	●									
2. CHILWELアドバイザー向け 研修実施 【仕事との両立支援制度を知る】		●								
3. 企業向け事前アンケートの実施	●		●							
4. CHILWEの利用				●		●				
5. 企業向け事後アンケートの実施						●		●		

お問い合わせ先



一般社団法人
ヘルスサポーターズイノベーション

Mail contact@healthsupporters-i.com

Tel 0952-60-2152 (寺野)



CHILWEL

いつでも専門家に聞ける安心を

18.

運動後の爽快感が味わえる「次世代EMS」を活用した、
働く女性のメンタルヘルス・パフォーマンス向上事業
(代表団体：株式会社ポーラ・オルビスホールディングス)

令和4年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」

2022/7/21 キックオフミーティング
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス



運動後の爽快感が味わえる
「次世代EMS」を活用した、働く女性の
メンタルヘルス・パフォーマンス向上事業

C

mirco frc

POLA ORBIS GROUP

発見の先にこそ、ワクワクする謎がある。

「働く女性のメンタルヘルス」は危機的状況

精神疾患の増加

2002年～2017年で約1.6倍
(厚生労働省による調査)

PMSや更年期障害

女性特有のメンタル不調

コロナウイルスの影響

自粛生活で不安やストレス増大
(厚生労働省による調査)

女性の不安・うつ特性

女性の患者数は男性の約2倍

女性活躍推進に伴う負荷増

仕事の負荷や責任の増大
家事・育児・仕事のマルチタスク化





**PMS、更年期障害、ストレス、不安障害、うつ症状など
幅広いメンタルヘルス課題 に 高い改善効果**



脳作用物質の生成

脳のメンタルを司る部位に
作用する生体因子生成



ポジティブ記憶の上書き

脳血流の増加による
神経回路の新生



体から脳への

負のフィードバック遮断

筋肉の緊張緩和による体から
脳への負のフィードバック遮断

働き世代の女性が最も運動できていない



忙しく時間がない
めんどくさい

運動



働き世代の運動習慣※

(※1日30分以上の運動を週2回以上、1年以上継続)

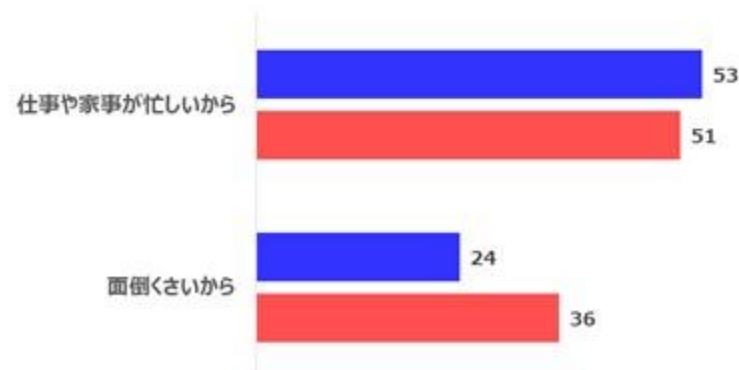


厚生労働省「令和元年 国民健康・栄養調査結果」より作成

働き世代の運動阻害要因TOP2

運動の阻害要因に対する回答者の割合 (%)

■ 男性 (20~50代: 計5,598名) ■ 女性 (20~50代: 計5,468名)



スポーツ庁「令和2年度 スポーツの実施状況等に関する世論調査」より作成

忙しく時間のない働く女性 でも

気軽に、効果的に、継続的に

運動のメンタルヘルス改善効果 が得られ

well-being を高めるソリューションの提供

「次世代EMS」

独自波形 × 低刺激電極

自宅 で、たった 15分

電気刺激特有の 不快な痛みもなく

まるで 十分に運動した後のような感覚

が味わえる次世代のEMS



株式会社おせっかい倶楽部 代表取締役
京都大学名誉教授 森谷敏夫
Ph.D., FACS, FISEK

働く女性 に対する「次世代EMS」の

(1) 科学的効果検証 及び **(2) 受容性検証**

↑
臨床試験

↑
デプスインタビュー

長期介入試験

(ランダム化比較試験)

<評価項目>

PMS、更年期、ストレス関連のメンタル症状
及びパフォーマンス・well-being指標

+

単回介入試験

(クロスオーバー比較試験)

<評価項目>

脳波計測・主観評価による各種感情
(爽快感、ストレス、集中、覚醒など)

コンソーシアム

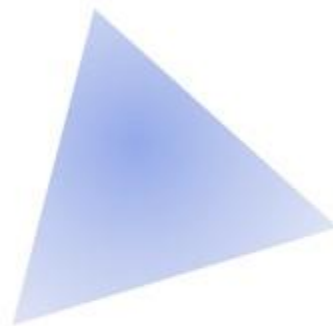


POLA ORBIS
HOLDINGS

- 全体統括・運営
- 臨床試験

おせっかい倶楽部[®]
人生100年時代の健康資産づくり

- 次世代EMS技術提供



POLA R&M
POLA CHEMICAL INDUSTRIES, INC.

- 臨床試験
- 測定機器提供

**女性医療専門医
(調整中)**

- 女性医療観点のアドバイザー

**上馬整形外科
クリニック**

- 医療サポート

実施事項		2022年						2023年		
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1. 臨床試験	1.1 試験の詳細な実施内容の策定	→								
	1.2 試験計画書の作成			→						
	1.3 倫理委員会の開催・承認取得			→						
	1.4 被験者募集・スクリーニング				→					
	1.5 介入前測定・評価				→					
	1.6 長期介入試験					→				
	1.7 介入後測定・評価							→		
	1.8 単回介入試験							→		
	1.9 データ解析								→	
2. デプスインタビュー	2.1 インタビュー実施							→		
	2.2 インタビュー結果まとめ・考察								→	

お問い合わせはこちら →



ありがとうございました。

C

mirC ? frC !

POLA ORBIS GROUP

発見の先にこそ、ワクワクする謎がある。

19.

女性活躍を推進するための生理用品設備設置と
コミュニケーションをデザインする教育事業
(代表団体：わたしの暮らし研究所株式会社)

女性活躍を推進するための生理用品設備設置と コミュニケーションをデザインする教育事業

2022.07.21



LAQDA
PROJECT

Powered by わたしの暮らし研究所株式会社

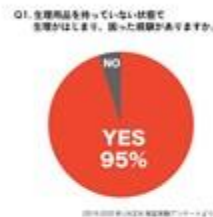
〒104-0061 東京都中央区銀座 1-22-11 銀座大竹ビジデンス 2F

2F Ginza Otake Residence, 1-22-11 Ginza, Chuo-ku, Tokyo 104-0061

事業テーマ・背景

弊社では、2019年から複数の企業において生理用品を設置する実証実験を実施。アナログなケースやスマホアプリ連動の筐体など、複数の躯体を使った実証実験を実施した結果、以下2点がわかった。

- ①生理用品の設備がオフィストイレにないことで困っている人が100%に近い状態で存在する



- ②生理用品の設置検討することは、企業内のコミュニケーションを活性化し「多様性に配慮できる合意形成システム」を構築できる素晴らしい機会である

どうすれば、“みんな”で考えられるようになるのか
—職場の生理用品設備の共創的解決に向けた検討—

Thinking about Menstruation, Regardless of Gender:
Co-creative Solutions for Sanitary Products in the Workplace in Japan

沢田 直美¹
Naomi Sawada¹

¹わたしの暮らし研究所株式会社
¹Research Institution of My Life

Abstract: 生理用品ディスペンサーというツールを通して、相互が入れ替わり不可能な立場関係にある当事者と非当事者のコミュニケーションがどうあるべきかを、複数の方法で検証した。使用者が当事者だけに限られる設備であっても、社会システムを変えなければ設置できないケースは多く、非当事者をどう巻き込むかが課題となる。当事者同士、また当事者と非当事者間のコミュニケーションについて、どのような関わり代、また枠組みがあり得るのかを研究した。

1. はじめに

今の私を支える大きな出来事として、日本のリアル主催の「IoT x Beauty Hackathon」(2017年)での優勝特典の、IoT生活用品の開発経験を手がけ、女性向けの化粧品パッケージを開発する中で、いわゆる「女性向け」とされている生活製品を研究する機会があった。その際、どれだけの製品が本当に女性の立場になって開発されているのだから疑問に思った。女性の生活の負担になっていゝる部分は見過ごされており、当事者が自分で企画し開発するしかないのでなく、と痛切に感じた。

図1. 生理用品に関するユーザー行動

参照) 人工知能学会第二種研究会資料/2021 巻 (2021) CCI-008号/書誌

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsaisigtwo/2021/CCI-008/2021_02/_article/-char/ja/

事業の目的→「みんなで問題を解決する」を考える

顕在事象

生理用品が「必要な人が」
いざにトイレに「ない」
事実

潜在事象

表に見えないが
「人の心の中」
起る「変化」
を促す



【プロジェクトの成果物を
研究論文や記事として公開】

- ①意思決定に至るスキーム
- ②生理用品の理想のケース
オープンソース化し世界へ公開

【プロジェクトを実施】

- ①意思決定に至る
スキームを検討・確立
- ②生理用品のケースや
設置方法をみんなで考える

100年後の未来からのバックキャスト

「言いづらいこと」を当事者が相談でき、非当事者が「自分ごと化」する環境をつくる。
そのプロセスをツール化して社会に提供・還元する。

- ・どうしても当事者の問題を非当事者にも共有でき、「みんな」で考えることができるのか事例を蓄積

- ・プロトタイプでツールをつくる



初期

- ・多様な人々を巻き込み、問題を考える「コミュニティづくり」を活性化

- ・プロトタイプまわしながら、改良・改善。



- ・オープンソースにして全世界へ提供

中期

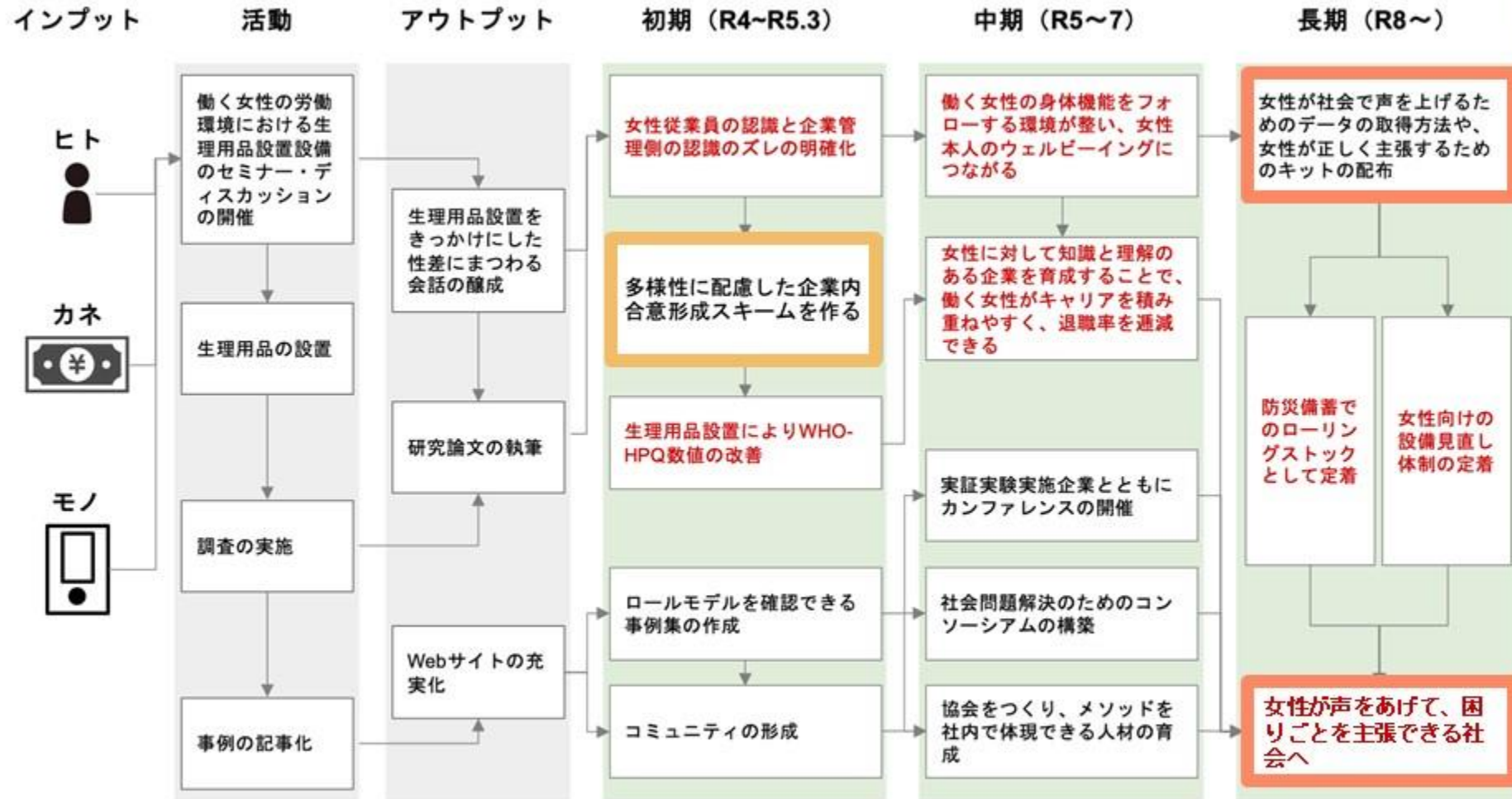
- ・当事者が正しく主張できるツールキットが継続して役割を果たし続ける

- ・ツールキットの使い方も継承されていく



長期

事業目標



実施内容



実施事項	サービス 購入者	ユーザ	定量的指標 (KPI)
1. ヘルスリテラシーを上げ、当事者と同僚、管理職のコミュニケーションを活性化させる女性活躍推進セミナー	企業	<ul style="list-style-type: none"> 従業員（男女問わず） 管理職 生理用品設備設置導入者 	<ul style="list-style-type: none"> セミナー実施 導入企業数：10社 参加者数：600名
2. 生理用品をはじめとするトイレの必要物品導入の設備設置コンサルティング・調査・分析サービス	企業	<ul style="list-style-type: none"> 従業員（男女問わず） 管理職 生理用品設備設置導入者 	<ul style="list-style-type: none"> 実証実験実施 実施数：5社 参加者数：200名
3. 生理用品導入企業 コミュニティ運営	企業	企業内生理用品設置担当者 (人事・総務および有志)	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ参加企業数：20社（過去参加企業含） 情報発信数：年24回
4. 青少年教育で活用できる教育ツール作成	教育機関	<ul style="list-style-type: none"> 小学生 中学生 高校生 大学生 	TBD

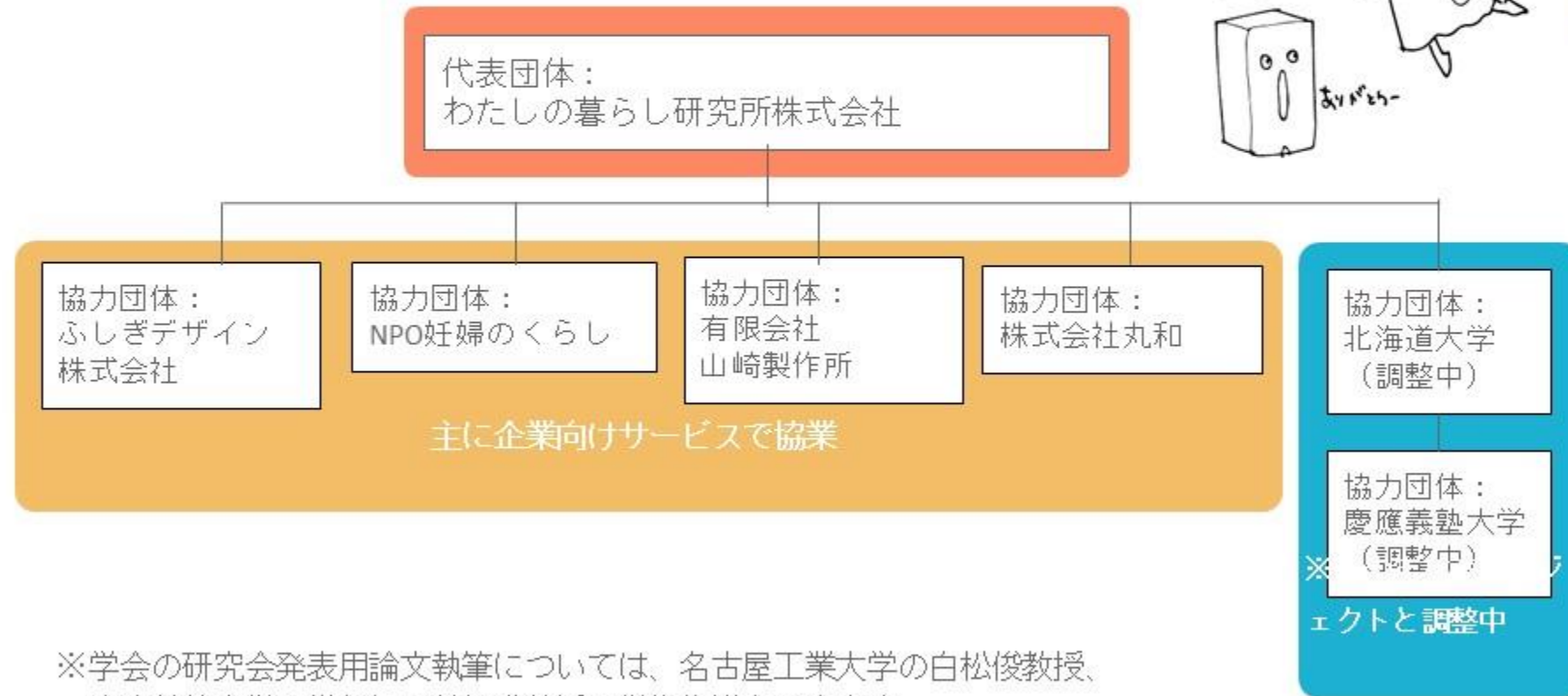
※上記より実施事項の2において、女性に対し生理用品があるトイレを使用した場合のプレゼンティーズムの変化について、WHO-HPQ指標にてデータを取得。

※社内コミュニケーションの改善は、量的・質的調査を実施。

※青少年教育については、COI-NEXT「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」とのプロジェクトと調整中。

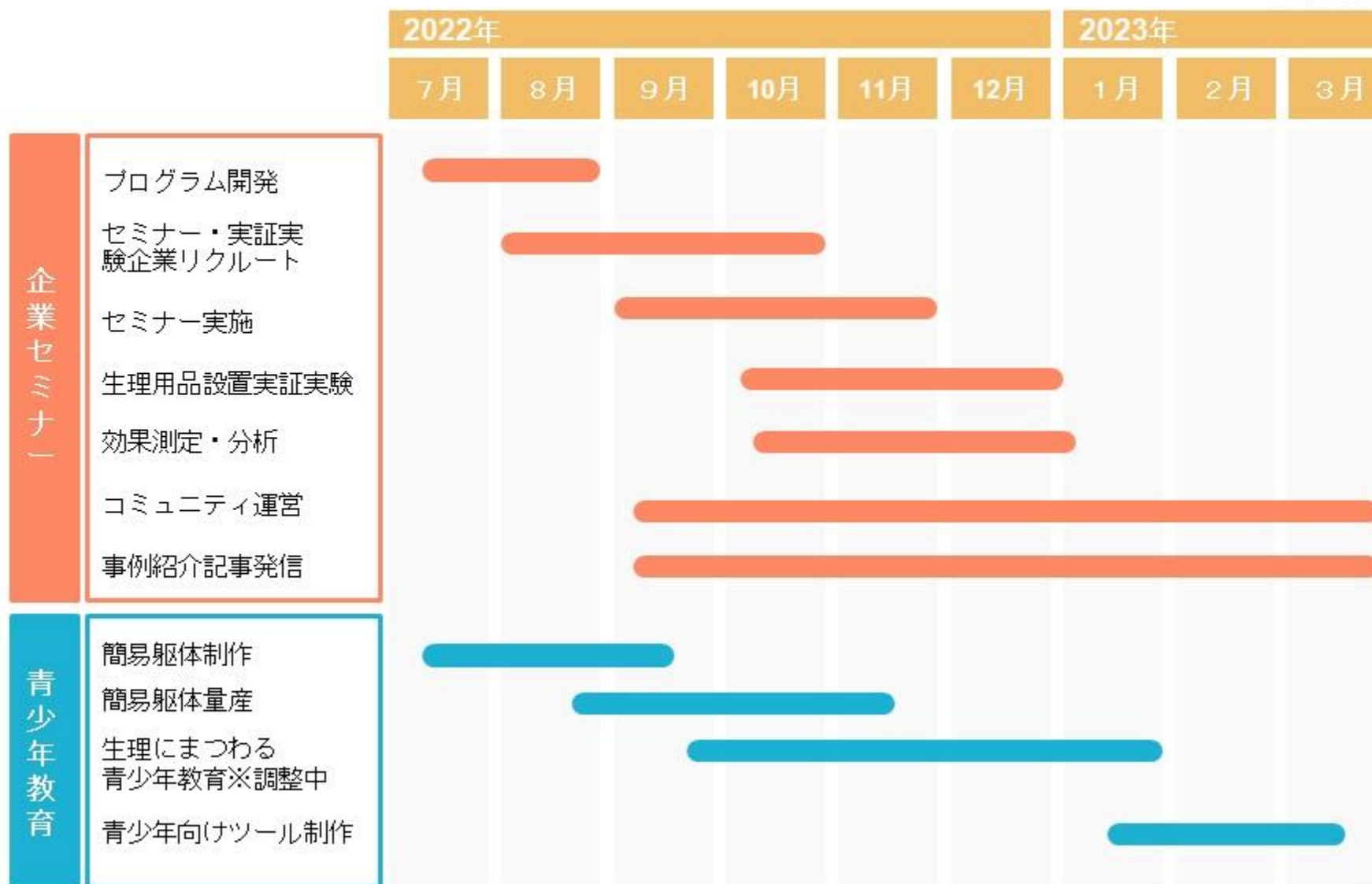
実施体制

多様な関係者に多様な関わり方をさせていただくとともに、
それぞれの見方や検討の仕方を示すことで
楽しくわかりやすい情報の提供を目指しています。

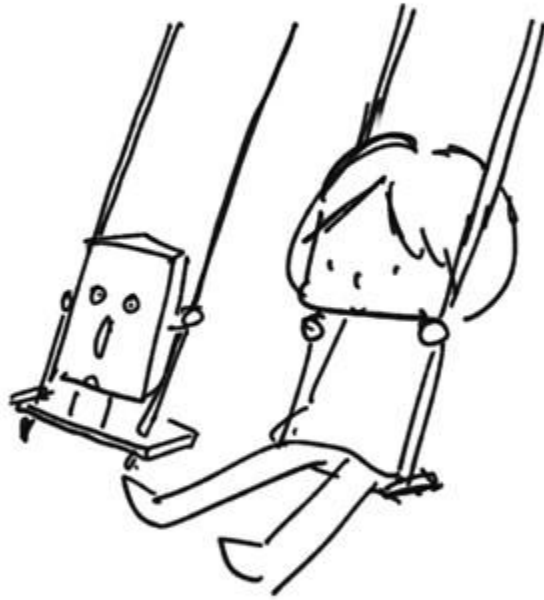


※学会の研究会発表用論文執筆については、名古屋工業大学の白松俊教授、
慶應義塾大学の常盤拓司特任准教授に学術指導を頂きます。

実施スケジュール



ご静聴ありがとうございました！



わたしの暮らし研究所

info@wk-k.com

本事業に関して、お問い合わせ等ございましたら、下記までご連絡ください。

<お問い合わせ先>

PwCコンサルティング合同会社 公共事業部
フェムテック等サポートサービス実証事業事務局

・ jp_cons_femtech@pwc.com

(受付時間 9 : 1 5 ~ 1 7 : 1 5 / 月 ~ 金 (祝日除く))

▼ 経済産業省HP



▼ 本事業のHP



▼ 本事業SNS



キックオフミーティングの記録動画は
こちらからご視聴いただけます

こちらからアクセス下さい



<https://youtu.be/0gS4nQgyONg>

© 2022 PwC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.

This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.